

CI-NET[®]
標準ビジネスプロトコル
(Ver.1.5)

抜 粋

編集・発行

財団法人 建設業振興基金

建設産業情報化推進センター

目次

はじめに CI-NET による EDI

1 建設産業における情報化の必要性.....	1
2 CI-NET 構想	2
3 EDI とは.....	3
4 EDI のメリット	4
5 CI-NET 標準ビジネスプロトコル.....	5
6 CI-NET による実際のデータ交換.....	6
7 CI-NET LiteS (CI-NET ライツ) について	7

標準ビジネスプロトコルの構成について

第1節 名称	11
第2節 改訂番号 (バージョン・ナンバー)	11
第3節 標準ビジネスプロトコルの構成.....	11

第1章 標準ビジネスプロトコル使用規約

第1節 標準ビジネスプロトコルの適用範囲.....	15
第2節 標準ビジネスプロトコルの改訂.....	15
第3節 CI-NET のコード体系.....	15
第4節 標準企業コード使用規約.....	16

第2章 情報伝達規約

第1節 通信手順規約.....	21
-----------------	----

第3章 情報表現規約

第1節 シンタックスルール.....	25
1 CII シンタックスルールの使用	25
2 標準ビジネスプロトコルで使用する文字コード	25
3 データ項目タグ番号 (Data Element ID Number)	25
4 BPID (Business Protocol ID)	30
5 CII トランスレータの使用	32
第2節 標準メッセージ規約.....	33
1 情報の定義.....	33
1.1 情報単位の定義.....	33

1.2	業務単位と情報種類の定義.....	37
1.3	システム運用情報.....	42
2	標準メッセージフォーマット.....	43
2.1	メッセージ構造.....	43
2.2	データ項目定義一覧表について.....	46
2.3	メッセージの種類.....	52
2.4	データ項目定義およびマトリックス.....	54
2.5	標準メッセージ一覧表.....	84
2.5.1	建築見積依頼メッセージ/建築見積回答メッセージ.....	84
2.5.2	設備見積依頼メッセージ/設備見積回答メッセージ.....	86
2.5.3	設備機器見積依頼メッセージ/設備機器見積回答メッセージ.....	89
2.5.4	購買見積依頼メッセージ/購買見積回答メッセージ /見積不採用通知メッセージ.....	92
2.5.5	確定注文メッセージ/注文請けメッセージ.....	100
2.5.6	鑑項目合意変更申込メッセージ/鑑項目合意変更承諾メッセージ.....	108
2.5.7	合意解除申込メッセージ/合意解除承諾メッセージ /一方的解除通知メッセージ.....	113
2.5.8	合意打切申込メッセージ/合意打切承諾メッセージ /一方的打切通知メッセージ.....	117
2.5.9	出荷メッセージ/入荷メッセージ.....	124
2.5.10	出来高要請メッセージ/出来高報告メッセージ /出来高確認メッセージ.....	130
2.5.11	立替金報告メッセージ/立替金確認メッセージ.....	141
2.5.12	請求メッセージ/請求確認メッセージ.....	145
2.5.13	支払通知メッセージ.....	155
2.5.14	総括請求メッセージ.....	161
2.5.15	CAD データ封筒メッセージ.....	170
3	CI-NET 標準データコード.....	174
3.1	情報区分コード.....	178
3.2	標準企業コード.....	180
3.3	訂正コード.....	182
3.4	建設業許可区分・登録コード.....	183
3.5	建設業許可工事業種.....	184
3.6	J V 工事フラグ.....	186
3.7	工事場所・受渡し場所所在地コード (JIS)	186
3.8	取引区分コード.....	187
3.9	出来高査定方式識別コード.....	188
3.10	消費税コード.....	188
3.11	課税分類コード.....	189
3.12	単位コード.....	190
3.13	請求完了区分コード.....	196

3.14	出来高・請求・立替査定結果コード	196
3.15	請求確認コード	197
3.16	明細コード	199
3.17	階層レベル	200
3.18	階層内通し番号	201
3.19	明細データ属性コード	202
3.20	補助明細コード	202
3.21	明細別材工共コード	205
3.22	建設資機材コード	205
3.23	コード送信側変換結果コード	209
3.24	コード受信側変換結果コード	210
3.25	C-CADEC 機器分類コード	210
3.26	配管用途コード	211
3.27	建設資機材メーカー／型番コード	213
3.28	施工区分コード	214
3.29	明細別運賃コード	217
3.30	明細別変更コード	218
3.31	明細別 CI-NET 区分コード	219
3.32	請求出来高立替控除区分コード	219
3.33	CAD データ／属性データ区分コード	220
3.34	CAD データ形式コード	220
3.35	データ圧縮識別コード	221
第3節	標準メッセージ作成規則	222
1	メッセージ作成の原則	222
2	メッセージと取引内容の一致	224
3	取引を特定するキー項目	226
4	変更・取消データの作成方法	227
5	消費税の取扱い	229
6	金額の符号	233
7	工事コード	233
8	中間業者を介した商取引におけるコードの設定	234
9	CAD データの伝送	235

第4章 業務運用規約および取引基本規約（CI-NET 運用諸規則）

第1節	電子メールを前提とした CI-NET 運用諸規則	241
第2節	CI-NET 運用ルール（電子メール版）	244
第3節	CI-NET 運用ガイド（電子メール版）	249
第4節	電子メールを前提とした CI-NET による電子データ交換（EDI）に関するデータ交換協定書（参考例）	253

第5節 電子メールを前提とした CI-NET による電子データ交換 (EDI) に関する運用マニュアル (参考例)	263
---	-----

参考資料

参考1 建設産業情報化推進センター 情報化評議会 (CI-NET) 入会のご案内	273
参考2 建設業における電子計算機の連携利用に関する指針	275
参考3 改善要求書	278
参考4 CI-NET 標準ビジネスプロトコル Ver.1.4 からの主な変更点	280
参考5 CI-NET 標準ビジネスプロトコル Ver.1.3 からの主な変更点	286
CII シンタクスルール 1.11 及び 1.51 (抜粋)	291

CI-NET標準ビジネスプロトコル

EDIを利用した情報交換を行うためには、標準的な手順・取り決めが必要となります。この取り決めが標準ビジネスプロトコルと呼ばれるものです。

すなわち、EDIは従来の書類による取引とは異なり電子的な取引形態となるため、新たに当事者間でこの形態により取引を行うための各種の取り決めが必要となります。

CI-NETでは、こうしたEDIを進めるために「CI-NET標準ビジネスプロトコル」を策定し、広く公開しております。

標準ビジネスプロトコルは、次の4つの規約から構成されています。

【標準ビジネスプロトコル】

①情報伝達規約（通信プロトコル）

自社のコンピュータが相手企業（組織）のコンピュータと接続するための、互いに使用する通信回線の種別や、伝送制御手順などの取り決め。

②情報表現規約

伝送するデータを双方のコンピュータが理解できるようにするための、メッセージフォーマット（帳票データの形式）やデータコードに関する取り決め。

③業務運用規約

ネットワークシステムの運用時間、障害対策などのシステム運用に関する取り決め。

④取引基本規約

EDIで行う取引業務を特定したり、責任の分担を明らかにするなどの基本的な取り決め。

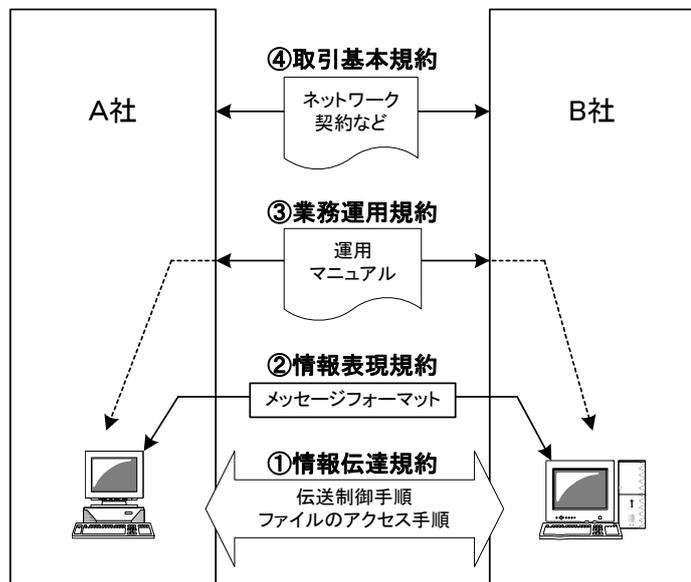


図0.0.1-3 CI-NET標準ビジネスプロトコル

ここでは、このうち②情報表現規約についてその内容をお示しいたします。

第3章 情報表現規約

本規約は、メッセージの表現形式とその作成方法など情報表現について規定する。

第1節 シンタックスルール

1 CIIシンタックスルールの使用

「第3章 第2節 標準メッセージ規約」で規定される各情報を送信するには、(財)日本情報処理開発協会(JIPDEC: Japan Information Processing Development Corporation)のCII(Cross-Industry Information Interchange)シンタックスルールが規定する構文規則に従って編集しなければならない。

2 標準ビジネスプロトコルで使用する文字コード

標準ビジネスプロトコルに従って作成されるデータの文字コードは、JIS-X0201およびJIS-X0208を使用する。これ以外の文字(例えば「m̂」のような外字)は原則として使用不可とする。

3 データ項目タグ番号(Data Element ID Number)

「データ項目タグ番号(略称:タグNo.)」とは、データエレメント識別のためのコードである。CIIシンタックスルールでは、1~61439までの番号が使用可能で、同じ数のデータ項目の定義が可能となっている。同一のタグ番号を2種類以上の項目に付番したり、逆に同一のデータ項目に2種類のタグ番号を付番すると混乱を招くことから、1つのデータ項目に1つのユニークなタグ番号が採番されている。

建設産業情報化推進センターは、(財)日本情報処理開発協会(JIPDEC)より、CIIシンタックスルールを使用するために必要なタグ番号枠の割り当てを受けている。

なお、表3.1.3-1の表ではタグ番号の頭桁に0を付けて表現しているが、それ以外の各データ項目のタグ番号については、その0を省略して表現している。

表3.1.3-1 CIIデータタグ番号枠の割り当て（1/4）

タグ番号	割当	備考
00000	リザーブ（使用禁止）	
00001～00999	（社）電子情報技術産業協会	
01000	リザーブ（使用禁止）	
01001～01999	（財）建設業振興基金	
02000	リザーブ（使用禁止）	
02001～02999	（財）日本情報処理開発協会	（平成20年11月まで （財）住宅産業情報サー ビスが管理）
03000	リザーブ（使用禁止）	
03001～03999	石油化学工業協会	
04000	リザーブ（使用禁止）	
04001～04999	予備（建設・住宅）	
05000	リザーブ（使用禁止）	
05001～05999	電気四団体共通	
06000	リザーブ（使用禁止）	
06001～06999	予備（電気四団体）	
07000	リザーブ（使用禁止）	
07001～07999	（社）日本鉄鋼連盟	
08000	リザーブ（使用禁止）	
08001～08999	（社）日本鉄鋼連盟	
09000	リザーブ（使用禁止）	
09001～09999	（社）日本鉄鋼連盟	
10000	リザーブ（使用禁止）	
10001～10999	食品業界企業間情報システム研究会	
11000	リザーブ（使用禁止）	
11001～11999	（社）日本アルミニウム協会	
12000	リザーブ（使用禁止）	
12001～12999	石油連盟	
13000	リザーブ（使用禁止）	
13001～13999	（社）日本鉄鋼連盟	
14000	リザーブ（使用禁止）	
14001～14999	予備	
15000	リザーブ（使用禁止）	

表3.1.3-1 CIIデータタグ番号枠の割り当て (2/4)

タグ番号	割当	備考
15001～15999	(社) 日本ガス協会	
16000	リザーブ (使用禁止)	
16001～16999		
17000	リザーブ (使用禁止)	
17001～17999		
18000	リザーブ (使用禁止)	
18001～18999	(社) 電子情報技術産業協会	
19000	リザーブ (使用禁止)	
19001～19999		
20000	リザーブ (使用禁止)	
20001～20999	(社) 電子情報技術産業協会	
21000	リザーブ (使用禁止)	
21001～21999	繊維産業流通構造改革推進協議会	
22000	リザーブ (使用禁止)	
22001～22999	繊維産業流通構造改革推進協議会	
23000	リザーブ (使用禁止)	
23001～23999	繊維産業流通構造改革推進協議会	
24000	リザーブ (使用禁止)	
24001～24999		
25000	リザーブ (使用禁止)	
25001～25999	(社) 日本DIY協会	
26000	リザーブ (使用禁止)	
26001～26999		
27000	リザーブ (使用禁止)	
27001～27999	小型コンピュータ業界EDI取引委員会	
28000	リザーブ (使用禁止)	
28001～28999	小型コンピュータ業界EDI取引委員会	
29000	リザーブ (使用禁止)	
29001～29999		
30000	リザーブ (使用禁止)	
30001～30999	物流EDI推進委員会	JTRNに割り当て
31000	リザーブ (使用禁止)	

表3.1.3-1 CIIデータタグ番号枠の割り当て (3/4)

タグ番号	割当	備考
31001～31999	物流EDI推進委員会	TRPTに割り当て
32000	リザーブ (使用禁止)	
32001～32999	物流EDI推進委員会	JTRNに割り当て
33000	リザーブ (使用禁止)	
33001～33999	物流EDI推進委員会	JTRNに割り当て
34000	リザーブ (使用禁止)	
34001～34999		
35000	リザーブ (使用禁止)	
35001～35999		
36000	リザーブ (使用禁止)	
36001～36999		
37000	リザーブ (使用禁止)	
37001～37999		
38000	リザーブ (使用禁止)	
38001～38999		
39000	リザーブ (使用禁止)	
39001～39999		
40000	リザーブ (使用禁止)	
40001～40999	(社) 日本新聞協会	
41000	リザーブ (使用禁止)	
41001～41999	(社) 日本広告業協会	
42000	リザーブ (使用禁止)	
42001～42999		
43000	リザーブ (使用禁止)	
43001～43999		
44000	リザーブ (使用禁止)	
44001～44999		
45000	リザーブ (使用禁止)	
45001～45999	通信資材EDI推進部会	
46000	リザーブ (使用禁止)	
46001～46999		
47000	リザーブ (使用禁止)	

表3.1.3-1 CIIデータタグ番号枠の割り当て(4/4)

タグ番号	割当	備考
47001～47999	(社) 電信電話工事協会	
48000	リザーブ (使用禁止)	
48001～48999		
49000	リザーブ (使用禁止)	
49001～49999		
50000	リザーブ (使用禁止)	
50001～50999	(社) 日本自動車工業会	
51000	リザーブ (使用禁止)	
51001～51999	(社) 日本自動車工業会	
52000	リザーブ (使用禁止)	
52001～52999	(社) 日本自動車工業会	
53000	リザーブ (使用禁止)	
53001～53999	(社) 日本自動車工業会	
54000	リザーブ (使用禁止)	
54001～54999	(社) 日本自動車工業会	
55000	リザーブ (使用禁止)	
55000～55999	(社) 日本自動車工業会	
56000	リザーブ (使用禁止)	
56001～56999	(社) 日本自動車工業会	
57000	リザーブ (使用禁止)	
57001～57999	(社) 日本自動車工業会	
58000	リザーブ (使用禁止)	
58001～58999		
59000	リザーブ (使用禁止)	
59001～59999	(社) 日本航空宇宙工業会	
60000	リザーブ (使用禁止)	
60001～60999		
61000	リザーブ (使用禁止)	
61001～61183	全業界共通項目	
61184～61199	設計画像EDI用共通項目	
61200～61439	全業界共通項目	
61440～65535	CIIシンタックスルールの使用領域	
65536～	バージョン3.00以降	

4 BPID (Business Protocol ID)

BPIDは、CIIシンタックスルールを利用する各産業別の標準メッセージを管理する機関が、識別のためにメッセージグループ・ヘッダー（巻末の「CIIシンタックスルール1.11および1.51（抜粋）」参照）にセットするコードである。BPIDは「機関」「サブ機関」「版」の3つから構成される。

表3.1.4-1 BPIDの構成

BPID		
機関	サブ機関	版
文字4byte	文字2byte	文字2byte

4.1 機関

「機関」は、標準メッセージを管理する各産業別のEDI推進機関の識別コードである。CI-NET標準メッセージ使用の際は、建設産業情報化推進センターが登録した「CINT」をセットする。現在までに、表3.1.4-3に示す業界について登録がなされている。

表3.1.4-2 各機関におけるBPID

標準メッセージ開発機関	識別子
(社) 電子情報技術産業協会 ECセンター	EIAJ
石油化学工業協会	JPCA
(財) 建設業振興基金 建設産業情報化推進センター (CI-NET)	CINT
(財) 住宅産業情報サービス	HIIS
(社) 日本鉄鋼連盟	JISI
(社) 日本電機工業会	JEMA
電気事業連合会	FEPC
(社) 日本電線工業会	JCMA
食品業界企業間情報システム研究会 (自動販売機)	VMDI
(社) 日本ドウ・イト・ユアセルフ協会	JDIY
物流EDI推進機構	TRPT
(社) 日本ガス協会	JGAS
繊維産業流通構造改革推進協議会	TIRA
(社) 日本新聞協会 広告委員会	NEWS
国内物流標準 (社) 日本ロジスティクスシステム協会 / (社) 日本物流団体連合会 物流EDIセンター	JTRN
(社) 日本自動車工業会	JAMA
通信資材EDI推進部会	CPSD
(社) 日本広告業協会	WAVE
小型コンピュータ業界EDI取引委員会	HWSW
(社) 日本アルミニウム連盟	JALF
石油連盟	PAJE
(社) 日本航空宇宙工業会	SJAC
(社) 電信電話工事協会	TFCA

(注) 「HIIS」はBPIDとしては有効だが、メッセージ開発機関としては現在存在していない。

4.2 サブ機関

「サブ機関」は、標準メッセージを管理する機関が定める分類管理コードである。標準ビジネスプロトコル使用の際は、当面「01」をセットする。

4.3 版

「版」は、標準メッセージを管理する機関が定める標準メッセージの版を示すコードである。Ver.1.5では「15」をセットする。

5 CIIトランスレータの使用

CI-NETでは、CIIシンタックスルールの採用により、CIIトランスレータを使用する。CIIトランスレータとは、ユーザのファイルとCIIシンタックスルールに基づいて記述されたCII標準ファイル（伝送するデータ）間の変換を実現するソフトウェアである。



図3.1.5-1 CIIトランスレータの使用

CIIトランスレータは、現在、複数のメーカーおよびソフトウェアベンダにより開発・販売されている。詳しくは、建設産業情報化推進センターに問い合わせされたい。

第2節 標準メッセージ規約

1 情報の定義

1.1 情報単位の定義

1.1.1 メッセージ

「メッセージ」とは、帳票データ（後述）を表すテキストデータ、および技術データ（後述）の内容を説明するテキストデータの集合体をいう。

標準ビジネスプロトコルでは、CIIシンタックスルールにおけるメッセージ・ヘッダーからメッセージ・トレーラーの間の1メッセージで表される。メッセージの特定方法は「第3章 第3節 1.4 メッセージの特定」を参照されたい。

1.1.2 明細データ

「明細」とは、「メッセージ」の中で、同一の項目でありながら、繰り返し現れる情報グループをいう。郵送・手渡しで使われる帳票・伝票の明細と同じ単位である。

「明細データ」とは、明細内での繰り返しの単位をいう。1明細データは帳票・伝票の1明細行と等しい単位である。

1.1.3 取引

「取引」とは、注文によって発生する企業間における売買の単位をいう。したがって、一般に1注文＝1取引となる。CI-NET標準ビジネスプロトコルでは、原則として発注者が採番した注文番号により取引を特定する。メッセージと取引が一对一に対応する場合（1メッセージ＝1取引）と、1つのメッセージ内に複数の取引が記述される場合（1メッセージ＝複数取引）などがあり、メッセージと取引は必ずしも一致しない。

1.1.4 取引内訳

「取引内訳」とは、「取引」が表す総量・総金額に対し、その内容を品目・納入日等の項目に分けた受渡しの単位である。注文書における明細データと同一となる。ただし、1メッセージ＝複数取引の場合には、「取引内訳」＝「明細データ」とはならない。

1メッセージ＝1取引

1メッセージ＝複数取引

注文書				支払通知書		
〇〇商社様 下記の通り注文いたします。				〇〇建設様 下記の通りお支払します。		
No.	品名	摘要	金額	注文No.	取引件名	支払金額
1010	鉄棒	A社製φ20	¥200,000	A123-45	A棟鉄筋工事	¥320,000
1020	手すり	鉄パイプ製φ19	¥250,000	B456-12	B棟仮設工事	¥180,000
:	:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:	:

→明細データ
||
取引内訳

→明細データ
||
取引

}明細

}明細

図3.2.1-1 1メッセージ＝1取引と1メッセージ＝複数取引の例

1.1.5 帳票データ

「帳票データ」とは、見積や注文のような取引や、出荷や請求のような金銭・物品の出納の内容を表すテキスト形式のデータをいう。郵送・手渡しで使われる帳票・伝票とほぼ同様の内容である。

1.1.6 技術データ

「技術データ」とは、各種アプリケーションが生成および読み込み可能なテキストまたはバイナリー形式のファイルの集合体である。技術データの中で、特にCADアプリケーションが生成および読み込み可能なデータを「CADデータ」という。

1.1.7 封筒情報

「封筒情報」とは、ファイル名やアプリケーションソフト名など、技術データの内容を表すテキスト形式のデータをいう。

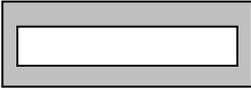
1.1.8 技術データの受け渡しについて

技術データの受け渡しは、以下に示すように「1.封筒情報による伝送方法」と「2.外部参照による配信方法」の2つの方法が考えられる。

<1.封筒情報による伝送方法>

封筒情報とは、各メッセージ（購買見積依頼／回答メッセージ、確定注文／注文請けメッセージ、出荷／入荷メッセージ、出来高報告／確認メッセージ等）の中で技術データ（現在のところCADデータのみ）の内容を表す情報である。

メッセージの中の封筒情報の有無と技術データの有無により、次のようなパターンでの伝送が可能である。

以下の図では  の実線枠全体が1つのメッセージとなる。

1.技術データを送らない場合

例:CADデータのない通常の「見積依頼情報」など



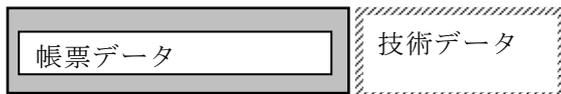
2.技術データを送る場合

①帳票データと技術データを併せて伝送する。

例:「注文情報」とそれに関するCADデータなど

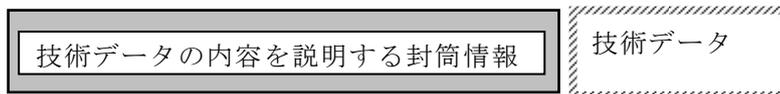


封筒情報は省略することができる。



②封筒情報と技術データを伝送する。

例:「技術データ情報」、「CADデータ情報」など



③技術データのみを伝送する。

例:「メッセージなしデータ情報」

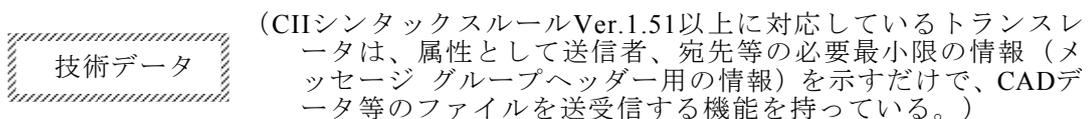
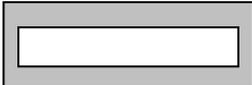


図3.2.1-2 封筒情報による伝送方法

＜2.外部参照による配信方法＞

技術データの受け渡しは、情報伝達規約を電子メール方式とした場合、メッセージに添付して送信することも可能であるが、その容量等の関係から他の方法により取引当事者間で受け渡しすることも想定される。

その方法として、外部のデータセンターやWebサーバのサイトに技術データを置き、メッセージの中にその技術データが置かれているURLを示す情報を記述することにより、相手先に当該URLにアクセスさせ、技術データをダウンロードさせる方法がある。

以下の図では  の実線枠全体が1つのメッセージである。

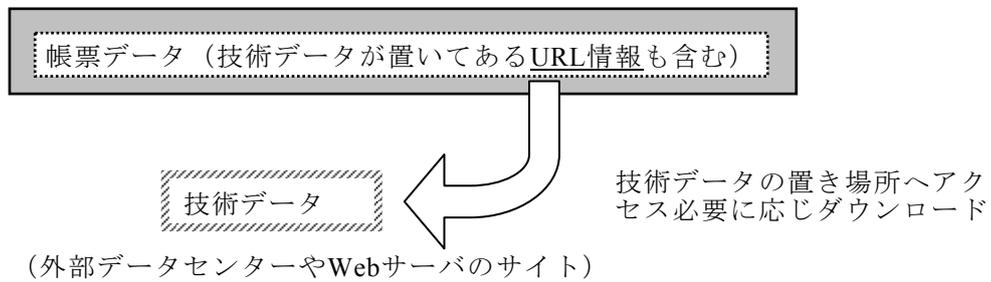


図3.2.1-3 外部参照による配信方法

1.2 業務単位と情報種類の定義

CI-NET標準ビジネスプロトコルVer.1.5では、以下に定義される業務単位についての情報を交換することができる。

表3.2.1-4 情報種類の定義 (1/3)

業務単位	情報種類	定義
1 見積	1.1 建築見積依頼情報	発注者が建築工事に係わる工事内容、物品の仕様などの見積条件を提示し、受注希望者に価格の見積を依頼する情報。
	1.2 建築見積回答情報	建築見積依頼情報に対して、受注希望者が建築工事に係わる見積を回答する情報。見積価格や他の見積条件を含む。
	1.3 設備見積依頼情報	発注者が設備工事に係わる工事内容、物品の仕様などの見積条件を提示し、受注希望者に価格の見積を依頼する情報。
	1.4 設備見積回答情報	設備見積依頼情報に対して、受注希望者が設備工事に係わる見積を回答する情報。見積価格や他の見積条件を含む。
	1.5 設備機器見積依頼情報	発注者が設備機器を始めとした資機材に係わる仕様や、当該資機材を使用する工事内容などの見積条件を提示し、受注希望者に価格の見積を依頼する情報。
	1.6 設備機器見積回答情報	設備機器見積依頼情報に対して、受注希望者が設備機器に係わる見積を回答する情報。見積価格や他の見積条件を含む。
2 購買見積	2.1 購買見積依頼情報	発注者が建設工事に係わる工事内容、物品の仕様などの見積条件を提示し、受注希望者に価格の見積を依頼する情報。
	2.2 購買見積回答情報	購買見積依頼情報に対して、受注希望者が回答する見積情報。見積価格や他の見積条件を含む。
	2.3 見積不採用通知情報	発注者が受注希望者に対して、購買見積回答情報による受注希望者の見積を採用しない旨を通知する情報。

表3.2.1-4 情報種類の定義 (2/3)

業務単位	情報種類	定義
3 注文	3.1 確定注文情報	発注者が受注希望者に対し、発注を行い、契約を申し込む情報。件名や品名、納期、価格、納地などの注文要件が含まれる。受注希望者の承諾により契約が成立する。
	3.2 注文請け情報	確定注文情報による発注申し込みに対し、受注希望者が受諾する旨を通知する情報。発注条件と異なる条件での受諾意思の提示の場合、新たな個別契約の手続きを行う。契約の成立により受注希望者は受注者となる。
	3.3 鑑項目合意変更申込情報 ^{*1}	発注者が受注者に対し、既に成立している個別契約に対して両者協議のうえ合意した内容の変更を申し込む情報。受注者の承諾により変更が成立する。
	3.4 鑑項目合意変更承諾情報 ^{*1}	鑑項目合意変更申込情報による個別契約内容の変更申込に対し、受注者が受諾する旨を通知する情報。
	3.5 合意解除申込情報 ^{*2}	発注者が受注者に対し、既に成立している個別契約に対して両者協議のうえ合意した解除を申し込む情報。受注者の承諾により打切が成立する。
	3.6 合意解除承諾情報	合意解除申込情報による個別契約の解除申込に対し、受注者が受諾する旨を通知する情報。
	3.7 一方的解除通知情報	発注者が受注者に対し、あるいは受注者が発注者に対し、個別契約の解除を告知する情報。
	3.8 合意打切申込情報 ^{*3}	発注者が受注者に対し、既に成立している個別契約に対して両者協議のうえ合意した打切の内容を申し込む情報。受注者の承諾により打切が成立する。
	3.9 合意打切承諾情報	合意打切申込情報による個別契約の打切申込に対し、受注者が受諾する旨を通知する情報。
	3.10 一方的打切通知情報	発注者が受注者に対し、あるいは受注者が発注者に対し、個別契約の打切を告知する情報。
4 納入	4.1 出荷情報	受注者が発注者に対し、受注した物品の一部または全部を出荷したことを示す情報。
	4.2 入荷情報	発注者が受注者に対し、納入された物品の一部または全部の受領を確認したことを示す情報。

*1 CI-NETメッセージの全体情報部分（鑑項目）の軽微な変更に限って使用する。

*2 個別契約の解除とは、解除時点において契約対象が着工されていない場合に、個別契約自体が当初から無かったこととする契約措置をいう。

*3 個別契約の打切とは、打切時点で既に契約対象工事が着工されている場合に、打切時点における出来高を精算し、精算分以外の個別契約を無かったこととする契約措置をいう。

表3.2.1-4 情報種類の定義 (3/3)

業務単位	情報種類	定義
5 出来高	5.1 出来高要請情報	発注者が受注者に対し、出来高報告作成のために必要な情報を伝達する情報。
	5.2 出来高報告情報	受注者が発注者に対し、1つの取引の特定期間における工事の出来高、物品の納入量を報告する情報。
	5.3 出来高確認情報	発注者が受注者に対し、1つの取引の特定 期間における工事の出来高、物品の納入量を査定した結果を通知する情報。
6 立 替	6.1 立替金報告情報	発注者が受注者に対し、1つの作業所あるいは1つの取引の特定期間における立替の内容、金額を報告する情報。
	6.2 立替金確認情報	受注者が発注者に対し、1つの作業所あるいは1つの取引の特定期間における立替の内容、金額を査定した結果を通知する情報。
7 支 払	7.1 請求情報	受注者が発注者に対し、1つの取引の特定期間における工事の出来高、または売掛金に関する金額を示し、その支払を請求する情報。
	7.2 請求確認情報	請求情報に対し、発注者が査定し支払を認めた金額を受注者に通知する情報。
	7.3 支払通知情報	発注者が受注者に対する買掛金額高のうち当月支払分について支払金額とその方法を通知する情報。
	7.4 総括請求情報	受注者が発注者に対し、複数の取引の売掛金に関する金額を示し、その支払を請求する情報。
8 技 術 データ	8.1 技術データ情報 ^{*4}	技術データおよび、技術データの内容を説明する封筒情報。
	8.2 CADデータ情報	CADデータの内容を説明する封筒情報、およびそのCADデータ。
	8.3 メッセージなし データ情報 ^{*5}	メッセージを伴わない技術データ (CADデータを含む。)

*4 技術データ封筒メッセージについては現在未策定であり、標準ビジネスプロトコルでは使用するデータ項目の規定をしていない。

*5 「メッセージなしデータ情報」は標準メッセージが制定されていないテキストまたはバイナリーデータをそのままCIIシンタックスルール1.51以上を利用して伝送する際に使用する。CADデータを封筒情報なしに伝送するためにも使用することができる。

なお、業務単位と情報種類の関係を図示すると次のようになる。

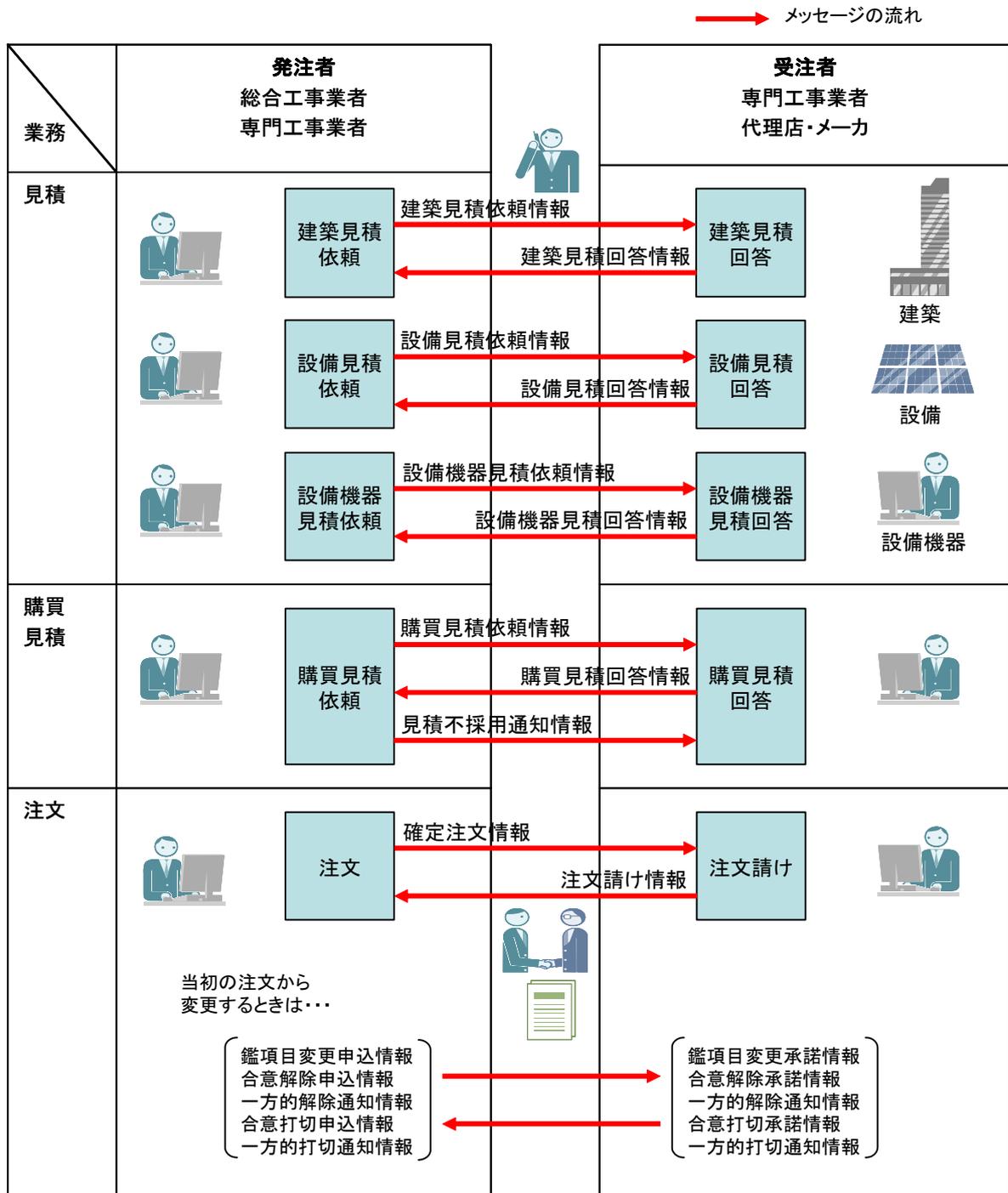


図3.2.1-5 業務単位と情報種類の関係イメージ (1/2)

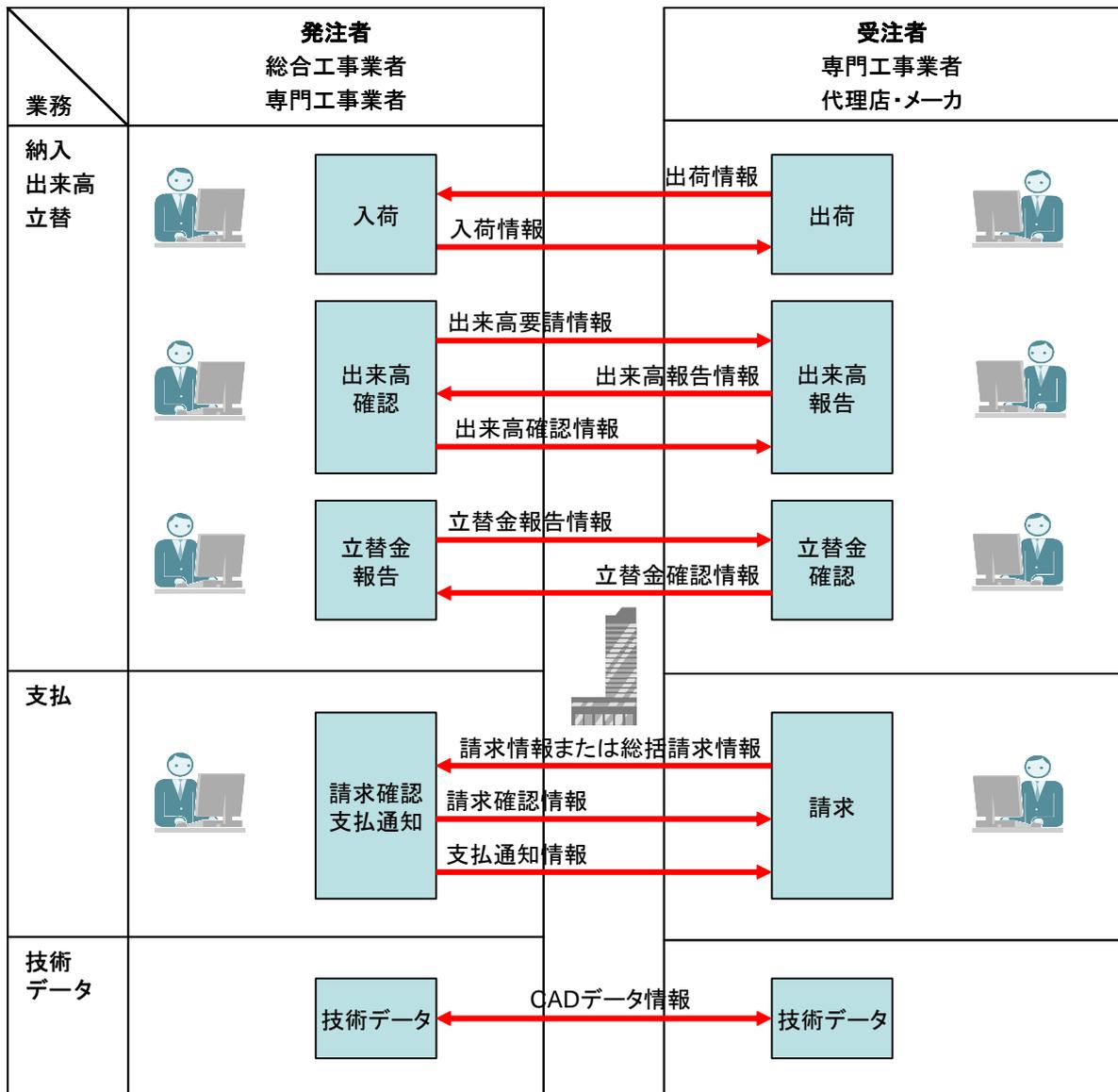


図3.2.1-5 業務単位と情報種類の関係イメージ (2/2)

1.3 システム運用情報

CI-NET標準ビジネスプロトコルVer.1.5で定義する情報種類以外に、システム運用上、必要な交換情報がある。

表3.2.1-6 システム運用情報

項 目	種 類	内 容
システム運用	受信確認情報 ^{*1}	情報の受信者が発信者に対し送信された情報を受け取ったこと、および受信した情報についての構文チェックの結果を連絡する情報。
	0件データ情報 ^{*1}	発信者が受信者に対して、受信すべきデータがない（0件）ことを伝達するための情報。
	エラー情報 ^{*1}	VANの振り分け処理でエラーとなった場合、エラーが発生したことを発信者側のVAN経由で発信者に伝達するための情報。

*1 CI-NET運用諸規則「第4章 第2節 CI-NET運用ルール」参照

2 標準メッセージフォーマット

2.1 メッセージ構造

1つのメッセージは、取引全体についての情報を表す部分（全体情報）と、取引内訳などの個々の情報の集まりである部分（明細情報）の2つの部分で構成される。

見積書（イメージサンプル）

2009年 3月1日
基本契約書No. 0000001

見積書No. 0000002

株式会社E D I 総合建設
建築本部 営業担当
鈴木 様

住所 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-3
会社名 株式会社C I 設備工業
代表 山田 太郎
担当者 見積部 三森 次郎
会社コード 2 1 0 0 0 0
TEL 03-3123-4567
FAX 03-3123-9999

下記の通りお見積もりいたします。

工事内容	C I - N E T 設備工事	見積金額計	¥ 430,000
数量	1 式	消費税額	¥ 21,500
		金額	¥ 451,500

工事名 C I - N E T ビル建設工事
工事場所 東京都港区虎ノ門4-2-12
工事コード 4 1 2 9
連絡先 TEL 03-5473-4573 FAX 03-5473-4580
工事内容 C I - N E T 設備工事
工期 2009年 4月1日～2010年 3月31日
支払条件 支払基準による 精算条件 一式無増減
受渡方法 作業所納入 運送費用負担 弊社支払
受渡条件 納入時検収 見積有効期限 2009年 3月31日

№	品名	摘要	数	単位	単価	金額
1	材料 鉄棒	A社製 φ20	100	m	20	本 10,000 200,000
2	外部工事 手すり	H=1000 鉄パイプ製 φ19 CL6回			1	式 250,000 250,000
見 積 計						450,000
値 引 き						20,000
合 計						430,000

備考
詳細については現場打ち合わせ

図3.2.2-1 紙ベースでの帳票における全体情報と明細情報の分け

全体情報のデータ項目はタグNo.1001～1199、No.300～1399およびNo.1600～1699が与えられ、メッセージの前半部分を構成する。全体情報のデータ項目のうち、マルチ明細が定義されている項目については、マルチ明細による繰返しが可能である。（例えば、図3.2.2-2における [1011] 参照CADデータ番号、 [1012] 参照CADデータ名称、 [1048] 受渡し条件、 [1136] 備考）

明細情報のデータ項目はタグNo.1200～1299、No.1400～が与えられ、メッセージの後半部分を構成する。1明細データは [1200] 明細コードから始まり、 [1532] 明細別CADデータ取扱い付帯事項で終わり、明細行の1行に相当する。さらに、この中でマルチ明細が定義されている項目は、明細データ内でさらに繰返しが可能なデータ項目である（マルチ明細のネスト）。（例えば、図3.2.2-2における [1212] 明細別取引件名（支払件名）～ [1215] 補助摘要、 [1251] 明細別備考欄、 [1532] 明細別CADデータ取扱い付帯事項）

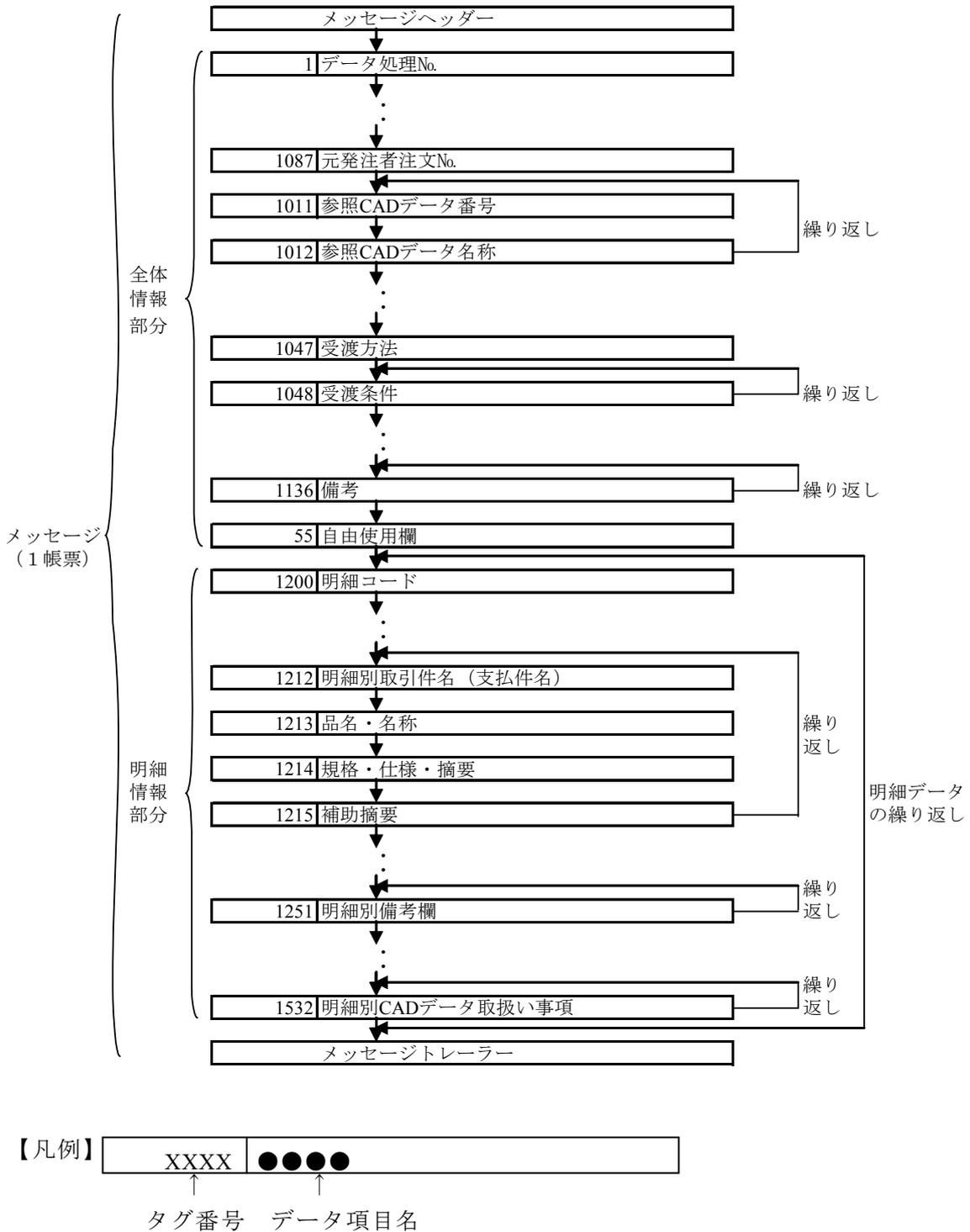


図3.2.2-2 メッセージ構造

2.2 データ項目定義一覧表について

ここでは、「第3章 第2節 2.4 データ項目定義およびマトリックス」、および「第3章 第2節 2.5 標準メッセージ一覧表」の表の見方を解説する。

表3.2.2-3 データ項目定義およびマトリックス（抜粋：定義例）

CI- NET No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	少数	マルチ	C D	消費 税込	購買 見積 依頼	購買 見積 回答	確定 注文	C A D デ ー タ 封 筒	摘 要
10	1	データ処理No.	9	5					●	●	●	●	受信者での受信データの処
20	2	情報区分コード	X	4			*		●	●	●	●	情報の種類を示すコード。
30	3	データ作成日	9	8					◎	◎	◎	▲	メッセージデータを作成し

表3.2.2-4 標準メッセージ一覧表（抜粋：定義例）

CI- NET No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	少数	マルチ	C D	消費 税込	購買 見積 依頼	購買 見積 回答	摘 要
10	1	データ処理No.	9	5					●	●	受信者での受信データの処理順序
20	2	情報区分コード	X	4			*		●	●	情報の種類を示すコード。
30	3	データ作成日	9	8					◎	◎	メッセージデータを作成した年月

2.2.1 CI-NET No.

CI-NET No.は、データ項目定義一覧表上において利用者が理解しやすいよう便宜的に設けた番号であり、CIIシンタックスルールとは無関係である。

2.2.2 データ項目タグ番号（タグNo.）

CIIシンタックスルールでは、データ項目はデータ項目タグ番号（以下「タグNo.」という）により識別する。データ項目タグ番号は本標準ビジネスプロトコル内において [] で囲み表記する。

メッセージは、全体情報と明細情報に分けられる。全体情報に関するデータ項目には、タグNo.1001～1199、No.1300～1399およびNo.1600～1699を割り当て、明細情報に関

するデータ項目には、タグNo.1200～1299およびNo.1400～を割り当てる。明細情報のうち、技術情報に関するデータ項目には、タグNo.1500～1599を割り当てる。以後、タグNo.が不足した時点で1700番以降を利用する。ただし、他の産業（JEITA等）と共通なデータ項目については、そのタグ番号を使用する。

なお、表3.2.2-5の表ではタグ番号の頭桁に0を付けて表現しているが、それ以外の各データ項目のタグ番号については、その0を省略して表現している。

表3.2.2-5 データ項目のタグ番号の割り当て

タグ番号	割り当て
00000 ～ 01000	他の産業（JEITA等）との共通なデータ項目
01001 ～ 01199	全体情報に関するデータ項目
01200 ～ 01299	明細情報に関するデータ項目
01300 ～ 01399	全体情報に関するデータ項目
01400 ～ 01499	明細情報に関するデータ項目
01500 ～ 01599	技術情報に関するデータ項目
01600 ～ 01699	全体情報に関するデータ項目
01700 ～ 01799	リザーブ
01800 ～ 01899	リザーブ
01900 ～ 01999	リザーブ
02000 ～	他の産業との共通なデータ項目

2.2.3 属性

データ項目内に使用する文字の種類は次の4つとする。

X属性・・・JIS-X0201で定義される8bit文字列の文字データ。

K属性・・・JIS-X0208で定義される16bit文字列の文字データ。漢字などが含まれる。文字数の2倍のバイト数を必要とする。

9属性・・・符号無し固定小数点の数値で、JIS-X0201で定義される8bit文字列の「0」～「9」の数字で示す。負数は含まれない。有効桁より左側にある「0」は省略できる。小数点は暗示的に示され、その桁数はデータ項目定義で示される。

N属性・・・浮動小数点の数値で、JIS-X0201で定義される8bit文字列の「0」～「9」の数値文字、「+」、「-」の符号表示用文字、「.」の小数点表示文字で表される。符号は数値の先頭につける。0は常に正数で「+」符号は省略できる。「-.562」や「62.」という表現も許される。

2.2.4 文字数

文字データ（X属性、K属性）では最大文字数を示す。数値データ（9属性、N属性）では整数部の最大桁数を示す。この時、小数点以下の桁数は文字数に含まれない。小数点、符号も文字数に含まれない。データ項目定義で小数桁数を指定されている場合、有効桁より左側にある「0」は省略できる。

2.2.5 小数

数値データ（9属性、N属性）の小数点以下の最大桁数を示す。

2.2.6 M（マルチ）

「M」はマルチ明細項目であることを示す。「M1」「M2」の番号は、マルチ明細を特定する番号を表す。「M7」「M8」「MC」のデータ項目は、それぞれ、「M6」のレベル1のセグメントに含まれるレベル2のセグメントである。「M7」「M8」「MC」以外のデータ項目はCIIシンタックスルールにおけるレベル1のセグメントである。CIIシンタックスルールの拡張モードにおいて、各マルチ明細で使用するマルチ明細ヘッダーコードを表に示す。

表3.2.2-6 標準ビジネスプロトコルで使用するマルチ明細ヘッダーコード

マルチ明細項目番号		マルチ明細ヘッダーコード
レベル 1	レベル 2	
M 1		F A 3 1
M 2		F A 3 2
M 3		F A 3 3
M 4		F A 3 4
M 5		F A 3 5
M 6		F A 3 6
	M 7	F A 3 7
	M 8	F A 3 8
	MC	F A 4 3
M 9		F A 3 9
MA		F A 4 1
MB		F A 4 2
MD		F A 4 4
ME		F A 4 5
MF		F A 4 6
MG		F A 4 7
MH		F A 4 8
M I		F A 4 9
M J		F A 4 A
MK		F A 4 B
ML		F A 4 C
MM		F A 4 D
MN		F A 4 E
MO		F A 4 F
MP		F A 5 0
MQ		F A 5 1
MR		F A 5 2
MS		F A 5 3
MT		F A 5 4
MU		F A 5 5
MV		F A 5 6
MW		F A 5 7
MX		F A 5 8
MY		F A 5 9
MZ		F A 6 0
MA 1		F A 6 1
MA 2		F A 6 2
MA 3		F A 6 3

2.2.7 CD

一覧表のCD欄の「*」は、標準ビジネスプロトコルで定められた「CI-NET標準データコード」を使用するデータ項目であることを示す。CI-NET標準データコードについては「第3章 第2節 3 CI-NET標準データコード」で規定する。

2.2.8 税込

一覧表の消費税込（税込）欄の「*」は、金額に消費税を含むデータ項目であることを示す。これ以外のデータ項目の金額については、原則として消費税を含めない価格を示す。消費税の取扱いについては「第3章 第3節 5 消費税の取扱い」で規定する。

2.2.9 必須項目であるか等の分類

メッセージを構成するデータ項目は、その必要性に応じ「必須項目」「必要項目」「選択項目」「CAD必要項目」「CAD選択項目」「次期バージョン削除項目」の6種類に分類される。

「必須項目」・・・メッセージの処理に不可欠なキーとなるデータ項目で、省略のできないデータ項目である。一覧表では「●」で示す。

「必要項目」・・・メッセージを構成する上で必要なデータ項目であり、省略しないことが望ましい。一覧表では「◎」で示す。

「選択項目」・・・メッセージの送信者が必要に応じて使用を選択できるデータ項目である。一覧表では「○」で示す。

「CAD必要項目」・・・CADデータの伝送時に必要なデータ項目であり、CADデータを伝送する場合は、省略しないことが望ましい。一覧表では「▲」で示す。

「CAD選択項目」・・・CADデータを伝送時に必要に応じて使用を選択できるデータ項目である。一覧表では「△」で示す。

「次期バージョン削除項目」・・・次期バージョンでは削除するため、メッセージを構成する上で使用しないことが望ましいデータ項目である。一覧表では「▽」で示す。

2.2.10 年月日および時分秒（「建設業許可日」以外の項目）

(1) 年月日を示すデータ項目

年月日を示すデータ項目については、9属性とし、左から、年、月、日をアラビア数字で記入する。年は西暦4桁を記入する。「:」「/」などの区切り文字は使用できない。

YYYY	MM	DD	
西暦	月	日	
例: 2009	01	03	= 2009年1月3日

図3.2.2-7 年月日のデータの順序

(2) 年月日および時分秒を示すデータ項目

年月日および時分秒を示すデータ項目については、X属性とし、左から、年、月、日、時間、分、秒をアラビア数字で記入する。

年は西暦4桁を記入し、時間は24時間表示で記入する。「:」「/」などの区切り文字は使用できない。

年、月、日については省略できないが、時間、分、秒については省略が許される。省略された部分より右側の内容は、記入することができない。（例えば、時間を省略した場合、分、秒はデータに記入できない。）

YYYY	MM	DD	HH	MM	SS	
西暦	月	日	時間	分	秒	
例: 2009	01	03	16	24	35	= 2009年1月3日16時24分35秒

図3.2.2-8 年月日時分秒のデータの順序

2.2.11 年月日（「建設業許可日」を示す項目）

建設業許可日を示す次の項目については、ここに定める方法により年月日を記入する。

CI-NETNo. [460] タグNo. [1168] 受注者建設業許可日

CI-NETNo. [610] タグNo. [1172] 発注者建設業許可日

建設業許可日は和暦で示すため、他の年月日に関するデータ項目と異なり、属性をKとして文字データとして取り扱う。入力文字は漢字、アラビア数字を使用し、和数字は使用しない。文字数は11文字とする。

表3.2.2-10 メッセージの種類 (2/2)

業務単位	情報種類	メッセージの種類	備考
3 注文	3.1 確定注文情報	確定注文メッセージ	
	3.2 注文請け情報	注文請けメッセージ	
	3.3 鑑項目合意変更申込情報	鑑項目合意変更申込メッセージ	
	3.4 鑑項目合意変更承諾情報	鑑項目合意変更承諾メッセージ	
	3.5 合意解除申込情報	合意解除申込メッセージ	
	3.6 合意解除承諾情報	合意解除承諾メッセージ	
	3.7 一方的解除通知情報	一方的解除通知メッセージ	
	3.8 合意打切申込情報	合意打切申込メッセージ	
	3.9 合意打切承諾情報	合意打切承諾メッセージ	
	3.10 一方的打切通知情報	一方的打切通知メッセージ	
4 納入	4.1 出荷情報	出荷メッセージ	
	4.2 入荷情報	入荷メッセージ	
5 出来高	5.1 出来高要請情報	出来高要請メッセージ	
	5.2 出来高報告情報	出来高報告メッセージ	
	5.3 出来高確認情報	出来高確認メッセージ	
6 立替	6.1 立替金報告情報	立替金報告メッセージ	
	6.2 立替金確認情報	立替金確認メッセージ	
7 支払	7.1 請求情報	請求メッセージ	
	7.2 請求確認情報	請求確認メッセージ	
	7.3 支払通知情報	支払通知メッセージ	
	7.4 総括請求情報	総括請求メッセージ	
8 技術 データ 交換	8.1 技術データ情報 ^{*1}	技術データ封筒メッセージ	現在未策定
	8.2 CADデータ情報	CADデータ封筒メッセージ	CADデータに関する封筒情報
	8.3 メッセージなし データ情報 ^{*2}	_____	封筒メッセージ を使用しない

*1 技術データ封筒メッセージについては現在未策定であり、標準ビジネスプロトコルでは使用するデータ項目の規定をしていない。

*2 メッセージなしデータ情報には、メッセージが付属しないため、標準ビジネスプロトコルでは、情報区分コード以外の規定はしていない。

2.4 データ項目定義およびマトリックス

- ※属性 X－英数字、カナ、特殊文字など8bit系文字列の文字データ : 1字=1byte
 K－漢字、ひらがななど16bit系文字列の文字データ : 1字=2byte
 9－「0」～「9」のみで表される符号なし固定小数点の数値データ : 1字=1byte
 N－浮動小数点の数値データ、符号と小数点は桁数に含めない : 1字=1byte
- ※文字数 : 文字データの最大文字数、数値データの整数部の最大桁数（符号は含めない）。
 ※小数 : 小数点以下の最大桁数（小数点は含めない）。
 ※マルチ : 第何番目のマルチ明細であるかを示す。

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	小 数	マルチ	C D	消 費 税 込	建 築 見 積 依 頼	建 築 見 積 回 答	設 備 見 積 依 頼	設 備 見 積 回 答	設 備 機 器 見 積 依 頼	設 備 機 器 見 積 回 答	購 買 見 積 依 頼	購 買 見 積 回 答	見 積 不 採 用 通 知	確 定 注 文	注 文 請 け	鑑 定 目 合 意 変 更 申 込	鑑 定 目 合 意 変 更 承 諾	合 意 解 除 申 込	合 意 解 除 承 諾	一 方 的 解 除 通 知	合 意 打 切 申 込	合 意 打 切 承 諾	一 方 的 打 切 通 知	
10	1	データ処理No.	9	5				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20	2	情報区分コード	X	4			*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
30	3	データ作成日	9	8				○	○	●	●	●	●	●	◎	◎	●	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●
40	4	発注者コード	X	12			*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
50	5	受注者コード	X	12			*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
60	1197	サブセット・バージョン	X	12				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
70	1198	契約変更識別コード	X	2			*																					
80	9	訂正コード	X	1			*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
90	1006	工事コード	X	25				○	○	○	○				◎	◎	●	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●
100	1306	変更工事コード	X	25											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
110	1007	帳票No.	X	25				●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
120	1300	注文番号枝番	X	2													○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
130	1008	帳票年月日	9	8				○	○	●	●	●	●	◎	◎	●	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
140	1181	帳票名称	K	120											○	○	○	○										
150	1009	参照帳票No.	X	25				○	○	●	●	○	◎	◎	●	◎	●	●	●	●	●	●				●		
160	1010	参照帳票年月日	9	8				○	●	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
170	1303	注文番号	X	25																								
180	1301	参照帳票No.2	X	25													●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	○	○
190	1304	参照帳票No.3	X	25																								
200	1144	参照CADデータ情報 帳票No.	X	25											○	○	○	○										
210	1145	参照CADデータ情報 帳票年月日	9	8											○	○	○	○										

- ※CD : 「CI-NET標準データコード」を使用するデータ項目であることを示す。
- ※税込 : 原則として消費税を含む金額であることを示す。
- メッセージの処理に不可欠なデータ項目で、省略のできない必須データ項目
- ◎-メッセージを構成するのに必要なデータ項目
- ユーザが必要に応じて使用を選択できるデータ項目
- ▲-CADデータの伝送時に必要なデータ項目
- △-CADデータの伝送時に必要に応じて使用を選択できるデータ項目
- ▽-次期バージョン削除項目 (メッセージ構成上使用しないことが望ましい項目)

タグ No.	出荷	入荷	出来高要請	出来高報告	出来高確認	立替金報告	立替金確認	請求	請求確認	支払通知	総括請求	CADデータ封筒	摘要
1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	受信者での受信データの処理順序を示す番号。受信者は、受信データをこの番号の昇順に処理すること。
2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	情報の種類を示すコード。
3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	▲メッセージデータを作成した年月日。
4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●注文を行う側の企業及びその事業所・担当部署・作業所などを示す標準企業コード。
5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●注文を受ける側の企業及びその事業所・担当部署・作業所などを示す標準企業コード。
1197	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●メッセージサブセットの版。
1198													契約変更申込メッセージおよび契約変更承諾メッセージにおいて、変更、解除、打切等の別を表す共通コード。
9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●情報の新規・一括変更・全文取消・一部変更を示すコード。
1006	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	▲工事場所、受渡し場所、原価管理上の区分などを示すコード。
1306			○	○	○	○	○	○	○				工事場所、受渡し場所、原価管理上の区分などを示すコード。必要データ項目である [1006] 工事コードと意味合いは同一であるが、 [1006] 工事コードだけでは足りない場合に使用する。【例】 [1006] 工事コードをメッセージのKEY項目としている場合、施工の途中で管理コードが変更された際も、メッセージ上のこの値を変更することはできない。こうした場合に変更後のコードも交換する必要があるならば、 [1306] 変更工事コードを使用する。
1007	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●帳票の番号。
1300													注文番号の枝番号。追加工事等の際、元工事との関係を示すために注文番号は元工事と同一とし、注文番号枝番を付与することで元工事と識別するために使用する。
1008	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	▲帳票に記載する年月日。例として、見積依頼メッセージにおいては見積を依頼した年月日を、見積回答メッセージにおいては見積を回答した年月日を表す。
1181	○	○	○	○				○	○	○	○		○伝送するメッセージデータの名称。【例】 ○○社△棟電気設備工事見積書その2
1009	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△注文番号・契約番号など、取引を特定するための参照帳票の番号。
1010	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△注文番号・契約番号など、取引を特定するための参照帳票に記載された年月日。
1303			○	○	○	○	○	○	○				個別注文契約の管理番号。
1301			○	○				○					取引を特定するために補助的に参照する帳票の番号。
1304			○	○				○					取引を特定するために補助的に参照する帳票の番号。
1144	○	○	○	○									○関連するCADデータ情報の帳票No.。
1145	○	○	○	○									○関連するCADデータ情報の帳票年月日。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	小数	マルチ	C D	消費 税込	建 築 見 積 依 頼	建 築 見 積 回 答	設 備 見 積 依 頼	設 備 見 積 回 答	設 備 機 器 見 積 依 頼	設 備 機 器 見 積 回 答	購 買 見 積 依 頼	購 買 見 積 回 答	見 積 不 採 用 通 知	確 定 注 文	注 文 請 け	鑑 定 目 合 意 変 更 申 込	鑑 定 目 合 意 変 更 承 諾	合 意 解 除 申 込	合 意 解 除 承 諾	一 方 の 解 除 通 知	合 意 打 切 申 込	合 意 打 切 承 諾	一 方 的 打 切 通 知	
	220	1087	元発注者注文No.	X	25																							
	230	1011	参照CADデータ番号	X	25	MDレベル1									○	○		○	○									
	240	1012	参照CADデータ名称	K	60	MDレベル1									○	○		○	○									
	250	1023	受注者コード2 (発注者採番)	X	25										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	260	1046	取引件名 (注文件名)コード	X	25										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	270	1177	管理項目名	K	120	MLレベル1									○	○		○	○									
	280	1178	管理項目コード	X	25	MLレベル1									○	○		○	○									
	290	1191	原価要素名	K	20										○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	300	1192	原価要素コード	X	5										○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	310	1193	原価科目名	K	20										○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	320	1194	原価科目コード	X	5										○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	330	1195	原価細目名	K	20										○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	340	1196	原価細目コード	X	5										○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	350	1013	受注者名	K	40				○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	360	1015	受注者代表者氏名	K	28										○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	370	1017	受注者担当部署名	K	60	M9レベル1						○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	380	1018	受注者担当者名	K	30	M9レベル1						○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	390	1019	受注者担当郵便番号	X	10	M9レベル1						○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	400	1020	受注者担当住所	K	60	M9レベル1						○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	410	1021	受注者担当電話番号	X	25	M9レベル1						○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	420	1022	受注者担当FAX番号	X	25	M9レベル1						○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	430	1165	受注者決裁者名	K	60	MEレベル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	440	1166	受注者建設業許可区分・登録コード	K	20		*								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	450	1167	受注者建設業許可工事業種	K	12	MFレベル1	*								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	460	1168	受注者建設業許可日	K	11										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	470	1024	発注者名	K	40				○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	480	1005	JV工事フラグ	X	1		*								○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	490	1003	その他のJV構成企業名	K	40	MRレベル1									○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	500	1026	発注者代表者氏名	K	28										○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	510	1028	発注者担当部署名	K	60	MAレベル1						○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

タグ No.	出荷	入荷	出来高要請	出来高報告	出来高確認	立替金報告	立替金確認	請求	請求確認	支払通知	総括請求	CADデータ封筒	摘要	
1087	○	○											発注者に対して元発注者が存在する場合、発注者との取引で元発注者が採番した注文番号。	
1011	○	○		○	○								帳票データのみを送信した場合に、関連するCADデータの番号を示す。	
1012	○	○		○	○								帳票データのみを送信した場合に、関連するCADデータの名称を示す。	
1023	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	発注者が定めた受注者の識別コード。	
1046	○	○	○	○	○			○	○			○	△	発注工事の種別を示す作業コード・納入物品の種別を示す品目コードなど取引件名の種別を表すコード。
1177	○	○		○	○			○	○	○	○			メッセージデータの原価管理上の項目名。
1178	○	○		○	○			○	○	○	○			メッセージデータの原価管理上の項目コード。
1191	○	○	○	○	○			○	○	○	○			原価管理上の要素名。
1192	○	○	○	○	○			○	○	○	○			原価管理上の要素コード。
1193	○	○	○	○	○			○	○	○	○			原価管理上の科目名。
1194	○	○	○	○	○			○	○	○	○			原価管理上の科目コード。
1195	○	○	○	○	○			○	○	○	○			原価管理上の細目名。
1196	○	○	○	○	○			○	○	○	○			原価管理上の細目コード。
1013	◎	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○	◎	○	△	受注者の名称。
1015	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	受注者の代表者の氏名。
1017	◎	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○	◎	○	△	受注者の事業所・担当部署・作業所などの名称。
1018	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	受注者の担当者の氏名。
1019	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	受注者の事業所・担当部署・作業所などの連絡用の郵便番号。
1020	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	受注者の事業所・担当部署・作業所などの連絡用の住所。
1021	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	受注者の事業所・担当部署・作業所などの連絡用の電話番号。(市外局番を含む)
1022	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	受注者の事業所・担当部署・作業所などの連絡用のFAX番号。(市外局番を含む)
1165	○	○		○	○			○	○	○	○		△	受注者のメッセージデータに対する決裁者の氏名。
1166	○	○		○	○			○	○	○	○		△	建設業法に基づく建設業の許可において、受注者の許可区分および登録番号を示す。
1167	○	○		○	○			○	○	○	○		△	建設業法に基づく建設業の許可において、受注者の許可工事業種を示す。
1168	○	○		○	○			○	○	○	○		△	建設業法に基づく建設業の許可において、受注者が許可を受けた年月日を和暦で示す。
1024	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎	○	▲	発注者の名称。
1005			○	○	○	○	○	○						当該工事がJV工事か否かを識別するコード。
1003			○	○	○	○	○	○						JV工事の場合、[1024] 発注者名以外のJV構成企業名を示す。
1026	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	発注者の代表者の氏名。
1028	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎	○	▲	発注者の事業所・担当部署・作業所などの名称。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	小数	マルチ	C D	消費 税込	建築 見積 依頼	建築 見積 回答	設備 見積 依頼	設備 見積 回答	設備 機器 見積 依頼	設備 機器 見積 回答	購買 見積 依頼	購買 見積 回答	見積 不採用 通知	確定 注文	注文 請け	鑑項目 合意 変更 申込	鑑項目 合意 変更 承諾	合意 解除 申込	合意 解除 承諾	一方 の解 除通 知	合意 打切 申込	合意 打切 承諾	一方 の打 切通 知
520	1029	発注者担当者名	K	30		MAレベル1					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
530	1030	発注者担当郵便番号	X	10		MAレベル1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
540	1031	発注者担当住所	K	60		MAレベル1							○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
550	1032	発注者担当電話番号	X	25		MAレベル1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
560	1033	発注者担当FAX番号	X	25		MAレベル1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
570	1034	発注者コード2（受注者採番）	X	25											○	○	○	○									
580	1169	発注者決裁者名	K	60		MGレベル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
590	1170	発注者建設業許可区分・登録コード	K	20			*								○	○	○	○									
600	1171	発注者建設業許可工事業種	K	12		MHレベル1	*								○	○	○	○									
610	1172	発注者建設業許可日	K	11											○	○	○	○									
620	1372	工種・科目コード	X	12							○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
630	1042	工事場所・受渡し場所名称	K	60				○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
640	1173	工事場所・受渡し場所略称	K	120											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
650	1016	工事場所・受渡し場所郵便番号	X	10							○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
660	1043	工事場所・受渡し場所住所	K	60							○	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
670	1025	工事場所・受渡し場所所長名	K	30											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
680	1027	工事場所・受渡し場所担当者名	K	30											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
690	1041	工事場所・受渡し場所電話番号	X	25							○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
700	1182	工事場所・受渡し場所FAX番号	X	25							○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
710	1371	工事場所・受渡し場所所在地コード（JIS）	X	5			*				○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
720	1045	取引件名（注文件名）	K	60				○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
730	1047	受渡し方法	K	60									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
740	1048	受渡し条件	K	60		M1レベル1									○	○	○	○									
750	1052	工事・納入開始日	X	14									○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
760	1053	工事・納入終了日・納入期限	X	14									○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
770	1139	工期・納期指定	K	60							○	○	○	○	○	○	◎	◎									
780	1044	別途受渡し場所名称	K	60											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
790	1095	別途受渡し場所住所	K	60											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
800	1137	別途受渡し場所コード	X	25											○	○	○	○									
810	1138	取引区分コード	X	5			*								◎	◎	◎	◎									

タグ No.	出荷	入荷	出来高要請	出来高報告	出来高確認	立替金報告	立替金確認	請求	請求確認	支払通知	総括請求	CADデータ封筒	摘要	
1029	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	発注者の担当者の氏名。	
1030	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	発注者の事業所・担当部署・作業所などの連絡用の郵便番号。	
1031	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	発注者の事業所・担当部署・作業所などの連絡用の住所。	
1032	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	発注者の事業所・担当部署・作業所などの連絡用の電話番号。(市外局番を含む)	
1033	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	発注者の事業所・担当部署・作業所などの連絡用FAX番号。(市外局番を含む)	
1034	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	受注者が定めた発注者の識別コード。	
1169	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	発注者のメッセージデータに対する決裁者の氏名。	
1170	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	建設業法に基づく建設業の許可において、発注者の許可区分および登録番号を示す。	
1171	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	建設業法に基づく建設業の許可において、発注者の許可工事業種を示す。	
1172	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	建設業法に基づく建設業の許可において、発注者が許可を受けた年月日を和暦で示す。	
1372	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		帳票データの工種、科目を表すコード。	
1042	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	▲	工事場所・受渡し場所(納入場所)の正式名称。	
1173	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	工事場所・受渡し場所(納入場所)の略称。
1016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	工事場所・受渡し場所(納入場所)の郵便番号。
1043	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	工事場所・受渡し場所(納入場所)の住所。
1025	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	工事場所・受渡し場所(納入場所)の所長名。
1027	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	工事場所・受渡し場所(納入場所)の担当者名。
1041	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	工事場所・受渡し場所(納入場所)の電話番号。
1182	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	工事場所・受渡し場所(納入場所)のFAX番号。
1371			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		工事場所・受渡し場所(納入場所)が所在する都道府県および市区町村を表すJISコード(JIS X-0401およびJIS X-0402)。
1045	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	発注工事の名称・納入物品の名称など取引の名称。
1047	○	○	○											作業所納入・施工・納入施工・係員立ち会いなどの受渡し方法を文面で示す。
1048	○	○												受渡しに関する取り決め条件を文面で示す。
1052	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	工事・納入の開始年月日・時分秒。(時分秒については省略可)
1053	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	工事・納入の終了年月日・時分秒。または納入期限の年月日・時分秒。(時分秒については省略可)
1139	○	○	○	○				○	○			○	△	工期・納期に関する条件を文面で示す。【例】「至急納品」
1044	○	○	○	○				○	○			○		工事場所と受渡し場所(納入場所)が異なる場合の受渡し場所の名称。
1095	○	○	○	○				○	○			○		工事場所と受渡し場所(納入場所)が異なる場合の受渡し場所の住所。
1137	○	○	○	○				○	○			○		工事場所と受渡し場所(納入場所)が異なる場合の受渡し場所のコード。
1138	◎	◎	◎	◎				◎	◎			◎		購入・支給品・レンタル・リースなどの取引の区分を示すコード。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	小数	マルチ	C D	消費 税込	建 築 見 積 依 頼	建 築 見 積 回 答	設 備 見 積 依 頼	設 備 見 積 回 答	設 備 機 器 見 積 依 頼	設 備 機 器 見 積 回 答	購 買 見 積 依 頼	購 買 見 積 回 答	見 積 不 採 用 通 知	確 定 注 文	注 文 請 け	鑑 定 目 合 意 変 更 申 込	鑑 定 目 合 意 変 更 承 諾	合 意 解 除 申 込	合 意 解 除 承 諾	一 方 的 解 除 通 知	合 意 打 切 申 込	合 意 打 切 承 諾	一 方 的 打 切 通 知	
820	1049	施工者・納入者コード	X	12		MB ^レ ル1	*								○	○		○	○									
830	1050	施工者・納入者コード2	X	25		MB ^レ ル1									○	○		○	○									
840	1051	施工者・納入者名	K	40		MB ^レ ル1									○	○		○	○									
850	1054	保証期間指定	K	60														◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
860	1055	精算条件	K	60											○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
870	1056	支払条件	K	60		M2 ^レ ル1				○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
880	1057	支払条件：前払い金額	N	14														◎	◎									
890	1058	支払条件：部分払い割合	N	3	3													◎	◎							○	○	○
900	1059	支払条件：部分払い現金割合	N	3	3													◎	◎									
910	1060	支払条件：部分払い現金金額	N	14														○	○									
920	1061	支払条件：部分払い手形割合	N	3	3													◎	◎									
930	1062	支払条件：部分払い手形金額	N	14														○	○									
940	1063	支払条件：部分払いサイト日数	N	3	3													◎	◎									
950	1064	請求締切日指定	K	20														◎	◎									
960	1065	支払日指定	K	20														◎	◎									
970	1066	保険条項	K	60														◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
980	1067	履行遅滞・遅延利息年率	N	3	3													◎	◎									
990	1068	過払立替・返還利息年率	N	3	3													◎	◎									
1000	1069	受注者側見積・契約条件	K	60		M3 ^レ ル1								○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1010	1174	発注者側見積・契約条件	K	120		MI ^レ ル1				○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1020	1175	特記事項	K	240		MJ ^レ ル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1030	1176	特記事項2	K	240		MK ^レ ル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1040	1070	見積有効期限年月日	X	14						○					○	◎												
1050	1140	見積有効期間	K	20						○	○				○	○												
1060	1141	見積提出期限年月日	X	14						○	○				◎	○	○											
1070	1142	見積提出期限	K	20											○	○												
1080	1071	運送費用負担	K	60									○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1090	1072	運賃分類	K	60																								
1100	1073	運送者名	K	40																								
1110	1074	運送者コード	X	12														*										

タグ No.	出荷	入荷	出来高要請	出来高報告	出来高確認	立替金報告	立替金確認	請求	請求確認	支払通知	総括請求	C A D データ封筒	摘 要	
1049	○	○		○	○			○	○			○	△	施工・納入を行う企業及びその事業所・担当部署・作業所などを示す標準企業コード。
1050	○	○		○	○			○	○			○	△	発注者・受注者が定めた施工者・納入者の識別コード。
1051	○	○		○	○			○	○			○	△	施工者・納入者の名称。
1054			○											かし保証期間を文面で示す。
1055			○											実測・実教・一式無増減などの種別を文面で示す。
1056			○					○	○			○		支払条件を文面で示す場合のフリーエリア。
1057														支払条件での前払い金の金額。
1058			○	○	○			○	○					部分払いでの出来高に対する%割合。
1059														部分払いでの現金払いの%割合。
1060														部分払いでの現金払いの金額。
1061														部分払いでの手形払いの%割合。
1062														部分払いでの手形払いの金額。
1063														部分払いにおける手形払いのサイト日数。
1064														月の請求締切日を文面で示す。
1065								○	○			○		月の支払日を文面で示す。
1066			○											労災保険の加入者・費用負担などの保険条項を文面で示す。
1067														履行遅滞の場合の遅延利息の年率%を示す。
1068														過払立替の場合の返還利息の年率%を示す。
1069			○											受注者側の見積条件を文面で表す場合のフリーエリア。注文業務のメッセージで使用される場合は、契約内容の一部を構成する。
1174			○											発注者側の見積条件を文面で表す場合のフリーエリア。注文業務のメッセージで使用される場合は、契約内容の一部を構成する。
1175			○											契約事項・協定事項など見積条件以外の特記事項を記入するフリーエリア。
1176			○											契約事項・協定事項など見積条件以外の特記事項を記入するフリーエリアその2。
1070														見積書の有効期限の年月日・時分秒。（時分秒については省略可）
1140														見積書の有効期間を文面で示す。
1141														見積書の提出期限の年月日・時分秒。（時分秒については省略可）
1142														見積書提出の期限を文面で示す。
1071	○	○	○											運送費用の負担者を文面で示す。
1072	○	○												屯建・昼夜・長尺などの輸送運賃の分類を文面で示す。
1073	○	○												運送者の名称。
1074	○	○												運送者の企業及びその事業所・担当部署・作業所などを示す標準企業コード。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	小数	マルチ	C D	消費 税込	建 築 見 積 依 頼	建 築 見 積 回 答	設 備 見 積 依 頼	設 備 見 積 回 答	設 備 機 器 見 積 依 頼	設 備 機 器 見 積 回 答	購 買 見 積 依 頼	購 買 見 積 回 答	見 積 不 採 用 通 知	確 定 注 文	注 文 請 け	鑑 定 目 合 意 変 更 申 込	鑑 定 目 合 意 変 更 承 諾	合 意 解 除 申 込	合 意 解 除 承 諾	一 方 的 解 除 通 知	合 意 打 切 申 込	合 意 打 切 承 諾	一 方 的 打 切 通 知	
1120	1075	運送者コード2	X	25																								
1130	1076	車番	X	20																								
1140	1077	発送日時	X	14																								
1150	1078	到着日時	X	14																								
1160	1079	基本契約日	9	8														○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1170	1302	基本契約番号	X	25											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1180	1312	出来高査定方式識別 コード	X	2			*								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1190	57	消費税コード	X	1			*		○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1200	59	課税分類コード	X	1			*		○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1210	1004	消費税率	N	3	1				○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1220	1083	補助数量計	N	9	3										○	○		○	○									
1230	1084	補助数量計単位	K	6			*								○	○		○	○									
1240	1085	明細数量計	N	9	3										○	○		○	○									
1250	1086	明細数量計単位	K	6			*								○	○		○	○									
1260	1088	明細金額計	N	14					○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1270	1089	明細金額計調整額	N	14						○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1280	1090	調整後帳票金額計	N	14						○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1290	1096	消費税額	N	13			*		○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1300	1097	最終帳票金額	N	14			*		○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1310	1180	見積データ取扱い付帯 事項	K	240		MNレ ^h ル1									○	○												
1320	1014	送り状案内	K	240		MQレ ^h ル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1330	1183	使用メーカー名	K	40		MOレ ^h ル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1340	1184	使用メーカー見積金額 合計	N	13		MOレ ^h ル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1350	1185	使用メーカー購入品 名、数量単位	K	20		MOレ ^h ル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1360	1186	使用メーカー購入品数 量	N	7		MOレ ^h ル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1370	1187	使用商社名	K	40		MPレ ^h ル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1380	1188	使用商社見積金額合計	N	13		MPレ ^h ル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1390	1189	使用商社購入品名、数 量単位	K	20		MPレ ^h ル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1400	1190	使用商社購入品数量	N	7		MPレ ^h ル1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1410	1179	帳票データチェック値	X	25		MMレ ^h ル1			○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

タグ No.	出荷	入荷	出来高要請	出来高報告	出来高確認	立替金報告	立替金確認	請求	請求確認	支払通知	総括請求	C A D データ封筒	摘 要
1075	○	○											受注者・発注者が定めた運送者の識別コード。
1076	◎	◎											運送車輛を示す番号。
1077	◎	◎											物品の発送年月日・時分秒。(時分秒については省略可)
1078	◎	◎											物品の到着年月日・時分秒。(時分秒については省略可)
1079			○	○	○			○	○		○		基本契約を締結した年月日。
1302			○	○	○			○	○				基本契約の番号。
1312			○	○	○			○	○				出来高査定の方法を識別する共通コード。
57	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○		[1088] 明細金額計、[1126] 今回支払金額計について税抜き・税込を示すコード。
59	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎		消費税に係る課税・非課税取引を示すコード。
1004	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		消費税の税率。パーセント表記。 【例】消費税率5%は5と記載する。
1083	○	○						○	○		○		[1216] 補助数量の合計。
1084	○	○						○	○		○		[1083] 補助数量計の単位を示す単位コード。
1085	○	○	○	○				◎	◎		○		[1218] 明細数量の合計。
1086	○	○	○	○				◎	◎		○		[1085] 明細数量計の単位を示す単位コード。
1088	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎			○		[1223] 明細金額の合計。
1089	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		[1088] 明細金額計に対する調整額。値引きなどは負号をつけた金額となる。
1090	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		[1088] 明細金額計+ [1089] 明細金額計調整額。
1096	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎			[1090] 調整後帳票金額計(請求書の場合は[1112] 今回請求金額計)に対する消費税の合計。
1097	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎			[1090] 調整後帳票金額計(請求書の場合は[1112] 今回請求金額計) + [1096] 消費税額。
1180													見積依頼/回答メッセージデータを取り扱う際の付帯事項。
1014	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		メッセージを送付する際の送り状。
1183			○	○				○	○		○		使用材料の、メーカーの名称。
1184			○	○				○	○		○		[1183] 使用メーカー名 で示される、メーカー分の使用材料の見積金額の合計。
1185			○	○				○	○		○		[1183] 使用メーカー名 で示される、メーカーからの購入品の名称、および数量単位。
1186			○	○				○	○		○		[1183] 使用メーカー名 で示される、メーカーからの購入品の数量。
1187			○	○				○	○		○		使用材料の、商社の名称。
1188			○	○				○	○		○		[1187] 使用商社名 で示される、商社分の使用材料の見積金額の合計。
1189			○	○				○	○		○		[1187] 使用商社名 で示される、商社からの購入品の名称、および数量の単位。
1190			○	○				○	○		○		[1187] 使用商社名 で示される、商社からの購入品の数量。
1179	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		メッセージデータの授受が正確に行われているかどうかをお互いにチェックするための項目。【例】全明細行数などをセットする。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字数	小数	マルチ	C D	消費税込	建築見積依頼	建築見積回答	設備見積依頼	設備見積回答	設備機器見積依頼	設備機器見積回答	購買見積依頼	購買見積回答	見積不採用通知	確定注文	注文請け	鑑項目合意変更申込	鑑項目合意変更承諾	合意解除申込	合意解除承諾	一方的解除通知	合意打切申込	合意打切承諾	一方的打切通知	
1420	1199	解除・打切理由	K	38		MTレベル1																○	○	○	○	○	○	
1430	1091	契約数量計	N	9	3																							
1440	1092	契約金額計	N	14																					○	○	○	
1450	1385	追加契約金額計	N	14																					○	○	○	
1460	1093	契約金額計調整額	N	14																					○	○	○	
1470	1094	調整後契約金額計	N	14																					○	○	○	
1480	1098	契約金額消費税額	N	12				*																	○	○	○	
1490	1099	最終契約金額	N	14				*																	○	○	○	
1500	1080	出来高調査日	9	8																					○	○	○	
1510	1311	請求予定年月	9	6																					○	○	○	
1520	1081	出来高調査回数	9	6																					○	○	○	
1530	1082	今回迄の請求回数	9	6																								
1540	1164	取引件数	9	8																								
1550	1313	請求算定方式コード	X	2											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1560	1314	請求完了区分コード	X	1				*																				
1570	1315	出来高・請求・立替査定結果コード	X	2				*																				
1580	1316	請求確認コード	X	1				*																				
1590	1381	検査完了予定日	9	8																								
1600	1382	引渡予定日	9	8																								
1610	1106	前回迄累積出来高数量計	N	9	3																							
1620	1107	前回迄累積出来高金額計	N	14																					○	○	○	
1630	1321	前回迄累積出来高金額計調整額	N	14																					○	○	○	
1640	1322	調整後前回迄累積出来高金額計	N	14																					○	○	○	
1650	1100	前回迄累積請求数量計	N	9	3																							
1660	1101	前回迄累積請求金額計	N	14																					○	○	○	
1670	1323	前回迄累積支払金額計	N	14																					○	○	○	
1680	1152	税込前回迄累積出来高金額計	N	14				*																	○	○	○	
1690	1351	税込前回迄累積出来高金額計調整額	N	14				*																	○	○	○	
1700	1352	調整後税込前回迄累積出来高金額計	N	14				*																	○	○	○	
1710	1159	税込前回迄累積請求金額計	N	14				*																	○	○	○	

タグ No.	出荷	入荷	出来高要請	出来高報告	出来高確認	立替金報告	立替金確認	請求	請求確認	支払通知	総括請求	CADデータ封筒	摘要
1199													個別契約の解除あるいは打切の理由を文面で示す。
1091				○	○			○	○				[1224] 契約数量明細の合計。
1092			○	○	○			○	○				[1225] 契約金額明細の合計。
1385			○	○	○			○	○				打切、出来高、請求メッセージが対象としている契約の中の追加契約分の契約金額の合計を、[1092] 契約金額計の内数として表す。
1093			○	○	○			○	○				[1092] 契約金額計に対する調整額。値引きなどは負号をつけた金額となる。
1094			○	○	○			○	○				[1092] 契約金額計+ [1093] 契約金額調整額。
1098			○	○	○			○	○				[1094] 調整後契約金額計に対する消費税の合計。
1099			○	○	○			○	○				[1094] 調整後契約金額計+ [1098] 契約金額消費税額。
1080				◎	◎			○	○				出来高調査を行った年月日。
1311			○	○	○			○	○				受注者が請求を行う年月。
1081			○	◎	◎			○	○				今回の出来高調査の回数。
1082								○	○				同一契約に対する請求回数。
1164	○	○		○	○					○	○		明細情報で示す取引の件数。
1313			○	○	○			○	○				請求金額の算定方式を表すコード。
1314			○	○	○			○	○				請求業務の完了状況を表すコード。
1315					○		○	○					出来高報告、請求、立替金報告に対する査定、確認結果を表すコード。
1316									○				請求メッセージに不備がある場合等にその内容を表すコード。
1381			○	○	○			○	○				検査完了の予定年月日。
1382			○	○	○			○	○				引渡しの予定年月日。
1106				○	○			○	○				[1232] 前回迄累積出来高数量明細の合計。
1107				○	○			○	○				[1233] 前回迄累積出来高金額明細の合計。
1321				○	○			○	○				[1107] 前回迄累積出来高金額計に対する調整額。値引きなどは負号をつけた金額となる。
1322				○	○			○	○				[1107] 前回迄累積出来高金額計+ [1321] 前回迄累積出来高金額計調整額。
1100								○	○				[1226] 前回迄累積請求数量明細の合計。
1101				○	○			○	○				[1227] 前回迄累積請求金額明細の合計。
1323				○	○			○	○				前回迄の請求にもとづいて支払が行われた、あるいは行われることが確定している金額（消費税抜き）。
1152				○	○			○	○				[1262] 税込前回迄累積出来高金額明細の合計。
1351				○	○			○	○				[1152] 税込前回迄累積出来高金額計に対する調整額。値引きなどは負号をつけた金額となる。
1352				○	○			○	○				[1152] 税込前回迄累積出来高金額計+ [1351] 税込前回迄累積出来高金額計調整額。
1159				○	○			○	○				[1269] 税込前回迄累積請求金額明細の合計。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字数	小数	マルチ	C D	消費税込	建築見積依頼	建築見積回答	設備見積依頼	設備見積回答	設備機器見積依頼	設備機器見積回答	購買見積依頼	購買見積回答	見積不採用通知	確定注文	注文請け	鑑項目合意変更申込	鑑項目合意変更承諾	合意解除申込	合意解除承諾	一方的解除通知	合意打切申込	合意打切承諾	一方的打切通知
1720	1148	前回請求金額計	N	14																							
1730	1149	前回請求保留金額計	N	14																							
1740	1155	税込前回請求金額計	N	14				*																			
1750	1156	税込前回請求保留金額計	N	14				*																			
1760	1108	今回迄累積出来高数量計	N	9	3																						
1770	1109	今回迄累積出来高金額計	N	14																					○	○	○
1780	1115	今回出来高百分率	N	9	3																						
1790	1116	累積出来高百分率	N	9	3																						
1800	1331	今回迄累積出来高金額計調整額	N	14																					○	○	○
1810	1332	調整後今回迄累積出来高金額計	N	14																					○	○	○
1820	1102	今回迄累積請求数量計	N	9	3																						
1830	1103	今回迄累積請求金額計	N	14																					○	○	○
1840	1334	今回迄累積請求金額計消費税額	N	14				*																			
1850	1114	今回迄累積請求保留金額計	N	14																					○	○	○
1860	1110	契約数量差引残高計	N	9	3																						
1870	1111	契約金額差引残高計	N	14																							
1880	1104	契約数量支払残高計	N	9	3																						
1890	1105	契約金額支払残高計	N	14																							
1900	1153	税込今回迄累積出来高金額計	N	14				*																	○	○	○
1910	1341	税込今回迄累積出来高金額計調整額	N	14				*																	○	○	○
1920	1342	調整後税込今回迄累積出来高金額計	N	14				*																	○	○	○
1930	1335	税込今回迄累積請求金額計（調整前）	N	14				*																	○	○	○
1940	1163	税込今回迄累積請求保留金額計	N	14				*																	○	○	○
1950	1343	税込今回迄累積請求金額計調整額	N	14				*																	○	○	○
1960	1160	税込今回迄累積請求金額計	N	14				*																	○	○	○
1970	1154	税込契約金額差引残高計	N	14				*																			
1980	1161	税込契約金額支払残高計	N	14				*																			
1990	1143	今回請求数量計	N	9	3																						
2000	1361	今回請求金額計（調整前）	N	14																					○	○	○

タグ No.	出 荷	入 荷	出 来 高 要 請	出 来 高 報 告	出 来 高 確 認	立 替 金 報 告	立 替 金 確 認	請 求 確 認	請 求 確 認	支 払 通 知	總 括 請 求	C A D デ ー タ 封 筒	摘 要
1148				○	○			○	○		○		前回請求した金額。または [1258] 前回請求金額明細の合計。
1149				○	○			○	○		○		前回請求を保留した金額。または [1259] 前回請求保留金額明細の合計。
1155				○	○			○	○		○		前回請求した税込金額。または [1265] 税込前回請求金額明細の合計。
1156				○	○			○	○		○		前回請求を保留した税込金額。または [1266] 税込前回請求保留金額明細の合計。
1108				○	○			○	○		○		[1085] 明細数量計 (今回出来高数量計) + [1106] 前回迄累積出来高数量計。または [1234] 今回迄累積出来高数量明細の合計。
1109				○	○			○	○		○		[1090] 調整後帳票金額計 (今回出来高金額計) + [1107] 前回迄累積出来高金額計。または [1235] 今回迄累積出来高金額明細の合計。
1115				○	○			○	○		○		[1094] 調整後契約金額計に対する [1090] 調整後帳票金額計 (今回出来高金額計) の%割合。
1116				○	○			○	○		○		[1094] 調整後契約金額計に対する [1109] 今回迄累積出来高金額計の%割合。
1331				○	○			○	○				[1109] 今回迄累積出来高金額計に対する調整額。値引きなどは負号をつけた金額となる。
1332				○	○			○	○				[1109] 今回迄累積出来高金額計 + [1331] 今回迄累積出来高金額計調整額。
1102								○	○		○		[1100] 前回迄累積請求数量計 + [1143] 今回請求数量計。または [1228] 今回迄累積請求数量明細の合計。
1103				○	○			○	○		○		[1101] 前回迄累積請求金額計 + [1112] 今回請求金額計。または [1229] 今回迄累積請求金額明細の合計。
1334				○	○			○	○				[1103] 今回迄累積請求金額計に対する消費税の合計。
1114				○	○			○	○		○		今回迄の請求保留金額の累積合計。または [1255] 今回迄累積請求保留金額明細の合計。
1110				○	○			○	○		○		[1091] 契約数量計 - [1108] 今回迄累積出来高数量計。または [1236] 契約数量差引残高明細の合計。
1111				○	○			○	○		○		[1094] 調整後契約金額計 - [1109] 今回迄累積出来高金額計。または [1237] 契約金額差引残高明細の合計。
1104								○	○		○		[1091] 契約数量計 - [1102] 今回迄累積請求数量計。または [1230] 契約数量支払残高明細の合計。
1105				○	○			○	○		○		[1094] 調整後契約金額計 - [1103] 今回迄累積請求金額計。または [1231] 契約金額支払残高明細の合計。
1153				○	○			○	○		○		[1090] 調整後帳票金額計 (今回出来高金額計) × (1 + 消費税率) + [1152] 税込前回迄累積出来高金額計。または [1263] 税込今回迄累積出来高金額明細の合計。
1341				○	○			○	○				[1153] 税込今回迄累積出来高金額計に対する調整額。値引きなどは負号をつけた金額となる。
1342				○	○			○	○				[1153] 税込今回迄累積出来高金額計 + [1341] 税込今回迄累積出来高金額計調整額。
1335				○	○			○	○				[1103] 今回迄累積請求金額計 + [1334] 今回迄累積出来高金額計消費税額。
1163				○	○			○	○		○		今回迄の税込の請求保留金額の累積合計。または [1273] 税込今回迄累積請求保留金額明細の合計。
1343				○	○			○	○				[1335] 税込今回迄累積請求金額計 (調整前) に対する調整額。値引きなどは負号をつけた金額となる。
1160				○	○			○	○		○		[1158] 税込今回請求金額合計 + [1159] 税込前回迄累積請求金額計。または [1270] 税込今回迄累積請求金額明細の合計。
1154				○	○			○	○		○		[1099] 最終契約金額 - [1153] 税込今回迄累積出来高金額計。または [1264] 税込契約金額差引残高明細の合計。
1161				○	○			○	○		○		[1099] 最終契約金額 - [1160] 税込今回迄累積請求金額計。または [1271] 税込契約金額支払残高明細の合計。
1143				○	○			○	○		○		[1085] 明細数量計 (今回出来高数量計) のうち今回請求する数量。または [1252] 今回請求数量明細の合計。
1361				○	○			○	○				今回請求する金額の合計。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字数	小数	マルチ	C D	消費税込	建築見積依頼	建築見積回答	設備見積依頼	設備見積回答	設備機器見積依頼	設備機器見積回答	購買見積依頼	購買見積回答	見積不採用通知	確定注文	注文請け	鑑項目合意変更申込	合意解除申込	合意解除承諾	一方的解除通知	合意打切申込	合意打切承諾	一方的打切通知	
2010	1362	今回請求金額計調整額	N	14																					○	○	○
2020	1112	今回請求金額計	N	14																					○	○	○
2030	1113	今回請求保留金額計	N	14																							
2040	1150	今回繰越請求金額計	N	14																							
2050	1151	今回請求金額合計	N	14																							
2060	1157	税込今回繰越請求金額計	N	14				*																			
2070	1158	税込今回請求金額合計	N	14				*																			
2080	1162	税込今回請求保留金額計	N	14				*																			
2090	1035	受注者指定金融機関名	K	40		MSレ ^h ル1																					
2100	1036	受注者指定金融機関支店名	K	40		MSレ ^h ル1																					
2110	1037	受注者指定金融機関預金種目	K	6		MSレ ^h ル1																					
2120	1038	受注者指定金融機関口座番号	9	20		MSレ ^h ル1																					
2130	1039	受注者指定金融機関口座名義	K	40		MSレ ^h ル1																					
2140	1040	受注者指定金融機関口座名義フリガナ	X	60		MSレ ^h ル1																					
2150	1117	手形受渡し場所	K	60																							
2160	1118	金融機関振込日	9	8																							
2170	1119	手形支払日	9	8																							
2180	1120	期日一括払い支払日	9	8																							
2190	1121	支払区分開始日	9	8																							
2200	1122	支払区分終了日	9	8																							
2210	1123	前回支払保留金額計	N	14				*																			
2220	1124	今回支払計上金額計	N	14				*																			
2230	1125	今回支払保留金額計	N	14				*																			
2240	1126	今回支払金額計	N	14				*																			
2250	1127	控除・相殺金額明細計	N	14				*																			
2260	1128	一括控除・相殺項目	K	40		M4レ ^h ル1		*																			
2270	1129	一括控除・相殺金額	N	14		M4レ ^h ル1		*																			
2280	1130	一括控除・相殺金額計	N	14				*																			
2290	1131	控除・相殺金額合計	N	14				*																			

タグ No.	出 荷	入 荷	出来 高要 請	出来 高報 告	出来 高確 認	立 替金 報 告	立 替金 確 認	請 求 確 認	請 求 確 認	支 払 通 知	総 括 請 求	C A D デ ー タ 封 筒	摘 要
1362				○	○			○	○				[1361] 今回請求金額計（調整前）に対する調整額。値引きなどは負号をつけた金額となる。
1112				○	○			○	○				[1090] 調整後帳票金額計（今回出来高金額計）のうち今回請求する金額。または [1253] 今回請求金額明細の合計。
1113				○	○			○	○				[1090] 調整後帳票金額計（今回出来高金額計）－ [1112] 今回請求金額計。または [1254] 今回請求保留金額明細の合計。
1150				○	○			○	○				前回請求を保留した中で今回繰越請求を行う金額。または [1260] 今回繰越請求金額明細の合計。
1151				○	○			○	○				[1112] 今回請求金額計＋ [1150] 今回繰越請求金額計。または [1261] 今回請求金額合計明細の合計。
1157				○	○			○	○				前回請求を保留した中で今回繰越請求を行う税込金額。または [1267] 税込今回繰越請求金額明細の合計。
1158				○	○			○	○				[1097] 最終帳票金額（税込今回請求金額計）－ [1157] 税込今回繰越請求金額計。または [1268] 税込今回迄請求金額残高明細の合計。
1162				○	○			○	○				[1090] 調整後帳票金額計（今回出来高金額計）×（1＋消費税率）－ [1097] 最終帳票金額（税込今回請求金額計）。または [1272] 税込今回請求保留金額明細の合計。
1035								○	○	◎	○		受注者が振込を指定する口座の金融機関名。
1036								○	○	◎	○		受注者が振込を指定する口座の金融機関支店名。
1037								○	○	○	○		受注者が振込を指定する口座の種別。（普通・当座）
1038								○	○	○	○		受注者が振込を指定する口座番号。（金融機関番号・支店番号を含む）
1039								○	○	○	○		受注者が振込を指定する口座名義。
1040								○	○	○	○		受注者が振込を指定する口座名義の読み仮名。
1117										○			手形の受渡し場所。
1118										◎			金融機関への振込による支払年月日。
1119										◎			手形による支払年月日。
1120										○			期日一括払いによる支払年月日。
1121										◎			支払通知の対象となる期間の開始年月日。
1122										◎			支払通知の対象となる期間の終了年月日。
1123										○			前回支払を保留した金額の合計。または [1238] 前回支払保留金額明細の合計。
1124										◎			今回支払の対象となる金額の合計。または [1239] 今回支払計上金額明細の合計。
1125										◎			今回支払を保留する金額の合計。または [1240] 今回支払保留金額明細の合計。
1126										○			[1123] 前回支払保留金額計＋ [1124] 今回支払計上金額計－ [1125] 今回支払保留金額計。または [1241] 今回支払金額明細の合計。
1127										○			[1242] 控除・相殺金額明細の合計。
1128										○			明細以外の手数料・立替分など一括して控除・相殺する項目内容の一覧。
1129										○			明細以外の手数料・立替分など一括して控除・相殺する項目別の金額一覧。
1130										○			[1129] 一括控除・相殺金額の合計。
1131										◎			[1127] 控除・相殺金額明細計＋ [1130] 一括控除・相殺金額計。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	小数	マルチ	C D	消費税込	建築見積依頼	建築見積回答	設備見積依頼	設備見積回答	設備機器見積依頼	設備機器見積回答	購買見積依頼	購買見積回答	見積不採用通知	確定注文	注文請け	鑑項目合意変更申込	鑑項目合意変更承諾	合意解除申込	合意解除承諾	一方的解除通知	合意打切申込	合意打切承諾	一方的打切通知
2300	1132	調整後今回支払金額計	N	14				*																			
2310	1133	今回支払金額内現金金額計	N	14				*																			
2320	1134	今回支払金額内手形金額計	N	14				*																			
2330	1135	今回支払金額内期日一括払い金額計	N	14				*																			
2340	1136	備考	K	120		M5レベル1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2350	55	自由使用欄	X	120											○	○		○	○								
2360	1383	受注者側専用使用欄	K	60		MUレベル1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2370	1384	発注者側専用使用欄	K	60		MVレベル1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2380	1001	送信側電子メールアドレス	X	120											◎	◎		◎	◎								
2390	1002	受信側電子メールアドレス	X	120											◎	◎		◎	◎								
2400	1146	CADデータ枚数	9	5											△	△		△	△								
2410	1147	CADデータ取扱い付帯事項	K	120											△	△		△	△								
2420	1391	技術データ用URL	X	256		MWレベル1			○	○	○	○	○	○	○	○											
2430	1392	技術データ摘要	K	100		MWレベル1			○	○	○	○	○	○	○	○											
2500	1600	今回控除・相殺金残高	N	14				*																			
2510	1601	前回控除・相殺金残高	N	14				*																			
2520	1602	今回支払金額内ファクタリング金額計	N	14				*																			
2530	1603	今回支払金額内現金金額内訳	N	14		MXレベル1		*																			
2540	1604	今回支払金額内現金金額金融機関振込日内訳	9	8	3	MXレベル1																					
2550	1605	今回支払金額内現金金額摘要	K	20		MXレベル1																					
2560	1606	今回支払金額内手形金額内訳	N	14		MYレベル1		*																			
2570	1607	今回支払金額内手形支払日内訳	9	8		MYレベル1																					
2580	1608	今回支払金額内手形決済日内訳	9	8		MYレベル1																					
2590	1609	今回支払金額内手形金額摘要	K	20		MYレベル1																					
2600	1610	今回支払金額内期日一括払い金額内訳	N	14		MZレベル1		*																			
2610	1611	今回支払金額内期日一括払い支払日内訳	9	8		MZレベル1																					
2620	1612	今回支払金額内期日一括払い金額摘要	K	20		MZレベル1																					
2630	1613	今回支払金額内ファクタリング金額内訳	N	14		MA1レベル1		*																			
2640	1614	今回支払金額内ファクタリング支払日内訳	9	8		MA1レベル1																					

タグ No.	出荷	入荷	出来高要請	出来高報告	出来高確認	立替金報告	立替金確認	請求	請求確認	支払通知	総括請求	CADデータ封筒	摘要
1132										◎			[1126] 今回支払金額計ー [1131] 控除・相殺金額合計。または [1243] 調整後今回支払金額明細の合計。
1133										◎			[1132] 調整後今回支払金額計の中で現金による支払金額の合計。
1134										◎			[1132] 調整後今回支払金額計の中で手形による支払金額の合計。
1135										○			[1132] 調整後今回支払金額計の中で期日一括払いによる支払金額の合計。
1136	○	○		○	○				○	○	○	○	帳票についての特記事項・参考情報を文面で示すフリーエリア。
55	○	○		○	○				○	○	○	△	各社独自のデータ項目に使用するフリーエリア。
1383	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	受注者独自のデータ項目に使用するフリーエリア。
1384	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	発注者独自のデータ項目に使用するフリーエリア。
1001	◎	◎		◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	データ送信側のインターネットの電子メールアドレス。
1002	◎	◎		◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	データ受信側のインターネットの電子メールアドレス。
1146	△	△		△	△								△ 本メッセージで対象とするCADデータの数。
1147	△	△		△	△								△ 本メッセージで対象とするCADデータを取り扱う際の付帯事項。
1391				○	○	○							技術データのダウンロードあるいは参照用のURL。
1392				○	○	○							技術データに係る詳細な内容や取り扱い等について記載するフリーエリア。
1600										○			立替・控除金額が請求金額を上回った際に発生する差額について、次回以降の処理に繰り越す場合の金額。
1601										○			前回に残した控除・相殺金を示す。
1602										○			[1132] 調整後今回支払金額計の中でファクタリングによる支払金額の合計。
1603										○			[1133] 今回支払金額内現金金額計に係る内訳。支払手段（現金か小切手か）や支払時期の違いを内訳として記載する。
1604										○			金融機関への振込による支払年月日の内訳。支払手段（現金か小切手か）や支払時期の違いを内訳として記載する。
1605										○			[1603] 今回支払金額内現金金額内訳に係る摘要。
1606										○			[1134] 今回支払金額内手形金額計に係る内訳。支払時期の違いを内訳として記載する。
1607										○			手形による支払年月日の内訳。支払時期の違いを内訳として記載する。
1608										○			手形による決済日の内訳。支払時期の違いを内訳として記載する。
1609										○			[1606] 今回支払金額内手形金額内訳に係る摘要。
1610										○			[1135] 今回支払金額内現金金額計に係る内訳。支払手段（現金か小切手か）や支払時期の違いを内訳として記載する。
1611										○			期日一括払いによる支払年月日の内訳。支払時期の違いを内訳として記載する。
1612										○			[1610] 今回支払金額内期日一括払い金額内訳に係る摘要。
1613										○			[1602] 今回支払金額内ファクタリング金額計に係る内訳。支払時期の違いを内訳として記載する。
1614										○			ファクタリングによる支払年月日の内訳。支払時期の違いを内訳として記載する。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	小数	マルチ	C D	消費 税込	建 築 見 積 依 頼	建 築 見 積 回 答	設 備 見 積 依 頼	設 備 見 積 回 答	設 備 機 器 見 積 依 頼	設 備 機 器 見 積 回 答	購 買 見 積 依 頼	購 買 見 積 回 答	見 積 不 採 用 通 知	確 定 注 文	注 文 請 け	鑑 定 目 合 意 変 更 申 込	合 意 解 除 申 込	合 意 解 除 承 諾	一 方 的 解 除 通 知	合 意 打 切 申 込	合 意 打 切 承 諾	一 方 的 打 切 通 知	
2650	1615	今回支払金額内ファク タリング決済日内訳	9	8		MA1レベル																					
2660	1616	今回支払金額内ファク タリング金額摘要	K	20		MA1レベル																					
2670	1620	手形送付先担当部署名	K	60																							
2680	1621	手形送付先担当郵便番 号	X	10																							
2690	1622	手形送付先担当住所	K	60																							
2700	1623	手形送付先担当電話番 号	X	25																							
2710	1624	手形送付先担当FAX番 号	X	25																							
2720	1630	支払通知内容問い合わせ 先	K	76		MA2レベル																					
2730	1631	支払通知記載事項摘要	K	76		MA3レベル																					
2740	1640	建設資機材コードパー ジョン	X	4					○	○	○	○	○	○													
3000	1200	明細コード	X	50		M6レベル	*		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●
3010	1294	階層レベル	9	2		M6レベル	*		●	●																	
3020	1295	階層内通し番号	9	4		M6レベル	*		●	●																	
3030	1288	明細データ属性コード	X	1		M6レベル	*		●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○
3040	1289	補助明細コード	X	2		M6レベル	*		●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○				●	●	●
3050	1201	明細番号	X	25		M6レベル									○	○	○	○	○	○	○				○	○	○
3060	1278	明細番号2	X	25		M6レベル									○	○	○	○	○	○	○				○	○	○
3070	1202	明細別発注者担当部署 コード	X	25		M6レベル																					
3080	1203	明細別取引区分コード	X	5		M6レベル	*				○	○			◎	◎	◎	◎	○	○	○				○	○	○
3090	1287	明細別材工共コード	X	2		M6レベル	*								○	○	○	○	○	○	○				○	○	○
3100	1204	明細別参照帳票No.	X	25		M6レベル																					
3110	1205	明細年月日（明細別参 照帳票年月日）	X	14		M6レベル									○	○	○	○									
3120	1256	明細別参照CADデー タ番号		25		M6レベル									○	○	○	○									
3130	1257	明細別参照CADデー タ名称	K	60		M6レベル									○	○	○	○									
3140	1401	設計記号・機器記号	X	12		M6レベル			○	○			○	○													
3150	1402	明細別工種・科目コー ド	X	12		M6レベル			○	○																	
3160	1403	部位区分	X	12		M6レベル			○	○																	
3170	1279	建設資機材コード	X	40		M6レベル	*		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○
3180	1280	コード送信側変換結果 コード	X	2		M6レベル	*				○	○			○	○	○	○	○	○	○				○	○	○

タグ No.	出 荷	入 荷	出 来 高 要 請	出 来 高 報 告	出 来 高 確 認	立 替 金 報 告	立 替 金 確 認	請 求	請 求 確 認	支 払 通 知	総 括 請 求	C A D デ ー タ 封 筒	摘 要
1615										○			ファクタリングによる決済日の内訳。支払時期の違いを内訳として記載する。
1616										○			[1613] 今回支払金額内ファクタリング金額内訳に係る摘要。
1620										○			手形送付先の事業所・担当部署・作業所などの名称。
1621										○			手形送付先の事業所・担当部署・作業所などの連絡用の郵便番号。
1622										○			手形送付先の事業所・担当部署・作業所などの連絡用の住所。
1623										○			手形送付先の事業所・担当部署・作業所などの連絡用の電話番号。(市外局番を含む)
1624										○			手形送付先の事業所・担当部署・作業所などの連絡用のFAX番号。(市外局番を含む)
1630										○			支払通知内容に係る問い合わせ先。現場・作業所ではなく財務部門、経理部門などの連絡先を記載する。
1631										○			支払通知に記載されている内容、項目についての解説、説明。
													建設資機材コードのバージョン。
1200	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	明細データを特定しデータ階層上の位置を示すコード。
1294													明細データの階層の深さを表す。([1200] 明細コードの文字長) /4に一致する。
1295													明細データの同一階層内の通し番号を表す。 [1200] 明細コードの最終4桁を整数化した値に一致する。
1288	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[1200] 明細コードと組み合わせて使用し、総括明細、内訳明細、見積条件などの明細データの属性を表すコード。
1289	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	[1200] 明細コードおよび [1288] 明細データ属性コード と組み合わせて使用し、明細データの補助的な属性を表すコード。
1201	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各社が定めた明細データの通し番号・分類記号。
1278	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各社が定めた明細データの通し番号・分類記号その2。
1202	○	○						○	○	○	○	○	発注者が定めた明細データごとの発注者の担当部署の識別コード。(例：支払い担当部署など)
1203	◎	◎	○	◎	◎	○	○	◎	◎			○	明細別の購入・支給品・レンタル・リースなどの取引の区分を示すコード。
1287	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[1223] 明細金額について材料のみ/工賃のみ/材料・工賃共を示すコード。
1204	○	○								●	●	△	明細データに対応する取引の帳票番号を示す。
1205	○	○						○	○	○	○	△	明細データ・明細別参照帳票No. に関する年月日を示す。(例：納入日など)
1256	○	○	○	○									帳票データのみを送信した場合に、 [1213] 品名・名称に関連するCADデータの番号を示す。
1257	○	○	○	○									帳票データのみを送信した場合に、 [1213] 品名・名称に関連するCADデータの名称を示す。
1401													明細データと設計図書の設計記号あるいは機器記号との対応を示す。
1402													明細データの工種、科目を示す。
1403													明細データの部位を示す。
1279	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設資機材に対して採番された中間コード。
1280	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設資機材コード送信側におけるコード変換の変換結果を示すコード。コード変換時にコード変換プログラムが自動生成する。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	小数	マルチ	C D	消費 税込	建築 見積 依頼	建築 見積 回答	設備 見積 依頼	設備 見積 回答	設備 機器 見積 依頼	設備 機器 見積 回答	購買 見積 依頼	購買 見積 回答	見積 不採用 通知	確定 注文	注文 請け	鑑項目 合意 変更 申込	合意 解除 申込	合意 解除 承諾	一方の 解除 通知	合意 打切 申込	合意 打切 承諾	一方の 打切 通知
3190	1281	建設資機材標準名称	K	120		M6レ ^h ル1					○	○	○	○	○	○		○	○							
3200	1282	コード受信側変換結果 コード	X	2		M6レ ^h ル1	*				○	○			○	○		○	○	○	○			○	○	○
3210	1405	C-CADEC機器分類 コード	X	40		M6レ ^h ル1	*						○	○												
3220	1210	名称コード	X	25		M6レ ^h ル1									○	○		○	○							
3230	1211	摘要コード	X	54		M6レ ^h ル1					○	○			○	○		○	○							
3240	1213	品名・名称	K	60		M7レ ^h ル2			○	○	○	○	○	○	◎	◎		◎	◎	○	○			○	○	○
3250	1214	規格・仕様・摘要	K	60		M7レ ^h ル2			○	○	○	○	○	○	◎	◎		◎	◎	○	○			○	○	○
3260	1215	補助概要	K	60		M7レ ^h ル2									○	○		○	○							
3270	1283	配管用途コード	X	2		M6レ ^h ル1	*								○	○		○	○							
3280	1284	建設資機材メーカー/ 型番コード	X	25		M6レ ^h ル1	*						○	○	○	○		○	○							
3290	1285	施工区分コード	X	6		M6レ ^h ル1	*								○	○		○	○							
3300	1212	明細別取引件名（支払 件名）	K	60		M7レ ^h ル2																				
3310	1206	使用期間開始日	X	14		M6レ ^h ル1									○	○		○	○					○	○	○
3320	1207	使用期間締切日	X	14		M6レ ^h ル1									○	○		○	○					○	○	○
3330	1208	使用期間	N	9	3	M6レ ^h ル1									○	○		○	○	○	○			○	○	○
3340	1209	使用期間単位	K	6		M6レ ^h ル1	*								○	○		○	○	○	○			○	○	○
3350	1216	補助数量	N	9	3	M6レ ^h ル1									○	○		○	○	○	○			○	○	○
3360	1217	補助数量単位	K	6		M6レ ^h ル1	*								○	○		○	○	○	○			○	○	○
3370	1218	明細数量	N	9	3	M6レ ^h ル1			○	○	○	○	○	○	◎	◎		◎	◎	○	○			○	○	○
3380	1219	明細数量単位	K	6		M6レ ^h ル1	*		○	○	○	○	○	○	◎	◎		◎	◎	○	○			○	○	○
3390	1220	明細別消費税コード	X	1		M6レ ^h ル1	*								○	◎		◎	◎							
3400	1286	明細別運賃コード	X	2		M6レ ^h ル1	*								○	○		○	○							
3410	1221	明細別課税分類コード	X	1		M6レ ^h ル1	*																			
3420	1222	単価	N	12	3	M6レ ^h ル1				○	○	○		○	○	◎		◎	◎	○	○			○	○	○
3430	1223	明細金額	N	14		M6レ ^h ル1					○	○		○	○	◎		◎	◎	○	○			○	○	○
3440	1292	定価	N	12	3	M6レ ^h ル1			○	○	○	○		○												
3450	1293	単価掛率	N	3	1	M6レ ^h ル1			○	○																
3460	1247	明細別使用メーカー コード	X	25		M6レ ^h ル1							○	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○

タグ No.	出 荷	入 荷	出 来 高 要 請	出 来 高 報 告	出 来 高 確 認	立 替 金 報 告	立 替 金 確 認	請 求	請 求 確 認	支 払 通 知	総 括 請 求	C A D デ ー タ 封 筒	摘 要
1281	○	○		○	○			○	○	○	○		建設資機材の標準名称。
1282	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		建設資機材コード受信側におけるコード変換の変換結果を示すコード。コード変換時にコード変換プログラムが自動生成する。
1405													C-CADECにより整備された「機器分類コード」に準拠する。
1210	○	○		○	○			○	○		○		将来の統一品名・名称コードのための空きエリア。
1211	○	○						○	○		○		将来の統一規格・仕様・摘要コードのための空きエリア。
1213	◎	◎	○	◎	◎	○	○	◎	◎		○		品名・費目・工事科目名など名称。
1214	◎	◎	○	○	○	○	○	◎	○		○		規格・寸法・仕様などの摘要。
1215	○	○						○	○		○		特に別表示が必要な規格・仕様・摘要項目。（例：単重寸法など）
1283	○	○		○	○			○	○	○	○		配管類の用途を示すコード。
1284	○	○		○	○			○	○	○	○		発注者が定めたメーカーコードではなく、建設資機材のメーカーと型番を標準的に示すコード。
1285	○	○		○	○			○	○	○	○		管工事などにおいて、施工箇所（屋内、屋外など）、施工方法（露出、隠ぺいなど）などを示すコード。
1212								○	○	◎	◎		請求・支払の対象となる工事名・物品の名称など明細行別の取引件名。
1206				○	○	○	○	○	○		○		レンタル・リース取引の場合の使用開始年月日。
1207				○	○	○	○	○	○		○		レンタル・リース取引の場合の使用終了年月日。
1208				○	○	○	○	○	○		○		レンタル・リース取引の場合の使用期間。
1209				○	○	○	○	○	○		○		レンタル・リース取引の場合の使用期間単位。
1216	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		特に別表示が必要な数量。（例：本数・重量など）
1217	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		[1216] 補助数量の単位を示す単位コード。
1218	◎	◎	○	◎	◎	○	○	◎	◎		○		金額計算の基本となる数量。
1219	◎	◎	○	◎	◎	○	○	◎	◎		○		[1218] 明細数量の単位を示す単位コード。
1220	○	○		◎	◎			◎	◎	◎	○		[1223] 明細金額について税抜き・税込を示すコード。
1286	○	○		○	○			○	○	○	○		[1223] 明細金額について運賃の込／別を示すコード。
1221								○	○	○	○		消費税に係る課税・非課税取引を示すコード。
1222	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎		○		[1219] 明細数量1単位あたりの価格。
1223	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎		○		[1218] 明細数量× [1222] 単価。
1292													建設資機材の定価。
1293													[1292] 定価に対する [1222] 単価の%比率。見積依頼者からの単価端数の丸め等の指示がある場合、 [1291] 定価×0.01× [1293] 単価掛率と [1222] 単価とが一致しないこともあり得る。
1247			○	○	○			○	○		○		明細データごとの、メーカーの識別コード。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	小数	マルチ	C D	消費 税込	建築 見積 依頼	建築 見積 回答	設備 見積 依頼	設備 見積 回答	設備 機器 見積 依頼	設備 機器 見積 回答	購買 見積 依頼	購買 見積 回答	見積 不採用 通知	確定 注文	注文 請け	鑑項目 合意 変更 申込	鑑項目 合意 変更 承諾	合意 解除 申込	合意 解除 承諾	一方の 解除 通知	合意 打切 申込	合意 打切 承諾	一方の 打切 通知	
3470	1248	明細別使用メーカー名	K	40		M6レ ^h ル1							○	○	○	○									○	○	○	
3480	1249	明細別使用商社コード	X	25		M6レ ^h ル1									○	○										○	○	○
3490	1250	明細別使用商社名	K	40		M6レ ^h ル1									○	○										○	○	○
3500	1251	明細別備考欄	K	80		M8レ ^h ル2			○	○	○	○	○	○	○	○										○	○	○
3510	1404	仕分け区分	X	24		M6レ ^h ル1			○	○																		
3520	1413	明細別変更コード	X	1		M6レ ^h ル1	*								○	○										○	○	○
3530	1400	明細別注文番号枝番	X	2		M6レ ^h ル1																				○	○	○
3540	1298	契約使用期間	X	1		M6レ ^h ル1																				○	○	○
3550	1299	契約補助数量	X	2		M6レ ^h ル1																				○	○	○
3560	1224	契約数量明細	N	9	3	M6レ ^h ル1																				○	○	○
3570	1225	契約金額明細	N	14		M6レ ^h ル1																				○	○	○
3580	1232	前回迄累積出来高数量 明細	N	9	3	M6レ ^h ル1																				○	○	○
3590	1296	前回迄累積出来高明細 別単価出来高率	N	3	1	M6レ ^h ル1																				○	○	○
3600	1233	前回迄累積出来高金額 明細	N	14		M6レ ^h ル1																				○	○	○
3610	1226	前回迄累積請求数量明 細	N	9	3	M6レ ^h ル1																						
3620	1227	前回迄累積請求金額明 細	N	14		M6レ ^h ル1																						
3630	1262	税込前回迄累積出来高 金額明細	N	14		M6レ ^h ル1		*																				
3640	1269	税込前回迄累積請求金 額明細	N	14		M6レ ^h ル1		*																				
3650	1258	前回請求金額明細	N	14		M6レ ^h ル1																						
3660	1259	前回請求保留金額明細	N	14		M6レ ^h ル1																						
3670	1265	税込前回請求金額明細	N	14		M6レ ^h ル1		*																				
3680	1266	税込前回請求保留金額 明細	N	14		M6レ ^h ル1		*																				
3690	1234	今回迄累積出来高数量 明細	N	9	3	M6レ ^h ル1																				○	○	○
3700	1297	今回迄累積出来高明細 別単価出来高率	N	3	1	M6レ ^h ル1																				○	○	○
3710	1235	今回迄累積出来高金額 明細	N	14		M6レ ^h ル1																				○	○	○
3720	1228	今回迄累積請求数量明 細	N	9	3	M6レ ^h ル1																						

タグ No.	出荷	入荷	出来高要請	出来高報告	出来高確認	立替金報告	立替金確認	請求	請求確認	支払通知	総括請求	CADデータ封筒	摘要
1248			○	○	○			○	○		○		明細データごとの、メーカーの名称。
1249			○	○	○			○	○		○		明細データごとの、商社の識別コード。
1250			○	○	○			○	○		○		明細データごとの、商社の名称。
1251	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		明細データごとの特記事項・参考情報を文面で示すフリーエリア。
1404													明細データの仕分け等に使用するためのフリーエリア。取引当事者間の合意により記載内容を取り決める。
1413				○	○								受発注者間のメッセージのやり取りの間で明細行の追加、明細行の内容の変更が発生し、追加・変更データであることを表すコード。
1400				○	○			○	○				明細データに対する個別注文契約の枝番号を示す。
1298			○	○	○			○	○				契約における使用期間。
1299			○	○	○			○	○				契約における補助数量。
1224			○	○	○			○	○		○		契約数量の明細。
1225			○	○	○			○	○		○		契約金額の明細。
1232				○	○			○	○		○		前回迄の出来高数量の明細。
1296				○	○			○	○				[1232] 前回迄累積出来高数量明細に対する進捗の%割合。【使用例】材工共発注で、資材を搬入したが未施工の際に出来高を計上する必要がある場合、搬入数量を [1232] 前回迄累積出来高数量明細に記載し、[1296] 前回迄累積出来高明細別単価出来高率に一定比率を記載し、出来高金額を計上する。
1233				○	○			○	○		○		前回迄の出来高金額の明細。
1226								○	○		○		前回迄の請求数量の明細。
1227								○	○		○		前回迄の請求金額の明細。
1262				○	○			○	○		○		前回迄の税込出来高金額の明細。
1269				○	○			○	○		○		前回迄の税込請求金額の明細。
1258				○	○			○	○		○		前回請求した金額の明細。
1259				○	○			○	○		○		前回請求を保留した金額の明細。
1265				○	○			○	○		○		前回請求した税込金額の明細。
1266				○	○			○	○		○		前回請求を保留した税込金額の明細。
1234				○	○			○	○		○		[1218] 明細数量 (今回出来高数量明細) + [1232] 前回迄累積出来高数量明細。
1297				○	○			○	○				[1234] 今回迄累積出来高数量明細に対する進捗の%割合。【使用例】材工共発注で、資材を納入したが未施工の際に出来高を計上する必要がある場合、搬入数量を [1234] 今回迄累積出来高数量明細に記載し、[1297] 今回迄累積出来高明細別単価出来高率に一定比率を記載し、出来高金額を計上する。
1235				○	○			○	○		○		当月査定方式の場合：[1223] 明細金額 (今回出来高金額明細) + [1233] 前回迄累積出来高金額明細。 累積査定方式の場合：[1234] 今回迄累積出来高数量明細 × 0.01 × [1235] 今回迄累積出来高明細別単価出来高率 × [1222] 単価。
1228								○	○		○		[1252] 今回請求数量明細 + [1226] 前回迄累積請求数量明細。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	小数	マルチ	C D	消費 税込	建 築 見 積 依 頼	建 築 見 積 回 答	設 備 見 積 依 頼	設 備 見 積 回 答	設 備 機 器 見 積 依 頼	設 備 機 器 見 積 回 答	購 買 見 積 依 頼	購 買 見 積 回 答	見 積 不 採 用 通 知	確 定 注 文	注 文 請 け	鑑 定 目 合 意 変 更 申 込	合 意 解 除 申 込	合 意 解 除 承 諾	一 方 的 解 除 通 知	合 意 打 切 申 込	合 意 打 切 承 諾	一 方 的 打 切 通 知	
3730	1229	今回迄累積請求金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1																					
3740	1255	今回迄累積請求保留金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1																					
3750	1236	契約数量差引残高明細	N	9	3	M6レハ ^o ル1																					
3760	1237	契約金額差引残高明細	N	14		M6レハ ^o ル1																					
3770	1230	契約数量支払残高明細	N	9	3	M6レハ ^o ル1																					
3780	1231	契約金額支払残高明細	N	14		M6レハ ^o ル1																					
3790	1263	税込今回迄累積出来高金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
3800	1270	税込今回迄累積請求金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
3810	1273	税込今回迄累積請求保留金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
3820	1264	税込契約金額差引残高明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
3830	1271	税込契約金額支払残高明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
3840	1252	今回請求数量明細	N	9	3	M6レハ ^o ル1																					
3850	1253	今回請求金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1																					
3860	1254	今回請求保留金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1																					
3870	1260	今回繰越請求金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1																					
3880	1261	今回請求金額合計明細	N	14		M6レハ ^o ル1																					
3890	1290	消費税明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
3900	1291	最終金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
3910	1267	税込今回繰越請求金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
3920	1268	税込今回請求金額合計明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
3930	1272	税込今回請求保留金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
3940	1274	支払い手続き完了日	9	8		M6レハ ^o ル1																					
3950	1275	明細別金融機関振込日	9	8		M6レハ ^o ル1																					
3960	1276	明細別手形支払日	9	8		M6レハ ^o ル1																					
3970	1277	明細別期日一括払い支払日	9	8		M6レハ ^o ル1																					
3980	1238	前回支払保留金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
3990	1239	今回支払計上金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
4000	1240	今回支払保留金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			
4010	1241	今回支払金額明細	N	14		M6レハ ^o ル1		*																			

タグ No.	出 荷	入 荷	出 来 高 要 請	出 来 高 報 告	出 来 高 確 認	立 替 金 報 告	立 替 金 確 認	請 求 確 認	請 求 確 認	支 払 通 知	総 括 請 求	C A D デ ー タ 封 筒	摘 要
1229								○	○		○		[1253] 今回請求金額明細 + [1227] 前回迄累積請求金額明細。
1255								○	○		○		今回迄の請求保留金額の明細。
1236				○	○			○	○		○		[1224] 契約数量明細 - [1234] 今回迄累積出来高数量明細。
1237				○	○			○	○		○		[1225] 契約金額明細 - [1235] 今回迄累積出来高金額明細。
1230								○	○		○		[1224] 契約数量明細 - [1228] 今回迄累積請求数量明細。
1231								○	○		○		[1225] 契約金額明細 - [1229] 今回迄累積請求金額明細。
1263				○	○			○	○		○		今回迄の税込出来高金額の明細。
1270				○	○			○	○		○		[1268] 税込今回請求金額合計明細 + [1269] 税込前回迄累積請求金額明細。
1273				○	○			○	○		○		今回迄の税込請求保留金額の明細。
1264				○	○			○	○		○		[1225] 契約金額明細 (税抜きの場合) × (1 + 消費税率) - [1263] 税込今回迄累積出来高金額明細。
1271				○	○			○	○		○		税込の契約金額支払残高の明細。
1252								○	○		○		[1218] 明細数量 (今回出来高数量明細) に対する請求数量。
1253								○	○		○		[1223] 明細金額 (今回出来高金額明細) に対する請求金額。
1254								○	○		○		[1223] 明細金額 (今回出来高金額明細) - [1253] 今回請求金額明細。
1260				○	○			○	○		○		前回請求を保留した中で今回繰越請求を行う金額の明細。
1261				○	○			○	○		○		[1253] 今回請求金額明細 + [1260] 今回繰越請求金額明細。
1290				○	○			○	○		○		消費税の明細。
1291				○	○			○	○		◎		最終帳票金額の明細。
1267				○	○			○	○		○		前回請求を保留した中で今回繰越請求を行う税込金額の明細。
1268				○	○			○	○		○		[1291] 最終金額明細 (税込今回請求金額明細) + [1267] 税込今回繰越請求金額明細。
1272				○	○			○	○		○		税込の今回請求保留金額の明細。
1274				○	○			○	○		○		明細別の社内支払い手続きを完了した年月日。
1275				○	○			○	○		○		明細別の金融機関の振込 (現金支払) による支払年月日。
1276				○	○			○	○		○		明細別の手形による支払年月日。
1277				○	○			○	○		○		明細別の期日一括払いによる支払年月日。
1238											○		前回支払を保留した金額の明細。
1239											◎		今回支払の対象となる金額の明細。
1240											○		今回支払を保留する金額の明細。
1241											○		[1238] 前回支払保留金額明細 + [1239] 今回支払計上金額明細 - [1240] 今回支払保留金額明細。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

CI- NET No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	小数	マルチ	CD	消費 税込	建築 見積 依頼	建築 見積 回答	設備 見積 依頼	設備 見積 回答	設備 機器 見積 依頼	設備 機器 見積 回答	購買 見積 依頼	購買 見積 回答	見積 不採用 通知	確定 注文	注文 請け	鑑項目 合意 変更 申込	合意 解除 申込	合意 解除 承諾	一方の 解除 通知	合意 打切 申込	合意 打切 承諾	一方の 打切 通知	
4020	1242	控除・相殺金額明細	N	14		M6レ ^h ル1		*																			
4030	1243	調整後今回支払金額明細	N	14		M6レ ^h ル1		*																			
4040	1244	今回支払金額内現金金額明細	N	14		M6レ ^h ル1		*																			
4050	1245	今回支払金額内手形金額明細	N	14		M6レ ^h ル1		*																			
4060	1246	今回支払金額内期日一括払い金額明細	N	14		M6レ ^h ル1		*																			
4070	1420	明細別工事コード	X	25		M6レ ^h ル1																					
4080	1421	明細別取引件名コード	X	25		M6レ ^h ル1																					
4090	1422	明細別発注者管理番号	X	25		M6レ ^h ル1																					
4100	1423	明細別工事場所・受渡し場所名称	K	76		M6レ ^h ル1																					
4110	1424	明細別工事場所・受渡し場所電話番号	X	25		M6レ ^h ル1																					
4120	1425	明細別支払区分	X	10		M6レ ^h ル1																					
4130	1426	明細別CI=NET区分コード	X	1		M6レ ^h ル1	*																				
4140	1427	請求出来高立替控除区分コード	X	1		M6レ ^h ル1	*																				
4150	1430	明細別原価要素名	K	20		M6レ ^h ル1																					
4160	1431	明細別原価要素コード	X	5		M6レ ^h ル1																					
4170	1432	明細別原価科目名	K	20		M6レ ^h ル1																					
4180	1433	明細別原価科目コード	X	5		M6レ ^h ル1																					
4190	1434	明細別原価細目名	K	20		M6レ ^h ル1																					
4200	1435	明細別原価細目コード	X	5		M6レ ^h ル1																					
5000	1501	CADデータ番号	X	25		M6レ ^h ル1									△	△	△	△									
5010	1502	CADデータ名称	K	60		M6レ ^h ル1									▲	▲	▲	▲									
5020	1503	CADデータ作成バージョン	X	10		M6レ ^h ル1									△	△	△	△									
5030	1504	CADデータ作成年月日	9	14		M6レ ^h ル1									▲	▲	▲	▲									
5040	1505	CADデータ作成者担当者名	K	30		M6レ ^h ル1									△	△	△	△									
5050	1506	参照明細コード	X	25		M6レ ^h ル1																					
5060	1507	印刷サイズ	K	20		M6レ ^h ル1									△	△	△	△									
5070	1508	縮尺	X	10		M6レ ^h ル1									△	△	△	△									
5080	1509	CADデータ／属性データ区分	X	1		M6レ ^h ル1	*								△	△	△	△									
5090	1510	CADデータ形式コード	X	1		M6レ ^h ル1	*								▲	▲	▲	▲									

タグ No.	出 荷	入 荷	出 来 高 要 請	出 来 高 報 告	出 来 高 確 認	立 替 金 報 告	立 替 金 確 認	請 求	請 求 確 認	支 払 通 知	総 括 請 求	C A D デ ー タ 封 筒	摘 要
1242										○			手数料・立替分などの控除・相殺金額の明細。
1243										○			[1241] 今回支払金額明細－ [1242] 控除・相殺金額明細。
1244										○			[1243] 調整後今回支払金額明細の中で現金による支払金額の明細。
1245										○			[1243] 調整後今回支払金額明細の中で手形による支払金額の明細。
1246										○			[1243] 調整後今回支払金額明細の中で期日一括払いによる支払金額の明細。
1420										○			明細別の工事場所、受渡し場所、原価管理上の区分などを示すコード。
1421										○			明細別の発注工事の種別を示す作業コード・納入物品の種別を示す品目コードなど、取引件名の種別を表すコード。
1422										○			明細データに対応する取引の特定のために補助的に使用する帳票の番号。
1423										○			明細データごとの、工事場所・受渡し場所（納入場所）の正式名称。
1424										○			明細別の工事場所・受渡し場所（納入場所）の電話番号。
1425										○			明細別の支払区分を文面で示す場合のフリーエリア。
1426										○			明細の情報がCI-NETのEDIデータでやり取りされたものかを判別するためのコード。
1427										○			明細行が請求・出来高、または立替・控除のいずれに関わるデータかを判別するためのコード。
1430										○			明細データごとの、原価管理上の要素名。
1431										○			明細データごとの、原価管理上の要素コード。
1432										○			明細データごとの、原価管理上の科目名。
1433										○			明細データごとの、原価管理上の科目コード。
1434										○			明細データごとの、原価管理上の細目名。
1435										○			明細データごとの、原価管理上の細目コード。
1501	△	△		△	△								▲ CADデータの番号。
1502	▲	▲		▲	▲								▲ CADデータの名称。
1503	△	△		△	△								△ CADデータの作成バージョン。
1504	▲	▲		▲	▲								▲ CADデータを作成した年月日・時分秒。（時分秒については省略可）
1505	△	△		△	△								△ CADデータを作成した担当者の氏名。
1506													△ CADデータのみを送信した場合（CADデータ情報）、CADデータが対応する明細データの明細コード。
1507	△	△		△	△								△ CADデータを印刷した時のサイズを示す。（例：A1横、A2縦）
1508	△	△		△	△								△ [1507] 印刷サイズの縮尺（例：5／8、1／100、1／1000）
1509	△	△		△	△								△ CADデータと属性データの区分を示すコード。
1510	▲	▲		▲	▲								▲ CADデータ形式の識別コード。

第3章 情報表現規約／第2節 標準メッセージ規約

C I N E T No.	タグ No.	項目名	属性	文字 数	小数	マルチ	C D	消費税 込	建築 見積 依頼	建築 見積 回答	設備 見積 依頼	設備 見積 回答	設備 機器 見積 依頼	設備 機器 見積 回答	購買 見積 依頼	購買 見積 回答	見積 不採用 通知	確定 注文	注文 請け	鑑項目 合意 変更 申込	鑑項目 合意 変更 承諾	合意 解除 申込	合意 解除 承諾	一方 的解 除通 知	合意 打切 申込	合意 打切 承諾	一方 的打 切通 知
5100	1511	CADデータ形式名	K	40		M6レベル1									△	△		△	△								
5110	1512	CADデータ形式のバージョン	X	10		M6レベル1									△	△		△	△								
5120	1513	送信側CADハードウェア情報	K	60		M6レベル1									△	△		△	△								
5130	1514	送信側OS情報	K	20		M6レベル1									△	△		△	△								
5140	1515	送信側ベースソフト情報	K	60		M6レベル1									△	△		△	△								
5150	1516	送信側アプリケーションソフト情報	K	60		M6レベル1									△	△		△	△								
5160	1517	受信側CADハードウェア情報	K	60		M6レベル1									△	△		△	△								
5170	1518	受信側OS情報	K	20		M6レベル1									△	△		△	△								
5180	1519	受信側ベースソフト情報	K	60		M6レベル1									△	△		△	△								
5190	1520	受信側アプリケーションソフト情報	K	60		M6レベル1									△	△		△	△								
5200	1521	CADデータファイル名	X	60		M6レベル1									▲	▲		▲	▲								
5210	1522	外部参照データファイル名	X	60		M6レベル1									△	△		△	△								
5220	1523	データ圧縮識別コード	X	1		M6レベル1	*								▲	▲		▲	▲								
5230	1524	データ圧縮ソフト情報	K	60		M6レベル1									▲	▲		▲	▲								
5240	1525	レイヤー意味	K	120		M6レベル1									△	△		△	△								
5250	1526	設計名称	K	60		M6レベル1									△	△		△	△								
5260	1527	設計コード	X	25		M6レベル1									△	△		△	△								
5270	1528	設計仕様名称	K	60		M6レベル1									△	△		△	△								
5280	1529	設計仕様コード	X	25		M6レベル1									△	△		△	△								
5290	1530	設計開始年月日	9	8		M6レベル1									△	△		△	△								
5300	1531	設計終了年月日	9	8		M6レベル1									△	△		△	△								
5310	1532	明細別CADデータ取扱い付帯事項	K	120		MCレベル2									△	△		△	△								

タグ No.	出荷	入荷	出来高要請	出来高報告	出来高確認	立替金報告	立替金確認	請求	請求確認	支払通知	総括請求	CADデータ封筒	摘要
1511	△	△		△	△							△	[1510] CADデータ形式コードがDXF形式・IGES形式以外の場合のCADデータ形式名。
1512	△	△		△	△							△	CADデータ形式のバージョン。
1513	△	△		△	△							△	CADデータ送信側のCADデータ作成ハードウェア名。
1514	△	△		△	△							△	CADデータ送信側のCADデータ作成OS名とそのバージョン。
1515	△	△		△	△							△	CADデータ送信側のCADデータ作成ベースソフトウェア名とそのバージョン。
1516	△	△		△	△							△	CADデータ送信側のCADデータ作成アプリケーションソフト名とそのバージョン。
1517	△	△		△	△							△	CADデータ受信側のCADデータ処理ハードウェア名。
1518	△	△		△	△							△	CADデータ受信側のCADデータ処理OS名とそのバージョン。
1519	△	△		△	△							△	CADデータ受信側のCADデータ処理ベースソフトウェア名とそのバージョン。
1520	△	△		△	△							△	CADデータ受信側のCADデータ処理アプリケーションソフト名とそのバージョン。
1521	▲	▲		▲	▲							▲	CADデータのファイル名。
1522	△	△		△	△							△	外部参照データがある場合のファイル名。
1523	▲	▲		▲	▲							▲	データ圧縮の有無を示すコード。
1524	▲	▲		▲	▲							▲	データ圧縮に使用したソフトウェア名とそのバージョン。
1525	△	△		△	△							△	レイヤーの意味。
1526	△	△		△	△							△	建築・電気・空調・衛生等の設計名称。
1527	△	△		△	△							△	建築・電気・空調・衛生等の設計コード。
1528	△	△		△	△							△	国土交通省仕様・日建仕様等の設計仕様名称。
1529	△	△		△	△							△	国土交通省仕様・日建仕様等の設計仕様コード。
1530	△	△		△	△							△	設計の開始年月日。
1531	△	△		△	△							△	設計の終了年月日。
1532	△	△		△	△							△	[1502] CADデータ名称が示すCADデータを取り扱う際の付帯事項。

3 CI-NET標準データコード (CD)

「CI-NET標準データコード」とは、メッセージを処理するにあたって必要な情報をコード化し、標準化したものである。標準ビジネスプロトコルを利用する全ての企業は、CI-NET標準データコードを使用しなければならない。

表3.2.3-1 CI-NET標準データコード一覧表【CI-NETNo.順】 (1/2)

CI-NET No.	タグ No.	項目名	属性	桁数 (注)	コードの本節での参照箇所
20	2	情報区分コード	X	4	3.1 情報区分コード
40	4	発注者コード	X	12	3.2 標準企業コード
50	5	受注者コード	X	12	
80	9	訂正コード	X	1	3.3 訂正コード
440	1166	受注者建設業許可区分・登録コード	K	20	3.4 建設業許可区分・登録コード
450	1167	受注者建設業許可工事業種	K	12	3.5 建設業許可工事業種
480	1005	J V工事フラグ	X	1	3.6 J V工事フラグ
590	1170	発注者建設業許可区分・登録コード	K	20	3.4 建設業許可区分・登録コード
600	1171	発注者建設業許可工事業種	K	12	3.5 建設業許可工事業種
710	1371	工事場所・受渡し場所所在地コード (JIS)	X	5	3.7 工事場所・受渡し場所所在地コード (JIS)
810	1138	取引区分コード	X	5	3.8 取引区分コード
820	1049	施工者・納入者コード	X	12	3.2 標準企業コード
1110	1074	運送者コード	X	12	
1180	1312	出来高査定方式識別コード	X	1	3.9 出来高査定方式識別コード
1190	57	消費税コード	X	1	3.10 消費税コード
1200	59	課税分類コード	X	1	3.11 課税分類コード
1230	1084	補助数量計単位	K	6	3.12 単位コード
1250	1086	明細数量計単位	K	6	
1560	1314	請求完了区分コード	X	1	3.13 請求完了区分コード

(注) X属性の場合、1文字=1バイト。K属性の場合、1文字=2バイト

表3.2.3-1 CI-NET標準データコード一覧表【CI-NETNo.順】 (2/2)

CI-NET No.	タグ No.	項目名	属性	桁数 (注)	コードの本節での参照箇所
1570	1315	出来高・請求・立替査定結果コード	X	2	3.14 出来高・請求・立替査定結果コード
1580	1316	請求確認コード	X	1	3.15 請求確認コード
3000	1200	明細コード	X	50	3.16 明細コード
3010	1294	階層レベル	9	2	3.17 階層レベル
3020	1295	階層内通し番号	9	4	3.18 階層内通し番号
3030	1288	明細データ属性コード	X	1	3.19 明細データ属性コード
3040	1289	補助明細コード	X	2	3.20 補助明細コード
3080	1203	明細別取引区分コード	X	5	3.8 取引区分コード
3090	1287	明細別材工共コード	X	2	3.21 明細別材工共コード
3170	1279	建設資機材コード	X	40	3.22 建設資機材コード
3180	1280	コード送信側変換結果コード	X	2	3.23 コード送信側変換結果コード
3200	1282	コード受信側変換結果コード	X	2	3.24 コード受信側変換結果コード
3210	1405	C-CADEC機器分類コード	X	40	3.25 C-CADEC機器分類コード
3270	1283	配管用途コード	X	2	3.26 配管用途コード
3280	1284	建設資機材メーカー／型番コード	X	25	3.27 建設資機材メーカー／型番コード
3290	1285	施工区分コード	X	6	3.28 施工区分コード
3340	1209	使用期間単位	K	6	3.12 単位コード
3360	1217	補助数量単位	K	6	
3380	1219	明細数量単位	K	6	
3390	1220	明細別消費税コード	X	1	3.10 消費税コード
3400	1286	明細別運賃コード	X	2	3.29 明細別運賃コード
3410	1221	明細別課税分類コード	X	1	3.11 課税分類コード
3520	1413	明細別変更コード	X	1	3.30 明細別変更コード
4130	1426	明細別CI-NETコード	X	1	3.31 明細別CI-NET区分コード
4140	1427	請求出来高立替控除区分コード	X	1	3.32 請求出来高立替控除区分コード
5080	1509	CADデータ／属性データ区分	X	1	3.33 CADデータ／属性データ区分コード
5090	1510	CADデータ形式コード	X	1	3.34 CADデータ形式コード
5220	1523	データ圧縮識別コード	X	1	3.35 データ圧縮識別コード

(注) X属性の場合、1文字=1バイト。K属性の場合、1文字=2バイト

下表では、CI-NET標準データコードに関して各コードに対応するデータ項目名について整理、提示している。

表3.2.3-2 CI-NET標準データコード一覧表【コード順】（1/2）

コード	属性	桁数 (注)	CI-NET No.	タグNo.	データ項目名
3.1 情報区分コード	X	4	20	2	情報区分コード
3.2 標準企業コード	X	12	40	4	発注者コード
			50	5	受注者コード
			820	1049	施工者・納入者コード
			1110	1074	運送者コード
3.3 訂正コード	X	1	80	9	訂正コード
3.4 建設業許可区分・登録 コード	K	20	440	1166	受注者建設業許可区分・ 登録コード
			590	1170	発注者建設業許可区分・ 登録コード
3.5 建設業許可工事業種	K	12	450	1167	受注者建設業許可工事業 業種
			600	1171	発注者建設業許可工事業 業種
3.6 J V工事フラグ	X	1	480	1005	J V工事フラグ
3.7 工事場所・受渡し場所 所在地コード (JIS)	X	5	710	1371	工事場所・受渡し場所 所在地コード (JIS)
3.8 取引区分コード	X	5	810	1138	取引区分コード
			3080	1203	明細別取引区分コード
3.9 出来高査定方式識別コード	X	1	1180	1312	出来高査定方式識別 コード
3.10 消費税コード	X	1	1190	57	消費税コード
			3390	1220	明細別消費税コード
3.11 課税分類コード	X	1	1200	59	課税分類コード
			3410	1221	明細別課税分類コード
3.12 単位コード	K	6	1230	1084	補助数量計単位
			1250	1086	明細数量計単位
			3340	1209	使用期間単位
			3360	1217	補助数量単位
			3380	1219	明細数量単位
3.13 請求完了区分コード	X	1	1560	1314	請求完了区分コード

(注) X属性の場合、1文字=1バイト。K属性の場合、1文字=2バイト

表3.2.3-2 CI-NET標準データコード一覧表【コード順】 (2/2)

コード	属性	桁数 (注)	CI-NET No.	タグNo.	データ項目名
3.14 出来高・請求・立替査定 結果コード	X	2	1570	1315	出来高・請求・立替査定 結果コード
3.15 請求確認コード	X	1	1580	1316	請求確認コード
3.16 明細コード	X	50	3000	1200	明細コード
3.17 階層レベル	9	2	3010	1294	階層レベル
3.18 階層内通し番号	9	4	3020	1295	階層内通し番号
3.19 明細データ属性コード	X	1	3030	1288	明細データ属性コード
3.20 補助明細コード	X	2	3040	1289	補助明細コード
3.21 明細別材工共コード	X	2	3090	1287	明細別材工共コード
3.22 建設資機材コード	X	40	3170	1279	建設資機材コード
3.23 コード送信側変換結果 コード	X	2	3180	1280	コード送信側変換結果 コード
3.24 コード受信側変換結果 コード	X	2	3200	1282	コード受信側変換結果 コード
3.25 C-CADEC機器分類コード	X	40	3210	1405	C-CADEC機器分類コード
3.26 配管用途コード	X	2	3270	1283	配管用途コード
3.27 建設資機材メーカー／型番 コード	X	25	3280	1284	建設資機材メーカー ／型番コード
3.28 施工区分コード	X	6	3290	1285	施工区分コード
3.29 明細別運賃コード	X	2	3400	1286	明細別運賃コード
3.30 明細別変更コード	X	1	3520	1413	明細別変更コード
3.31 明細別CI-NET区分コード	X	1	4130	1426	明細別CI-NETコード
3.32 請求出来高立替控除区分 コード	X	1	4140	1427	請求出来高立替控除 区分コード
3.33 CADデータ／属性データ 区分コード	X	1	5080	1509	CADデータ ／属性データ区分
3.34 CADデータ形式コード	X	1	5090	1510	CADデータ形式コード
3.35 データ圧縮識別コード	X	1	5220	1523	データ圧縮識別コード

(注) X属性の場合、1文字=1バイト。K属性の場合、1文字=2バイト

3.1 情報区分コード

情報区分コードは伝送する情報の種類を表す。

3.1.1 情報区分コードの属性・文字数

情報区分コードの属性はX、文字数は4桁とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.1.2 情報区分コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [20] タグNo. [2] : 「情報区分コード」

3.1.3 情報区分コードリスト

表3.2.3-3 情報区分コードリスト (1/2)

業務単位	情報種類	メッセージ	情報区分コード
1. 見積	1.1 建築見積依頼情報	建築見積依頼メッセージ	0305
	1.2 建築見積回答情報	建築見積回答メッセージ	0306
	1.3 設備見積依頼情報	設備見積依頼メッセージ	0303
	1.4 設備見積回答情報	設備見積回答メッセージ	0304
	1.5 設備機器見積依頼情報	設備機器見積依頼メッセージ	0307
	1.6 設備機器見積回答情報	設備機器見積回答メッセージ	0308
2. 購買見積	2.1 購買見積依頼情報	購買見積依頼メッセージ	0301
	2.2 購買見積回答情報	購買見積回答メッセージ	0302
	2.3 見積不採用通知情報	見積不採用通知メッセージ	0309
3. 注文	3.1 確定注文情報	確定注文メッセージ	0502
	3.2 注文請け情報	注文請けメッセージ	0506
	3.3 鑑項目合意変更申込情報	鑑項目合意変更申込メッセージ	0503
	3.4 鑑項目合意変更承諾情報	鑑項目合意変更承諾メッセージ	0507
	3.5 合意解除申込情報	合意解除申込メッセージ	0504
	3.6 合意解除承諾情報	合意解除承諾メッセージ	0508
	3.7 一方的解除通知情報	一方的解除通知メッセージ	0514
	3.8 合意打切申込情報	合意打切申込メッセージ	0505
	3.9 合意打切承諾情報	合意打切承諾メッセージ	0509
	3.10 一方的打切通知情報	一方的打切通知メッセージ	0515

表3.2.3-3 情報区分コードリスト (2/2)

業務単位	情報種類	メッセージ	情報区分コード
4. 納 入	4.1 出荷情報	出荷メッセージ	0704
	4.2 入荷情報	入荷メッセージ	0705
5. 出来高	5.1 出来高要請情報	出来高要請メッセージ	0904
	5.2 出来高報告情報	出来高報告メッセージ	0902
	5.3 出来高確認情報	出来高確認メッセージ	0903
6. 立 替	6.1 立替金報告情報	立替金報告メッセージ	1204
	6.2 立替金確認情報	立替金確認メッセージ	1208
7. 支 払	7.1 請求情報	請求メッセージ	1104
	7.2 請求確認情報	請求確認メッセージ	1108
	7.3 支払通知情報	支払通知メッセージ	1106
	7.4 総括請求情報	総括請求メッセージ	1109
8. 技 術 データ 交 換	8.1 技術データ情報	(技術データ封筒メッセージ) ※ ¹	5001
	8.2 CADデータ情報	CADデータ封筒メッセージ	5101
	8.3 メッセージなし データ情報※ ²		9301
システム 運用情報	受信確認情報※ ³		9001
	0件データ情報※ ³		9101
	エラー情報※ ³		9201

※1 技術データ封筒メッセージについては現在未策定であり、標準ビジネスプロトコルでは使用するデータ項目の規定をしていない。

※2 「メッセージなしデータ情報」の情報区分コード「9301」は標準メッセージが制定されていないテキストまたはバイナリーデータをCIIシNTAXスルー1.51以上を利用して伝送する際に使用する。封筒情報なしに技術データやCADデータを伝送するために使用することができる。

※3 CI-NET運用諸規則「第4章 第2節 CI-NET運用ルール」を参照されたい。

3.2 標準企業コード

企業を特定するキーコードとして、標準企業コードを使用する。

3.2.1 標準企業コードの属性・文字数

標準企業コードの属性はX、文字数は最大12桁とする。

上6桁（6桁固定）は建設産業情報化推進センター等が発行する企業識別コード、下6桁（最大6桁）はユーザーが自由に採番できる枝番とする。

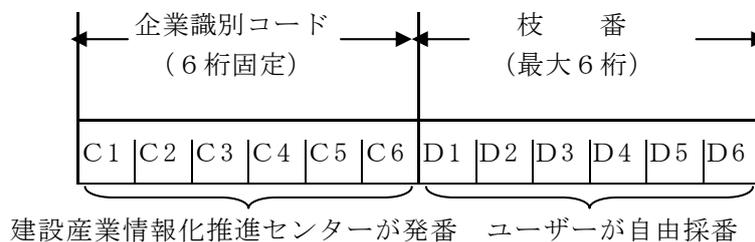


図3.2.3-4 標準企業コードの構造

企業識別コード・・・6桁固定で企業を識別し、いかなる部分も省略は許されない。
 企業識別コードは、（財）建設業振興基金 建設産業情報化推進センター等が発番し、（財）日本情報処理開発協会が管理する。

枝番・・・各企業のコンピュータセンター・支店・営業所・現場・部門などの識別に用いられ、最大6桁の範囲内で各企業が自由に採番・管理する。

3.2.2 標準企業コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [40]	タグNo. [4]	: 「発注者コード」
CI-NETNo. [50]	タグNo. [5]	: 「受注者コード」
CI-NETNo. [820]	タグNo. [1049]	: 「施工者・納入者コード」
CI-NETNo. [1110]	タグNo. [1074]	: 「運送者コード」

3.2.3 標準企業コードリスト

企業識別コードは、建設産業情報化推進センターに問い合わせるか、同センターの下記Webサイトにより知ることができる。

<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/ci-net/compcode.html>

企業識別コードは、現在（2009年3月時点）6つの組織により発番・管理されており、発番組織ごとにコードの先頭番号が異なる。1つは建設産業情報化推進センターであり、その他の5つは、（社）電子情報技術産業協会 ECセンター、（社）日本鉄鋼連盟 鉄鋼EDIセンター、（社）日本物流団体連合会 物流EDIセンター、（社）日本ロジスティクスシステム協会、および（財）日本情報処理開発協会である。

6つの組織別の企業識別コードの体系は、次のとおりである。

表3.2.3-5 企業識別コードの体系

コードセンター	コード体系
（社）電子情報技術産業協会 ECセンター	1 0 -----
	1 1 -----
	1 2 -----
（社）日本鉄鋼連盟 鉄鋼EDIセンター	1 5 -----
（財）建設業振興基金 建設産業情報化推進センター	2 1 -----
	2 2 -----
（財）日本情報処理開発協会	2 5 -----
	3 1 -----
	5 0 -----
（社）日本物流団体連合会 物流EDIセンター	5 5 -----
（社）日本ロジスティクスシステム協会	6 0 -----

3.3 訂正コード

訂正コードは、メッセージが「新規」であるのか「取消」「一括変更」「一部変更」であるのかを示す。「取消」「一括変更」「一部変更」時のデータ作成は、メッセージ作成規則に従う。（「第3章 第3節 4 変更・取消データの作成方法」参照）

3.3.1 訂正コードの属性・文字数

訂正コードの属性はX、文字数は1桁とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.3.2 訂正コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [80] タグNo. [9] : 「訂正コード」

3.3.3 訂正コードリスト

- 「1」・・・新規メッセージであることを示す。
- 「2」・・・前回伝送したメッセージを一括して変更するメッセージであることを示す。
- 「3」・・・前回伝送した当該メッセージの取消であることを示す。
- 「4」・・・当該メッセージの一部変更であることを示す。

3.4 建設業許可区分・登録コード

建設業許可区分・登録コードは、建設業法に基づく建設業の許可の許可区分・および登録番号を示す。

3.4.1 建設業許可区分・登録コードの属性・文字数

建設業許可区分・登録コードの属性はK、文字数は20文字とする。コードは漢字、アラビア数字を使用する。

建設業許可区分・登録コードの第1桁～第6桁目は許可行政庁の名称を示す。第7桁～第8桁目は許可区分の名称を示す。第9桁目～第20桁目は許可番号を示す。

許可行政庁は、建設業法に基づく建設業の許可において、許可を与えた行政庁の長を示す。属性はK、文字数は6文字とする。文字は漢字を使用し、決められた桁の範囲で右詰めで使用する。

許可区分の名称は、建設業法に基づく建設業の許可において、許可区分を示す。属性はK、文字数は2文字とし、漢字を使用する。

許可番号の属性はK、文字数は12文字とする。コードは漢字およびアラビア数字を使用し、第5桁目は「第」、第12桁目は「号」で固定する。第1桁目～第4桁目までは許可年次によって異なる番号を、第6桁目～第11桁目は会社によって特定されている番号を記入する。各番号は、決められた領域において右詰めで使用する。

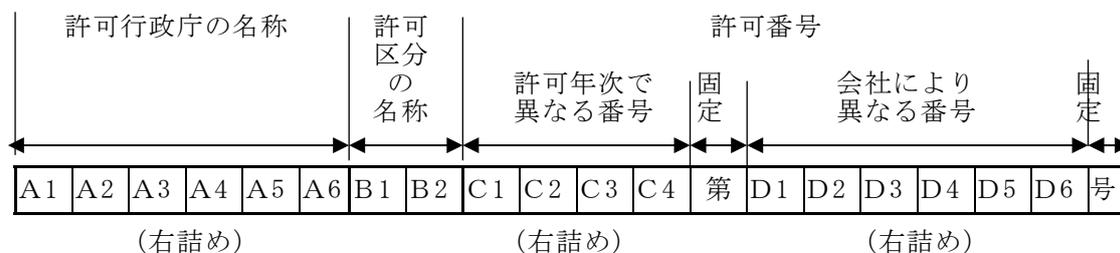


図3.2.3-6 建設業許可区分・登録番号の構成

3.4.2 建設業許可区分・登録コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [440] タグNo. [1166] : 「受注者建設業許可区分・登録コード」

CI-NETNo. [590] タグNo. [1170] : 「発注者建設業許可区分・登録コード」

3.4.3 建設業許可区分・登録コードリスト

(1) 許可行政庁の名称

表3.2.3-7 データ項目に使用する建設業許可行政庁の名称

国土交通大臣 (建設大臣)	富山県知事	島根県知事
北海道知事	石川県知事	岡山県知事
青森県知事	福井県知事	広島県知事
岩手県知事	山梨県知事	山口県知事
宮城県知事	長野県知事	徳島県知事
秋田県知事	岐阜県知事	香川県知事
山形県知事	静岡県知事	愛媛県知事
福島県知事	愛知県知事	高知県知事
茨城県知事	三重県知事	福岡県知事
栃木県知事	滋賀県知事	佐賀県知事
群馬県知事	京都府知事	長崎県知事
埼玉県知事	大阪府知事	熊本県知事
千葉県知事	兵庫県知事	大分県知事
東京都知事	奈良県知事	宮崎県知事
神奈川県知事	和歌山県知事	鹿児島県知事
新潟県知事	鳥取県知事	沖縄県知事

(2) 許可区分の名称

表3.2.3-8 データ項目に使用する建設業許可区分の名称

データ項目に使用する名称	対象業者
特定	特定建設業者の許可を受けた建設業者
一般	一般建設業者の許可を受けた建設業者

3.5 建設業許可工事業種

建設業許可工事業種は、建設業法に基づく建設業の許可の許可工事業種を示す。

3.5.1 建設業許可工事業種の属性・文字数

建設業許可工事業種の属性はK、文字数は12文字とする。ひらがな、カタカナ、漢字を使用する。

3.5.2 建設業許可工事業種を使用するデータ項目

CI-NETNo. [450] タグNo. [1167] : 「受注者建設業許可工事業種」

CI-NETNo. [600] タグNo. [1171] : 「発注者建設業許可工事業種」

3.5.3 建設業許可工事業種リスト

表3.2.3-9 データ項目に使用する建設業許可工事業種の名称

データ項目に使用する名称	許可業種
土木	土木工事業
建築	建築工事業
大工	大工工事業
左官	左官工事業
とび・土工	とび・土工工事業
石工	石工工事業
屋根	屋根工事業
電気	電気工事業
管	管工事業
タイル・れんが・ブロック	タイル・れんが・ブロック工事業
鋼構造物	鋼構造物工事業
鉄筋	鉄筋工事業
ほ装	ほ装工事業
しゅんせつ	しゅんせつ工事業
板金	板金工事業
ガラス	ガラス工事業
塗装	塗装工事業
防水	防水工事業
内装仕上	内装仕上工事業
機械器具	機械器具設置工事業
熱絶縁	熱絶縁工事業
電気通信	電気通信工事業
造園	造園工事業
さく井	さく井工事業
建具	建具工事業
水道施設	水道施設工事業
消防施設	消防施設工事業
清掃施設	清掃施設工事業

3.6 J V工事フラグ

J V工事フラグは当該工事がJ V工事か否かを表す。

3.6.1 J V工事フラグの属性・文字数

J V工事フラグの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.6.2 J V工事フラグを使用するデータ項目

CI-NETNo. [480] タグNo. [1005] : 「J V工事フラグ」

3.6.3 J V工事フラグリスト

「0」・・・一般

「1」・・・J V工事

3.7 工事場所・受渡し場所所在地コード (JIS)

工事場所・受渡し場所（納入場所）が所在する都道府県および市区町村を表すJISコード（JIS-X0401およびJIS-X0402）を表す。

3.7.1 工事場所・受渡し場所所在地コード (JIS) の属性・文字数

工事場所・受渡し場所所在地コードの属性はX、文字数は最大5文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.7.2 工事場所・受渡し場所所在地コード (JIS) を使用するデータ項目

CI-NETNo. [710] タグNo. [1371] : 「工事場所・受渡し場所所在地コード」

3.7.3 工事場所・受渡し場所所在地コードリスト (JIS)

本コードは、都道府県がJIS-X0401（2桁）で、地区町村がJIS-X0402（3桁）でいずれも規定するものに準拠して設定する。

3.8 取引区分コード

取引区分コードは、メッセージ、明細データにおける取引の形態を示す。販売者・購入者間、元請業者・協力業者とも同一のコードを使用する。

3.8.1 取引区分コードの属性・文字数

取引区分コードの属性はX、文字数は5文字とする。コードはアラビア数字を使用し、当面、2桁のみ使用する。

取引区分コードの第1桁目は大分類を、第2桁目は大分類の内訳としての中分類を示す。以上2階層の分類によって取引を区分する。第3桁～第5桁目は将来の拡張用として当面の間使用しない。



図3.2.3-10 取引区分コードの構成

3.8.2 取引区分コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [810] タグNo. [1138] : 「取引区分コード」
 CI-NETNo. [3080] タグNo. [1203] : 「明細別取引区分コード」

3.8.3 取引区分コードリスト

- 「1」 購入品・販売品を示す。
- 「11」 一式契約による取引を示す。
- 「12」 単価契約による取引を示す。
- 「2」 依託加工品・支給品を示す。
- 「3」 レンタル・リース取引を示す。
- 「31」 レンタル・リース取引で返却日を計上する。
- 「32」 レンタル・リース取引で返却日を計上しない。
- 「33」 レンタル・リース取引で損失として計上する。
- 「4」 売戻・買戻条件付取引を示す。
- 「41」 売戻・買戻条件付取引で返却日を計上する。
- 「42」 売戻・買戻条件付取引で返却日を計上しない。
- 「43」 売戻・買戻条件付取引で損失として計上する。

- 「5」 工事・作業であることを示す。
- 「51」 工事委託・請負作業などの外注取引を示す。
- 「52」 工事・作業の歩合による労務提供型の取引を示す。
- 「8」 帳票の金額に含まれない別途計上の取引を示す。
- 「81」 別途工事を示す。
- 「82」 貸与品を示す。
- 「83」 支給品を示す。
- 「84」 移設品を示す。
- 「85」 撤去品を示す。
- 「86」 既設品を示す。
- 「9」 運送費、事務経費など、上記に該当しない取引を示す。
- 「99」 上記の取引が明細データに混在していることを示す。

3.9 出来高査定方式識別コード

出来高査定方式識別コードは出来高査定の方法を表す。

3.9.1 出来高査定方式識別コードの属性・文字数

出来高査定方式識別コードの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.9.2 出来高査定方式識別コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [1180] タグNo. [1312] : 「出来高査定方式識別コード」

3.9.3 出来高査定方式識別コードリスト

- 「1」 . . . 累積査定方式
- 「2」 . . . 当月査定方式

3.10 消費税コード

消費税コードは、メッセージに記載されている金額が消費税込み（内税）の金額であるのか、消費税抜き（外税）の金額であるのかを示す。

3.10.1 消費税コードの属性・文字数

消費税コードの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.10.2 消費税コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [1190] タグNo. [57] : 「消費税コード」
 CI-NETNo. [3390] タグNo. [1220] : 「明細別消費税コード」

3.10.3 消費税コードリスト

- 「1」・・・ タグNo.[1088]明細金額計（タグNo.[1223]明細金額）が消費税込み（内税）の金額であることを示す。タグNo.[1088]明細金額計にタグNo.[1096]消費税額を加えてはならない。
- 「2」・・・ タグNo.[1088]明細金額計（タグNo.[1223]明細金額）が消費税抜き（外税）の金額であることを示す。タグNo.[1088]明細金額計にタグNo.[1096]消費税額を加えた額を[1097]最終帳票金額としなければならない。
- 「3」・・・ （タグNo.[1220]明細別消費税コードのみ）明細データの金額に内税・外税の金額が混在していることを示す。

3.11 課税分類コード

課税分類コードは、メッセージ、明細データの金額における消費税に係る課税処理の分類を示す。

3.11.1 課税分類コードの属性・文字数

課税分類コードの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.11.2 課税分類コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [1200] タグNo. [59] : 「課税分類コード」
 CI-NETNo. [3410] タグNo. [1221] : 「明細別課税分類コード」

3.11.3 課税分類コードリスト

- 「1」・・・当該取引が課税対象の取引であることを示し、消費税の処理を行う。
- 「2」・・・当該取引が非課税対象の取引であることを示し、非課税手続きの処理を行う。
- 「3」・・・当該取引が免税対象の取引であることを示し、免税手続きの処理を行う。
- 「4」・・・当該取引が経過措置の対象にあることを示し、経過措置の処理を行う。
- 「9」・・・当該取引が消費税対象外の取引であることを示し、消費税の処理を行わない。

3.12 単位コード

数量を示すデータ項目に対して、その単位の種類を示すコードとして規定しているものが単位コードである。単位コードは原則として、単位コードリストに定められたものを使用する。

3.12.1 単位コードの属性・文字数

単位コードの属性はK、文字数は6文字とする。コードはアラビア数字およびアルファベット、カタカナ、漢字を使用する。アルファベットの大文字・小文字は区別する。

3.12.2 単位コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [1230]	タグNo. [1084]	: 「補助数量計単位」
CI-NETNo. [1250]	タグNo. [1086]	: 「明細数量計単位」
CI-NETNo. [3340]	タグNo. [1209]	: 「使用期間単位」
CI-NETNo. [3360]	タグNo. [1217]	: 「補助数量単位」
CI-NETNo. [3380]	タグNo. [1219]	: 「明細数量単位」

3.12.3 単位コードリスト（第一水準）

必須と思われる単位について、単位コード第一水準を定める。その他の単位については単位コード第二水準として定める。

表3.2.3-11 単位コード第一水準（1/2）

No.	内容	凡例	単位コード	備考
1	ミリメートル	mm、MM、ミリ	mm	
2	センチメートル	cm、CM	cm	
3	メートル	m、M	m	
4	キロメートル	km	km	
5	平方ミリメートル	mm ² 、MM ²	mm ²	
6	平方センチメートル	cm ² 、CM ²	cm ²	
7	平方メートル	m ² 、M ²	m ²	
8	平方キロメートル	km ² 、KM ²	km ²	
9	帖（じょう）	帖	帖	床貼りなどの面積を示す。
10	坪（つぼ）	坪、3.3M ² 、3.3m ²	坪	
11	立方センチメートル	cc、CM ³ 、cm ³ 、ml	cc	
12	リットル	ℓ、l、L、リットル	L	
13	キロリットル	kℓ、kl、KL	kL	
14	立方メートル	m ³ 、M ³	m ³	キロリットルと同値である使い分けを行う。
15	グラム	g	g	
16	キログラム	kg、KG	kg	
17	トン	t、ton、トン T、屯	t	
18	個（こ）	ヶ、コ、個	個	
19	本（ほん）	本、ホン	本	
20	枚（まい）	枚、マイ	枚	
21	人（にん）	人	人	
22	袋（ふくろ）	袋	袋	
23	箱（はこ）	箱、ケース	箱	
24	基（き）	基、キ	基	
25	台（だい）	台、車、ダイ	台	
26	巻（まき）	巻	巻	
27	束（たば）	束	束	
28	缶（かん）	缶	缶	
29	畳（じょう）	畳	畳	畳の枚数を示す。
30	脚（きゃく）	脚	脚	
31	口（くち）	口	口	
32	足（そく）	足	足	
33	丁（ちょう）	丁	丁	
34	円（えん）	円	円	
35	株（かぶ）	株、ポット	株	

表3.2.3-11 単位コード第一水準(2/2)

No.	内容	凡例	単位コード	備考
36	鉢 (はち)	鉢	鉢	
37	式 (しき)	式	式	
38	組 (くみ)	組	組	
39	セット	セツト、Set、Sets	セット	
40	室 (しつ)	室	室	
41	戸 (こ)	戸	戸	
42	棟 (とう)	棟、トウ	棟	
43	段 (だん)	段	段	
44	供試体 (きょうしだい)	供試体	供試体	
45	試料 (しりょう)	試料	試料	
46	回 (かい)	回	回	
47	件 (けん)	件	件	
48	通 (つう)	通、部、冊	通	
49	字 (じ)	字、文字	字	
50	かしよ	カ所、箇所、 個所、か所、 ヶ所、所	カ所	
51	階 (かい)	階、フロア	階	
52	点 (てん)	点	点	
53	孔 (こう)	孔、穴	孔	
54	断面 (だんめん)	断面	断面	
55	面 (めん)	面	面	
56	床 (ゆか、しょう)	床	床	
57	秒 (びょう)	秒、sec	秒	
58	分 (ぶん)	分、min	分	
59	時間 (じかん)	時間、時、H、h hr	時間	
60	日 (にち)	日、ニチ	日	
61	月 (つき)	月、ヶ月、か月	月	
62	年 (ねん)	年	年	
63	月賦日割	月賦日割	月D	Dはpayment by the Dayの略 単価・数量は月ベースだが日 割り計算を行う事を示す
64	パーセント	%	%	
65	キロワット	kw	k W	
66	キロワット時	kwh	k W h	「k W時間」の組合せ単位 は例外として使用しない

3.12.4 単位コードリスト（第二水準）

表3.2.3-12 単位コード第二水準（1/2）

No.	内 容	単位コード	備 考
1	架m（かメートル）	架m	足場
2	延m（のべメートル）	延m	石工事、はつり工事
3	枠m（わくメートル）	枠m	
4	インチ	i n	
5	フィート	f t	
6	寸（すん）	寸	
7	間（けん）	間	
8	ヘクタール	h a	
9	架m ² （か平方メートル）	架m ²	足場
10	延m ² （のべ平方メートル）	延m ²	仮設工事
11	掛m ² （かけ平方メートル）	掛m ²	枠組足場
12	空m ² （くう平方メートル）	空m ²	枠組
13	建m ² （たて平方メートル）	建m ²	水盛り
14	床m ² （ゆか平方メートル）	床m ²	床組
15	壁m ² （かべ平方メートル）	壁m ²	
16	法面m ² （のりめん平方メートル）	法面m ²	
17	水平m ² （すいへい平方メートル）	水平m ²	仮設工事、足場
18	天井m ² （てんじょう平方メートル）	天井m ²	野縁組
19	空m ³ （くう立方メートル）	空m ³	枠組
20	アンペア（あんぺあ）	アンペア	
21	池（いけ）	池	
22	回線（かいせん）	回線	電話など
23	回路（かいろ）	回路	
24	型（かた）	型	
25	カット	カット	写真の枚数など
26	機（き）	機	
27	キット	キット	
28	橋（きょう）	橋	
29	極（きょく）	極	
30	串（くし）	串	
31	系統（けいとう）	系統	
32	軒（けん）	軒	家屋調査など
33	現場（げんば）	現場	
34	号（ごう）	号	
35	時間率容量	A h	
36	条（じょう）	条	
37	食（しょく）	食	食事など

表3.2.3-12 単位コード第二水準 (2/2)

No.	内 容	単位コード	備 考
38	心 (しん)	心	
39	隻 (せき)	隻	台船など
40	席 (せき)	席	
41	石 (せき)	石	
42	世帯 (せたい)	世帯	
43	接点 (せってん)	接点	
44	双 (そう)	双	手袋など
45	槽 (そう)	槽	
46	層 (そう)	層	
47	測線 (そくせん)	測線	測量、観測
48	素子 (そし)	素子	
49	玉 (たま)	玉	わら縄など
50	着 (ちゃく)	着	作業衣
51	柱 (ちゅう)	柱	
52	張 (ちょう)	張	
53	対 (つい)	対	建具金物など
54	デシベル (でしべる)	d B	
55	度 (ど)	度	
56	灯 (とう)	灯	
57	分配 (ぶんぱい)	分配	
58	方出 (ほうで)	方出	
59	窓 (まど)	窓	サッシ
60	門 (もん)	門	門、水門
61	ユニット	ユニット	組合せ物
62	呼び (よび)	呼び	
63	連 (れん)	連	
64	枠 (わく)	枠	型枠
65	ロット	ロット	コンクリート試験
66	キロアンペア	k A	
67	キロカロリー	k c a l	
68	キロバール	k v a r	
69	キロボルト	k V	
70	キロボルトアンペア	k V A	
71	ボルト	V	
72	ボルトアンペア	V A	
73	マイクロファラデー	M I C R O F	
74	ワット	W	
75	ドラム	ドラム	
76	カートン	カートン	

3.12.5 単位コードの組合せ

数量の単位コードは、時間の単位コードと組み合わせて、数量と時間との積（人日、台日など）、または時間あたりの数量（個／日など）を示す単位コードとすることができる。この時、時間の単位コードは数量の単位コードの後ろに置く。

(1) 数量×時間

【数量の単位コード】		【時間の単位コード】		【数量と時間の積による単位コード】
m	×	秒	→	m秒
m 2	×	分	→	m 2 分
m 3	×	時間	→	m 3 時間
k g	×	日	→	k g 日
個	×	月	→	個月
t	×	月D	→	t 月D
カ所	×	年	→	カ所年

※ 「kW」（キロワット）のみ例外として、一般的な表現方法である「kWh」と表記とする。

(2) 数量÷時間

【数量の単位コード】		【時間の単位コード】		【時間当たりの数量を表す単位コード】
個	÷	日	→	個／日
t	÷	月	→	t／月
m 2	÷	年	→	m 2／年

図3.2.3-13 数量単位と時間単位の組合せ例

3.13 請求完了区分コード

請求完了区分コードは当該契約に係わる請求業務の完了状況を表す。

3.13.1 請求完了区分コードの属性・文字数

請求完了区分コードの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.13.2 請求完了区分コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [1560] タグNo. [1314] : 「請求完了区分コード」

3.13.3 請求完了区分コードリスト

「1」・・・未精算（請求継続） 最終回以外を示す。

「7」・・・以後使用停止

「9」・・・精算（最終回）

※「7」については、出来高要請メッセージのみ利用可能とし、さらに受注者は発注者から送信された出来高要請メッセージにおいて [1314] が [7] であった時点で、その後の出来高報告、出来高確認、請求の各メッセージは作成できないこととする。

3.14 出来高・請求・立替査定結果コード

出来高・請求・立替査定結果コードは出来高報告、請求、立替金報告に対する査定、確認結果を表す。

3.14.1 出来高・請求・立替査定結果コードの属性・文字数

出来高・請求・立替査定結果コードの属性はX、文字数は2文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.14.2 出来高・請求・立替査定結果コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [1570] タグNo. [1315] : 「出来高・請求・立替査定結果コード」

3.14.3 出来高・請求・立替査定結果コードリスト

「10」 承認

「20」 査定・不承認

「21」 . . 査定・不承認 (鑑、内訳とも査定・不承認)

「22」 . . 査定・不承認 (鑑査定・不承認、内訳承認)

「23」 . . 査定・不承認 (鑑承認、内訳査定・不承認)

「30」 受理

※「30」については、発注者が請求書を承認する前の行為であり、請求書を受理した旨を受注者に明示的に伝え、次回（月次）処理が可能である合図を目的とするものである。

3.15 請求確認コード

請求確認コードは請求メッセージに不備がある場合等にその内容を表す。

3.15.1 請求確認コードの属性・文字数

請求確認コードの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.15.2 請求確認コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [1580] タグNo. [1316] : 「請求確認コード」

3.15.3 請求確認コードリスト

表3.2.3-14 請求確認コードの内容

コード	発注者の表意内容	想定される状況と対応の例
1	出来高査定を受けた上で再度請求するよう、受注者に求める	<ul style="list-style-type: none"> 発注者の誤りによって出来高確認（承認）を受けられないまま請求締日が到来し、請求した場合。 → 受注者は出来高報告を行って発注者の査定を受け、出来高確認（承認）を受けた後に請求する。タイミングにより、今回請求に間に合う場合と、次回になる場合があり得る。
2	請求メッセージに誤り等があるので、修正して再送信するよう、受注者に求める。	<ul style="list-style-type: none"> 出来高実績、請求額は出来高査定業務において合意されているが、それら以外の請求メッセージの記載に軽微な誤りがあった場合。 → 受注者は誤りを修正して請求する。
3	既に発注者が請求を受理しており重複するため、重複分を発注者が破棄することに同意するよう、受注者に求める。	<ul style="list-style-type: none"> 発注者が既に請求を受理しているにもかかわらず、受注者の誤り等によって重複して請求を行った場合。 → 重複分の請求を受注者が撤回したことにするに、双方同意する。発注者が最初に受理した請求は、撤回されず正とする。
4	請求は承認/受理したが、支払を遅らせる。	<ul style="list-style-type: none"> 出来高実績、請求額は合意されているが、何らかの事情により支払が遅れる場合。

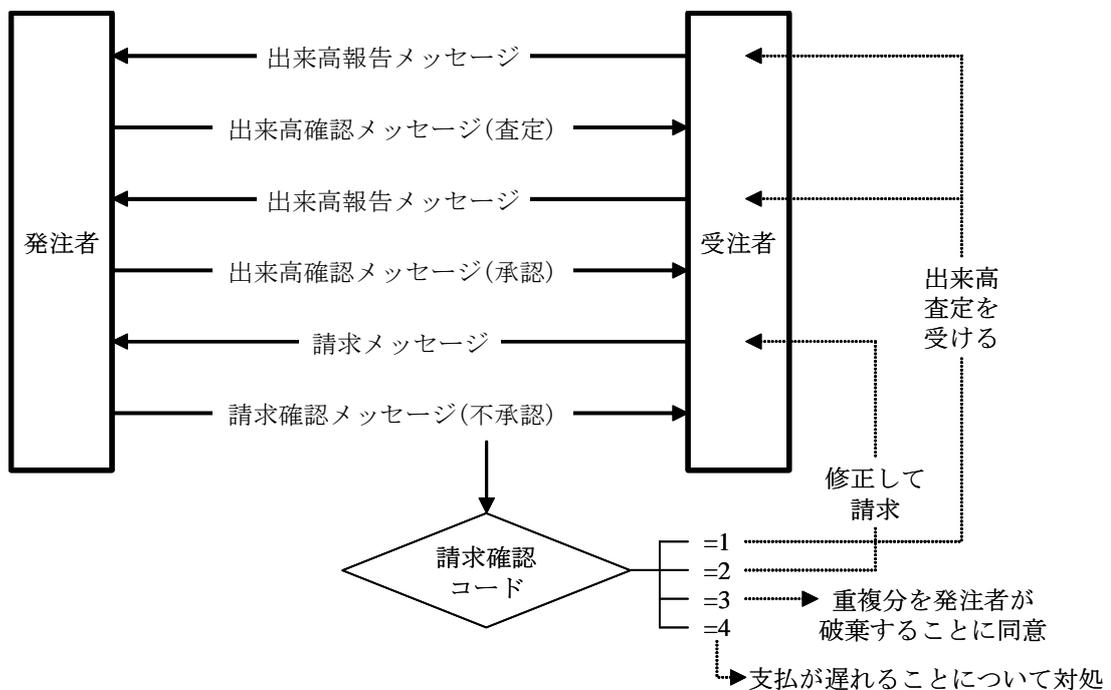


図3.2.3-15 請求不承認の場合の受注者の対処

3.16 明細コード

明細データに対するキー項目としてタグNo. [1200] 明細コードを規定する。明細コードは、タグNo. [1289] 補助明細コードと組み合わせて同一メッセージ内において全ての明細をユニークに識別する。明細コードは原則として、以下の採番方法に従って採番するものとする。

3.16.1 明細コードの属性・文字数

明細コードの属性はX、文字数は50文字とする。コードはアラビア数字およびアルファベットを使用する。

3.16.2 明細コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3000] タグNo. [1200] : 「明細コード」

3.16.3 明細コードの採番方法

建設産業での明細情報部分における取引内訳データには、図のように階層的な上下関係を持つものが多い。そこで、明細コードにより、取引内訳データの階層上の位置を示す。

コードの構造はデータの先頭（左側）から4桁毎に区切り、桁数により第何階層かの表示を行い、番号により同一階層内における区別を示す。したがって、最大12階層まで、同一階層位置内で最大9999個の明細データを区別することができる。原則として、採番は昇順とする。

明細コードは階層位置に対する固定コードではない。送信データ作成の都度、データ作成者が任意に採番する。

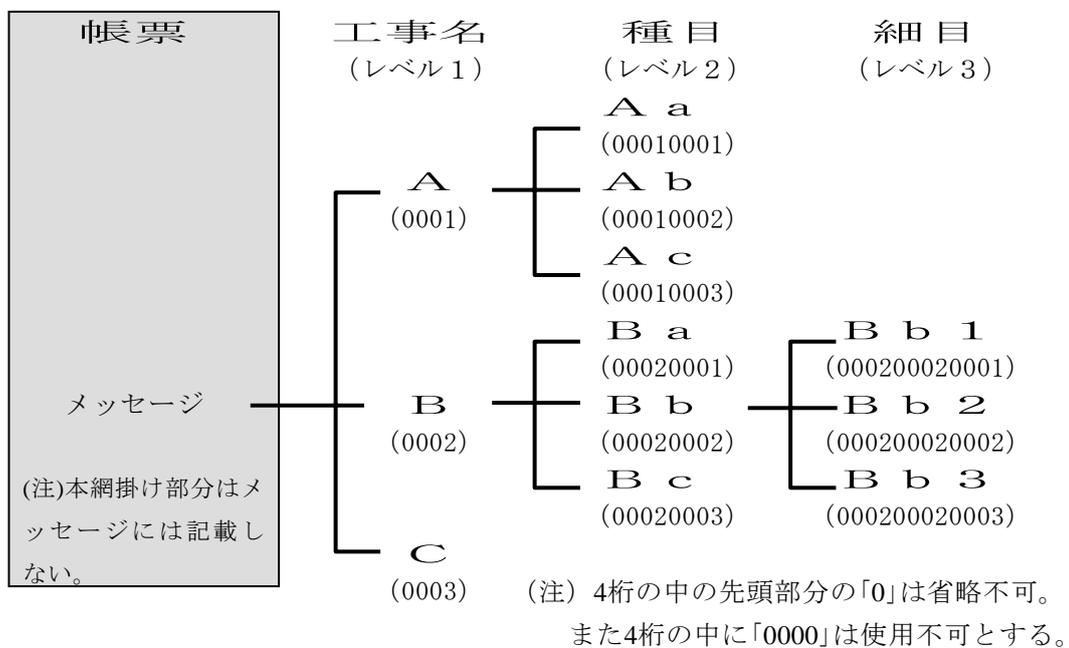


図3.2.3-16 取引内訳データに対する明細コードの採番例

3.17 階層レベル

階層レベルは明細データの階層の深さを表す。

3.17.1 階層レベルの属性・文字数

階層レベルの属性は9、文字数は最大2文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.17.2 階層レベルを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3010] タグNo. [1294] : 「階層レベル」

3.17.3 階層レベルの採番方法

(タグNo. [1200] 明細コードの文字長) / 4 に一致する。

3.18 階層内通し番号

階層内通し番号は明細データの同一階層内の通し番号を表す。

3.18.1 階層内通し番号の属性・文字数

階層内通し番号の属性は9、文字数は最大4文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.18.2 階層内通し番号を使用するデータ項目

CI-NETNo. [3020] タグNo. [1295] : 「階層内通し番号」

3.18.3 階層内通し番号の採番方法

[1200] 明細コードの最終4桁を整数化した値に一致する。

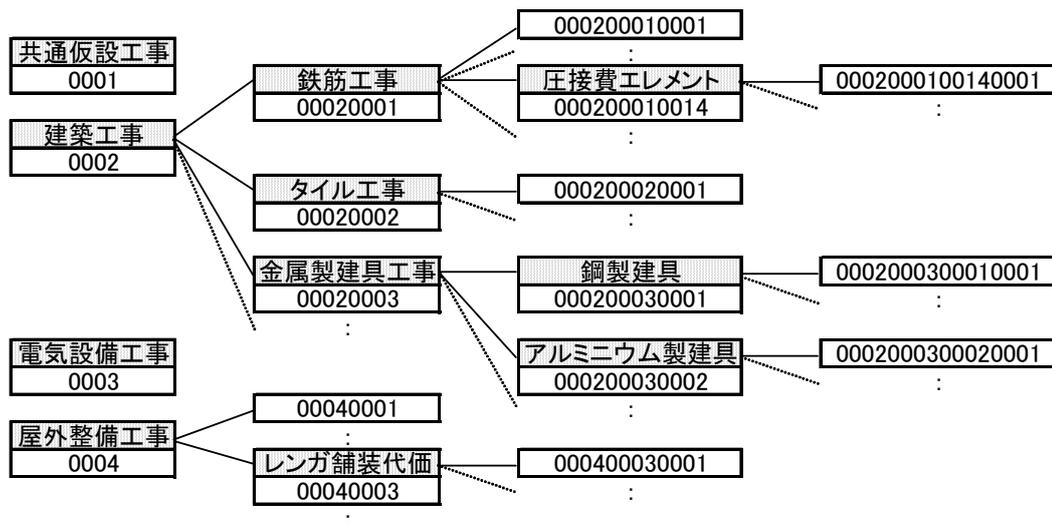


図3.2.3-17 階層表現の例

3.19 明細データ属性コード

明細データ属性コードは、タグNo.[1200]明細コードと組み合わせて使用し、総括明細、内訳明細、見積条件などの明細データの属性を表すコードである。

3.19.1 明細データ属性コードの属性・文字数

明細データ属性コードの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアラビア数字およびアルファベットを使用する。

3.19.2 明細データ属性コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3030] タグNo. [1288] : 「明細データ属性コード」

3.19.3 明細データ属性コードリスト

- 「0」・・・総括明細データ
- 「1」・・・見積条件等（見積条件）
- 「2」・・・見積条件等（メーカーリスト）
- 「3」・・・見積条件等（自由採番 注）
- 「4」・・・見積条件等（自由採番 注）
- 「5」・・・内訳明細データ
- 「E」・・・エレメント親行
- 「B」・・・別紙親行
- 「Q」・・・代価親行

注) 自由採番・・・見積条件等の内容で、特に指定したい属性があれば、取引の当事者が、合意の上で自由に採番して使用することができる番号。

3.20 補助明細コード

補助明細コードは、タグNo.[1200]明細コードおよびタグNo.[1288]明細データ属性コードと組み合わせて使用し、明細データの補助的な属性を表すコードである。

タグNo.[1200]明細コードとの組み合わせによって全ての明細をユニークに識別することができる。

3.20.1 補助明細コードの属性・文字数

補助明細コードの属性はX、文字数は2文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.20.2 補助明細コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3040] タグNo. [1289] : 「補助明細コード」

3.20.3 補助明細コードリスト

表3.2.3-18 補助明細コードリスト

コード番号	摘要
00	金額集計の対象となる行（総括明細、内訳明細を問わず）。 → 「本体行」と称する。
01～49	本体行に係わる規格・仕様・摘要のみを表す行（総括明細、内訳明細を問わず）。金額集計の対象とならない。 → 「仕様行」と称する。
90	金額の小計を表す行（総括明細、内訳明細を問わず）。金額集計の対象とならない。同一階層内の直前の計行から当該行までに存在する本体行の金額の計を記載する。同一階層内で前に小計行がない場合は、同一階層内の先頭から当該行までの本体行の金額の計を記載する。 → 「計行」と称する。
80	上記のいずれにも該当しないコメントを記載する行。金額集計の対象とならない。 → 「コメント行」と称する。

表3.2.3-19 補助明細コードと明細データ属性コードの組み合わせ

	明細データの属性	[1288] 明細データ 属性コード	[1289] 補助明細 コード
総括明細	総括明細本体行	0	00
	総括明細仕様行	0	01～49
	総括明細コメント行	0	80
見積条件	見積条件等（見積条件）	1	80
	見積条件等（メーカーリスト）	2	80
	見積条件等（自由使用）	3	80
	見積条件等（自由使用）	4	80
内訳明細	内訳明細本体行	5	00
	内訳明細仕様行	5	01～49
	内訳明細計行	5	90
	内訳明細コメント行	5	80
エレメント	エレメント親行（本体行）	E	00
別紙	別紙親行（本体行）	B	00
代価	代価親行（本体行）	Q	00

3.21 明細別材工共コード

明細別材工共コードは、タグNo. [1223] 明細金額について材料のみ／工賃のみ／材料・工賃共を示すコードである。

3.21.1 明細別材工共コードの属性・文字数

明細別材工共コードの属性はX、文字数は2文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.21.2 明細別材工共コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3090] タグNo. [1287] : 「明細別材工共コード」

3.21.3 明細別材工共コードリスト

「02」・・・材料のみ

「04」・・・工賃のみ

「06」・・・材料・工賃共

3.22 建設資機材コード

建設資機材コードは、建設資機材に対して採番された中間コードである。

3.22.1 建設資機材コードの属性・文字数

建設資機材コードの属性はX、文字数は40文字とする。コードはアラビア数字、アルファベット、カタカナほかX属性の半角文字すべてを使用できる。

このコードの構造は、下図のように「分野」「大分類」「中分類」「小分類」「細分類」という5つの分類項目により階層的に表現している。その後のセパレータ"&"は固定である。

続くスペックとは、コード化の表現方法を定めた「書式」を指す。実際にEDIデータとして表現するためには、この書式に従って展開（スペックの書式に数字・文字を入れ込むこと）する必要がある。

分類名	分野	大分類	中分類	小分類	細分類	セパレータ	スペック
byte数	2	2	3	4	3	1 "&"	可変長 最大25byte

固定長部分 (14byte)

図3.2.3-20 建設資機材コードの構成

<p>【例】「600Vビニル絶縁電線(IV) 導体径1.0mm」という資材は、建設資機材コードでは次のように表現される。</p>							
<p>[建設資機材コード]</p>							
分野	大分類	中分類	小分類	細分類	セパレータ	スペック	
40	05	010	0100	000	"&"	[<u>導体径</u>]MM	スペックの書式
<p>[スペックの書式を展開することにより送受信データのためのコードとなる]</p>							
分野	大分類	中分類	小分類	細分類	セパレータ	スペック	
40	05	010	0100	000	"&"	1.0MM	

なお、スペックの展開にあたっては次の点に注意が必要である。

- (1) 細分類1コードにつき複数のスペック書式が定められている場合もある。

【例】600Vビニル絶縁電線(IV)の場合

下記1) 2) のどちらを使用しても良い。

- 1) 40050100100000&[導体径]MM
- 2) " " &[公称断面積]MM2

- (2) スペックが小数点を含む場合、小数点以下に余計な「0」を付けない。

【例】× 1.0500

○ 1.05

※ただし、「呼び」寸法（呼び径、呼び圧力、公称断面積など）の場合は、規格どおりの寸法とし、余計な「0」もそのまま付加する。

【例】600Vビニル絶縁電線(IV) 公称断面積2.0mm2の場合

- × 40050100100000&2MM2
- × 40050100100000&2.MM2
- 40050100100000&2.0MM2

- (3) スペックが複数ある場合には、スペックとスペックの区切りに "_" (アンダーバー) を用いる。

- (4) スペックの付加は任意である。

スペックを付加しない場合はセパレータ"&"を付けない。

【例】600Vビニル絶縁電線(IV) でスペックを明示しない場合

- × 40050100100000&
- 40050100100000

3.22.2 建設資機材コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3170] タグNo. [1279] : 「建設資機材コード」

3.22.3 建設資機材コードリスト

大分類までのコード表は次表のとおりである。(2002年5月現在)

なお、本コードは標準化委員会コードメンテナンスWGが主体となり、月1回のメンテナンス(コードリストの追加など)が行われる。このため次表の大分類コード表の内容は変更されている場合がある。詳細については推進センターまで照会されたい。

表3.2.3-21 建設資機材コード 大分類コード表 (2002年5月現在) (1/2)

分野 (右端の数字はコード番号)	大分類 (右端の数字はコード番号)
共通資材 10	塗料 1010
	仮設 1020
	基礎・地業 1030
	コンクリート 1040
	骨材 1050
	型枠 1060
	鉄筋 1070
	鉄骨 1080
	共用その他 1090
	土木資材 20
道路・舗装 2010	
橋梁・トンネル 2020	
上・下水道 2030	
造園・緑化 2040	
港湾・海岸 2050	
土地改良 2060	
防水 2070	
土木資材その他 2090	
建築資材 30	組積 3005
	石材 3010
	タイル 3015
	屋根材 3020
	建築金物 3025
	左官材 3030
	木製・樹脂製建具 3040
	金属製建具 3045
	建具金物 3050
	ガラス 3055
	床仕上材 3060
	仕上ユニット 3065
	外構材 3070
	建築資材その他 3090

表3.2.3-21 建設資機材コード 大分類コード表 (2002年5月現在) (2/2)

分野 (右端の数字はコード番号)	大分類 (右端の数字はコード番号)
電気設備 40	配線 4005 管路材・ダクト (電気) 4010 配電機器 4020 照明器具 4030 通信機器 4040 防災機器 4050 外線・接地 4060 電気設備その他 4070 電気設備工事 4080
機械設備 50	機器設備 5005 ダクト設備 5010 配管設備 5020 衛生器具設備 5030 保温工事 5070 塗装工事 5080 専門工事 5090 付帯工事 5093 機械設備その他 5098
建設機械・工具 60	建設機械 6010 機械工具 6020 測定機器 6030 公害防止 6040 建設機械・工具その他 6090
公害防止、環境 保全、用度資材 63	公害防止、環境保全資材 6310 用度資材 6320 公害防止、環境保全、 用度資材その他 6390
工事費 90	共通工事費 9005 土木工事費 9010 建築工事費 9020 電気設備工事 9040 機械設備工事 9050 共通経費 9090
その他 98	計 9810

また平成12年度、国土交通省の補正予算により策定した建設資機材コードを参考資料7に掲載している。以下のURLでも公開している。

(建設業振興基金：http://www.kensetsu-kikin.or.jp/ci-net/code_mlnt/code_predwn.html)

建設資機材コードの標準化検討業務 概要報告書 より)

3.23 コード送信側変換結果コード

コード送信側変換結果コードは、建設資機材コード送信側におけるコード変換の変換結果を示すコードである。コード変換時にコード変換プログラムが自動生成する。

3.23.1 コード送信側変換結果コードの属性・文字数

コード送信側変換結果コードの属性はX、文字数は2文字とする。コードはアラビア数字を使用する。なお、第2桁は将来の拡張用とし、当面使用しない。



図3.2.3-22 コード送信側変換結果コードの構成

3.23.2 コード送信側変換結果コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3180] タグNo. [1280] : 「コード送信側変換結果コード」

3.23.3 コード送信側変換結果コードリスト

- 「0」・・・正常変換
- 「1」・・・該当する建設資機材コードがコード変換テーブルになし
- 「2」・・・該当する自社コードがコード変換テーブルになし
- 「3」・・・自社コードがセットされていない

3.24 コード受信側変換結果コード

コード受信側変換結果コードは、建設資機材コード受信側におけるコード変換の変換結果を示すコードである。

3.24.1 コード受信側変換結果コードの属性・文字数

コード受信側変換結果コードの属性はX、文字数は2文字とする。コードはアラビア数字を使用する。なお、第2桁は将来の拡張用とし、当面使用しない。



図3.2.3-23 コード受信側変換結果コードの構成

3.24.2 コード受信側変換結果コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3200] タグNo. [1282] : 「コード受信側変換結果コード」

3.24.3 コード受信側変換結果コードリスト

- 「0」・・・正常変換
- 「1」・・・該当する自社コードがコード変換テーブルになし
- 「2」・・・該当する建設資機材コードがコード変換テーブルになし
- 「3」・・・建設資機材コードがセットされていない
- 「4」・・・建設資機材コードの分野から細分類までで変換を行った
- 「5」・・・建設資機材コードの分野から小分類までで変換を行った
- 「6」・・・建設資機材コードの分野から中分類までで変換を行った
- 「7」・・・建設資機材コードの分野から大分類までで変換を行った
- 「8」・・・建設資機材コードの分野までで変換を行った

3.25 C-CADEC機器分類コード

C-CADEC*¹機器分類コードはC-CADECにより整備された機器分類コードを表す。

*¹ C-CADEC（設計製造情報化評議会）では、建設産業における設計生産情報を中心としたEC（電子商取引）の推進を目指して活動しており、それらを通して建設産業のみならず、関連する製造業界のEC化の推進と生産性の向上に寄与することを目的としている。

3.25.1 C-CADEC機器分類コードの属性・文字数

C-CADEC機器分類コードの属性はX、文字数は40文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.25.2 C-CADEC機器分類コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3210] タグNo. [1405] : 「C-CADEC機器分類コード」

3.25.3 C-CADEC機器分類コードリスト

C-CADEC機器分類コードは、CI-NET&C-CADECコードデータベースの「C-CADEC Stem機器コード」に整理されており、そちらを参照されたい。

(URL : <http://cinet.yoi-kensetsu.com/top.html>)

3.26 配管用途コード

配管用途コードは、配管類の用途を示すコードである。

3.26.1 配管用途コードの属性・文字数

配管用途コードの属性はX、文字数は2文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.26.2 配管用途コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3270] タグNo. [1283] : 「配管用途コード」

3.26.3 配管用途コードリスト

- 「02」・・・給水
- 「04」・・・雑給水（中水）
- 「06」・・・補給水
- 「08」・・・井戸水
- 「10」・・・給湯
- 「12」・・・排水
- 「14」・・・汚水

- 「16」 . . . 雑排水
- 「18」 . . . 雨水
- 「20」 . . . 特殊排水
- 「22」 . . . 通気
- 「24」 . . . ドレーン
- 「26」 . . . 冷却水
- 「28」 . . . 熱源水
- 「30」 . . . 冷水
- 「32」 . . . 温水
- 「34」 . . . 冷温水
- 「36」 . . . 高温水
- 「38」 . . . 膨張管
- 「40」 . . . 低圧蒸気
- 「42」 . . . 中圧蒸気
- 「44」 . . . 高圧蒸気
- 「46」 . . . 蒸気還水
- 「48」 . . . 冷媒
- 「50」 . . . 油
- 「52」 . . . 屋内消火
- 「54」 . . . 屋外消火
- 「56」 . . . 連結送水
- 「58」 . . . 連結散水
- 「60」 . . . スプリンクラー
- 「62」 . . . ドレンチャー
- 「64」 . . . 水噴霧消火
- 「66」 . . . 泡消火
- 「68」 . . . 二酸化炭素消火
- 「70」 . . . ハロン消火
- 「72」 . . . 粉末消火
- 「74」 . . . 都市ガス
- 「76」 . . . プロパンガス
- 「78」 . . . 特殊配管
- 「80」 . . . 医療配管
- 「82」 . . . 温泉
- 「84」 . . . 濾過
- 「86」 . . . 薬液
- 「88」 . . . 空気
- 「90」 . . . 真空

3.27 建設資機材メーカー／型番コード

発注者が定めたメーカーコードではなく、建設資機材のメーカーと型番を標準的に示すコードである。

3.27.1 建設資機材メーカー／型番コードの属性・文字数

建設資機材メーカー／型番コードの属性はX、文字数は25文字とする。コードはアラビア数字、アルファベット、カタカナなどX属性の半角文字をすべて使用できる。

コードの構造はデータの先頭（左側）から6桁目までが"メーカーコード"、7桁目はセパレータ"&"固定、8桁目以降は"型番"を記入する。（次図参照）

"メーカーコード"は建設資機材メーカーを表すコードであり、「3.27.3 メーカーコードリスト」に規定するコードを使用する。

"型番"は、相対で取り決めた型番を1バイト系文字で記述する可変長のフリーエリアである。型番の付加は任意であり、型番を付加する場合にはメーカーコードの直後に"&"を付加し、その後に型番を続ける。メーカーコードのみ伝送する場合には、"&"を付加しない。

分類名	メーカーコード	セパレータ "&"	型番	
byte数	6	1	最大18byte (可変長)	計 最大25byte

図3.2.3-24 建設資機材メーカー／型番コードの構成

3.27.2 建設資機材メーカー／型番コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3280] タグNo. [1284] : 「建設資機材メーカー／型番コード」

3.27.3 メーカーコードリスト

本リストについては、推進センターまで照会されたい。

3.28 施工区分コード

施工区分コードは、管工事などにおいて、施工箇所（屋内、屋外など）、施工方法（露出、隠ぺいなど）などを示すコードである。

3.28.1 施工区分コードの属性・文字数

施工区分コードの属性はX、文字数は6文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

コードの構造は、データの先頭（左側）から第1桁目、第2桁目は大分類、第3桁、第4桁目は中分類、第5桁目、第6桁目は小分類を表す。



図3.2.3-25 施工区分コードの構成

3.28.2 施工区分コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3290] タグNo. [1285] : 「施工区分コード」

3.28.3 施工区分コードリスト

- 「40」 電気設備
 - 「4005」 施工場所区分
 - 「400502」 . . . 屋内
 - 「400504」 . . . 屋外
 - 「400506」 . . . 隠ぺい
 - 「400508」 . . . 露出
 - 「400510」 . . . 露出（塗装あり）
 - 「400512」 . . . 露出（塗装なし）
 - 「400514」 . . . 埋込
 - 「400516」 . . . 吊下げ
 - 「4010」 電線
 - 「401001」 . . . 管路内導入本数 1 本
 - 「401002」 . . . 管路内導入本数 2 本
 - 「401003」 . . . 管路内導入本数 3 本
 - 「401004」 . . . 管路内導入本数 4 本
 - 「401005」 . . . 管路内導入本数 5 本
 - 「401006」 . . . 管路内導入本数 6 本

- 「401007」 ・ ・ 管路内導入本数 7 本
- 「401008」 ・ ・ 管路内導入本数 8 本
- 「401009」 ・ ・ 管路内導入本数 9 本
- 「401010」 ・ ・ 管路内導入本数 1 0 本
- 「401011」 ・ ・ 管路内導入本数 1 1 本
- 「401012」 ・ ・ 管路内導入本数 1 2 本
- 「401013」 ・ ・ 管路内導入本数 1 3 本
- 「401014」 ・ ・ 管路内導入本数 1 4 本
- 「401015」 ・ ・ 管路内導入本数 1 5 本
- 「401016」 ・ ・ 管路内導入本数 1 6 本
- 「401017」 ・ ・ 管路内導入本数 1 7 本
- 「401018」 ・ ・ 管路内導入本数 1 8 本
- 「401019」 ・ ・ 管路内導入本数 1 9 本
- 「401020」 ・ ・ 管路内導入本数 2 0 本
- 「401021」 ・ ・ 管路内導入本数 2 1 本
- 「401022」 ・ ・ 管路内導入本数 2 2 本
- 「401023」 ・ ・ 管路内導入本数 2 3 本
- 「401024」 ・ ・ 管路内導入本数 2 4 本
- 「401025」 ・ ・ 管路内導入本数 2 5 本
- 「401026」 ・ ・ 管路内導入本数 2 6 本
- 「401027」 ・ ・ 管路内導入本数 2 7 本
- 「401028」 ・ ・ 管路内導入本数 2 8 本
- 「401029」 ・ ・ 管路内導入本数 2 9 本
- 「401030」 ・ ・ 管路内導入本数 3 0 本
- 「401031」 ・ ・ 管路内導入本数 3 1 本
- 「401032」 ・ ・ 管路内導入本数 3 2 本
- 「401033」 ・ ・ 管路内導入本数 3 3 本
- 「401034」 ・ ・ 管路内導入本数 3 4 本
- 「401035」 ・ ・ 管路内導入本数 3 5 本
- 「401036」 ・ ・ 管路内導入本数 3 6 本
- 「401037」 ・ ・ 管路内導入本数 3 7 本
- 「401038」 ・ ・ 管路内導入本数 3 8 本
- 「401039」 ・ ・ 管路内導入本数 3 9 本
- 「401040」 ・ ・ 管路内導入本数 4 0 本
- 「401099」 ・ ・ 管路内導入本数 4 1 本以上
- 「4020」 ・ ・ ・ ケーブル
- 「402001」 ・ ・ 管内
- 「402002」 ・ ・ P F 管内
- 「402003」 ・ ・ ケーブルラック
- 「402004」 ・ ・ ピット内
- 「402005」 ・ ・ コンクリート部分サドル止め
- 「402006」 ・ ・ 木造部分サドル止め
- 「402007」 ・ ・ コロガシ

- 「402008」・・・架空
- 「4030」・・・・・・フロアダクト
 - 「403001」・・・1ダクト方式
 - 「403002」・・・2ダクト方式
 - 「403003」・・・3ダクト方式
- 「4040」・・・・・・ケーブルラック
 - 「404001」・・・1段積
 - 「404099」・・・多段積
- 「4050」・・・・・・支持材
 - 「405001」・・・1段
 - 「405002」・・・2段
 - 「405003」・・・3段
 - 「405004」・・・4段
- 「50」・・・・・・機械設備
 - 「5010」・・・・・・施工場所区分
 - 「501001」・・・屋内一般
 - 「501002」・・・機械室、便所
 - 「501003」・・・屋外（架空、暗渠内、共同溝内）
 - 「501004」・・・地中
 - 「5020」・・・・・・配管保温区分
 - 「502001」・・・屋内露出（一般居室、廊下）
 - 「502002」・・・機械室、書庫、倉庫、共同溝
 - 「502003」・・・天井内、パイプシャフト内および空隙壁中
 - 「502004」・・・床下、暗渠内（ピット内含む）
 - 「502005」・・・屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）および浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）
 - 「502006」・・・屋内隠ぺい
 - 「502007」・・・耐火被覆
 - 「502008」・・・遮音
 - 「502009」・・・防蝕（地中）
 - 「502010」・・・防蝕（コンクリート内）
 - 「5030」・・・・・・ダクト・機器保温区分
 - 「503001」・・・屋内露出（一般居室、廊下）
 - 「503002」・・・屋内露出（機械室、書庫、倉庫）
 - 「503003」・・・屋内隠ぺい、ダクトシャフト内
 - 「503004」・・・屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）および浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）
 - 「503005」・・・耐火被覆
 - 「503006」・・・遮音
 - 「503007」・・・消音内貼
 - 「5040」・・・・・・塗装区分
 - 「504001」・・・裸管 露出
 - 「504002」・・・裸管 隠ぺい

- 「504003」・・・保温外装上 露出
- 「504004」・・・保温外装上 隠ぺい
- 「504005」・・・ラッキング上 露出
- 「504006」・・・ラッキング上 隠ぺい
- 「504007」・・・保温される隠ぺい管
- 「504008」・・・亜鉛鉄板 露出
- 「504009」・・・亜鉛鉄板 内面
- 「504010」・・・普通鋼板 露出
- 「504011」・・・普通鋼板 内面
- 「504012」・・・支持金物 露出
- 「504013」・・・支持金物 隠ぺい

3.29 明細別運賃コード

明細別運賃コードは、タグNo. [1223] 明細金額について運賃の込／別を示すコードである。

3.29.1 明細別運賃コードの属性・文字数

明細別運賃コードの属性はX、文字数は2文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.29.2 明細別運賃コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3400] タグNo. [1286] : 「明細別運賃コード」

3.29.3 明細別運賃コードリスト

- 「1」・・・・・・運賃共
 - 「10」・・・運賃共
 - 「11」・・・運賃共（付属品運賃共）
 - 「12」・・・運賃共（付属品運賃別）
 - 「2」・・・・・・賃別
 - 「20」・・・運賃別
 - 「21」・・・運賃別（付属品運賃共）
 - 「22」・・・運賃別（付属品運賃別）
- (注) 「10」「20」：付属品の運賃の共／別を識別する必要がない場合に使用する。

3.30 明細別変更コード

明細別変更コードは、メッセージのやり取りの間で項目の追加・項目内容の変更が発生し、追加・変更データであることを明示する必要がある場合、アルファベット1文字により表す。

3.30.1 明細別変更コードの属性・文字数

明細別変更コードの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアルファベットを使用する。

3.30.2 明細別変更コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [3520] タグNo. [1413] : 「明細別変更コード」

3.30.3 明細別変更コードリスト

「A」・・・(追加) 当該明細データが新たに追加されたことを示す。

「R」・・・(変更) 当該明細データの内容が変更されたことを示す。

「S」・・・(単価のみ変更) 単価のみ変更されたことを示す。

例：<注文時>

明細コードNo.	件名	摘要
0001 0001	レディミクストコンクリートA	強度A
0001 0002	レディミクストコンクリートB	強度B
0001 0003	レディミクストコンクリートC	強度C
0002 0001	鉄筋A	

<査定時>

明細コードNo.	明細別変更コード	件名	摘要
0001 0001		レディミクストコンクリートA	強度A
0001 0002	<u>R</u>	レディミクストコンクリートB	<u>強度C</u> : 変更
0001 0003		レディミクストコンクリートC	強度C
<u>0001 0004</u>	<u>A</u>	<u>レディミクストコンクリートD</u>	<u>強度D</u> : 追加
0002 0001		鉄筋A	
0003	<u>A</u>	<u>保管料</u>	: 追加

図3.2.3-26 明細別変更コード追加・変更の例

※各企業が採番された明細コード・明細データを記録してこれを固定コードとし、追加

項目の明細コード番号を注文時のコード番号に続いて順次採番すれば、追加・変更前の項目の内容と追加・変更後の項目の内容を比較特定することができる。

3.31 明細別CI-NET区分コード

明細別CI-NET区分コードは、支払通知等で交換される明細の情報がCI-NETのEDIデータでやり取りされたものを判別するコードである。

3.31.1 明細別CI-NET区分コードの属性・文字数

明細別CI-NET区分コードの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.31.2 明細別CI-NET区分コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [4130] タグNo. [1426] : 「明細別CI-NETコード」

3.31.3 明細別CI-NET区分コードリスト

「1」・・・CI-NETのEDIデータ

「2」・・・非EDIデータ

3.32 請求出来高立替控除区分コード

請求出来高立替控除区分コードは、支払通知等の明細行が請求・出来高、または立替・控除のいずれに関わるデータかを判別するコードである。

3.32.1 請求出来高立替控除区分コードの属性・文字数

請求出来高立替控除区分コードの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.32.2 請求出来高立替控除区分コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [4140] タグNo. [1427] : 「請求出来高立替控除区分コード」

3.32.3 請求出来高立替控除区分コードリスト

「1」・・・請求または出来高データ

「2」・・・立替または控除データ

3.33 CADデータ／属性データ区分コード

CADデータ／属性データ区分コードは、メッセージに付属している技術データが、CADデータなのか、それ以外の属性データなのかを示す。

3.33.1 CADデータ／属性データ区分コードの属性・文字数

CADデータ／属性データ区分コードの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.33.2 CADデータ／属性データ区分コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [5080] タグNo. [1509] : 「CADデータ／属性データ区分」

3.33.3 CADデータ／属性データ区分コードリスト

「1」・・・CADデータ

「2」・・・その他の属性データ

3.34 CADデータ形式コード

伝送されたCADデータの形式を特定するためのコードとしてCADデータ形式コードを使用する。

3.34.1 CADデータ形式コードの属性・文字数

CADデータ形式コードの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.34.2 CADデータ形式コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [5090] タグNo. [1510] : 「CADデータ形式コード」

3.34.3 CADデータ形式コードリスト

- 「1」・・・CADデータがDXF形式によるデータ交換フォーマット
- 「2」・・・CADデータがIGES形式によるデータ交換フォーマット
- 「3」・・・CADデータがDXF形式、IGES形式以外のデータ交換フォーマット

3.35 データ圧縮識別コード

データ圧縮識別コードは、伝送された技術データが圧縮されているかどうかを示す。

3.35.1 データ圧縮識別コードの属性・文字数

データ圧縮識別コードの属性はX、文字数は1文字とする。コードはアラビア数字を使用する。

3.35.2 データ圧縮識別コードを使用するデータ項目

CI-NETNo. [5220] タグNo. [1523] : 「データ圧縮識別コード」

3.35.3 データ圧縮識別コードリスト

- 「1」・・・圧縮処理されている
- 「2」・・・圧縮処理されていない

第3節 標準メッセージ作成規則

1 メッセージ作成の原則

1.1 内容の一致

取引の内容と交換されるメッセージの内容は一致しなければならない。

1.2 メッセージの交換順序

メッセージの交換順序は、見積・発注・出荷・検収・請求・支払といった、一般的な商取引の流れに従う。

1.3 メッセージの処理

同一情報区分内のメッセージの処理前後関係は、送信者によって付与された [1] データ処理No.の内容によって判定する。

1.4 メッセージの特定

メッセージを特定するキー項目は、発信した側の標準企業コード項目（ [4] 発注者コードまたは [5] 受注者コード）と [1007] 帳票No.とする。

1.5 明細データの特定

明細データを特定するキー項目は、発信した会社が採番した [1200] 明細コードとする。

1.6 明細コードの独立

[1200] 明細コードは、 [1289] 補助明細コードと組み合わせて同一メッセージ内において全ての明細をユニークに識別する。

1.7 メッセージの取扱い

送信したメッセージは正規のデータとして処理する。したがって、一旦発信したメッセージの内容にデータ不足・誤りがあった場合は、ただちに変更メッセージ・取消メッセージを作成し送信する。

2 メッセージと取引内容の一致

2.1 1メッセージ（帳票）＝1取引

1つのメッセージ（帳票）に1つの取引データのみが含まれる場合、メッセージの全体情報が取引の全体情報と、明細データが取引の内訳情報と一致する。1つの注文によって1つの取引が発生するため、注文書は1メッセージ（帳票）＝1取引となる。

例：購買見積依頼
 ／回答情報
 確定注文／
 注文請け情報

注文書			
〇〇商社様 下記の通り注文いたします。			
No.	品名	摘要	金額
1010	鉄棒	A社製φ20	¥200,000
1020	手すり	鉄パイプ製φ19	¥250,000
：	：	：	：
：	：	：	：

} = 1取引 = 1メッセージ

図3.3.2-1 1メッセージ＝1取引の例

2.2 1メッセージ（帳票）＝複数取引

1つのメッセージ（帳票）に複数の取引データが含まれる場合、各取引の情報は明細データとして表され、メッセージの全体情報は取引の合計を示す。

例：総括請求情報
 支払通知情報

支払通知書		
〇〇建設様 下記の通りお支払します。		
注文No.	取引件名	支払金額
A123-45	A棟鉄筋工事	¥320,000
B456-12	B棟仮設工事	¥180,000
：	：	：
：	：	：

…取引1
 …取引2
 …
 } = 1メッセージ

図3.3.2-2 1メッセージ＝複数取引の例

2.3 複数メッセージ（帳票） = 1 取引

1つの取引が複数のメッセージ（帳票）にまたがる場合、メッセージは取引の内訳情報と一致する。このとき、同一取引であるかどうかは、[1303] 注文番号によって確認する。

例：納品書／受領書

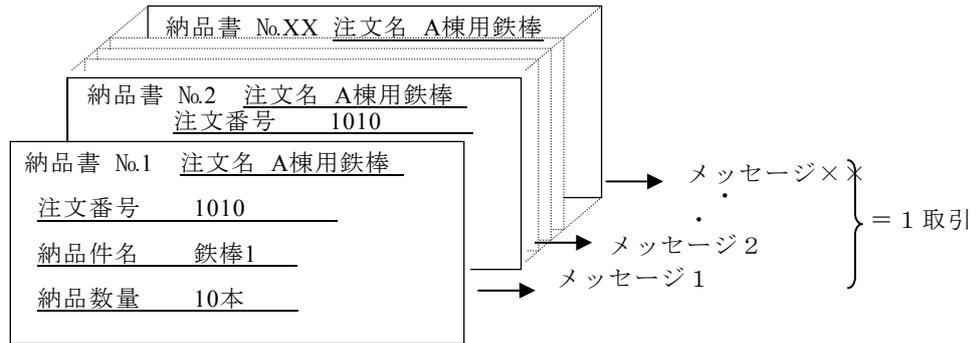


図3.3.2-3 複数メッセージ = 1 取引の例

3 取引を特定するキー項目

取引を特定するキー項目について以下のように定める。

3.1 取引を特定するキー項目

取引を特定するメッセージ上のキー項目は、原則として発信した側の標準企業コードと発注会社の採番した注文番号（確定注文情報の帳票No.）とする。注文番号の位置は情報区分によって、[1007] 帳票No.・[1009] 参照帳票No.・[1204] 明細別参照帳票No.のいずれかに記載される。メッセージ（帳票）の特定は、発信者の標準企業コードと、[1007] 帳票No.・[1009] 参照帳票No.に格納された帳票番号で行う。

3.2 注文番号・明細コードのユニーク性

注文番号・明細コードのユニーク性を確保するため、その採番にあたっては重複しないよう注意しなければならない。

3.3 1メッセージ=複数取引におけるキー項目

支払通知など、同一メッセージ内で複数の取引情報が含まれており、注文書（請求書）などとの関連づけを行う必要がある場合には、[1204] 明細別参照帳票No.において、注文番号（請求番号）を記入した明細データを作成することにより、個々の取引を特定することができる。ただし、明細データの変更・削除におけるキー項目は[1200] 明細コードを使用する。

4 変更・取消データの作成方法

一旦発信したメッセージの内容に不足・誤りがあった場合は、ただちに変更メッセージ・取消メッセージを作成し送信する。

この時の変更・取消データの作成は下表に従う。全体情報については、データ項目単位で変更・取消を行う。明細情報については明細データ（セグメント）単位で変更・取消を行う。

変更方法には、全てのデータを再送信する一括変更と、変更したデータのみ送信する一部変更の2つがある。メッセージの変更を一括変更で行うか、一部変更で行うかは、データ送受信を行う企業間において調整を行う。

表3.3.4-1 変更・取消データの編集方法

タグ No.	項目名	メッセージ新規作成	メッセージ一括変更	メッセージ全文取消	メッセージ一部変更
1	データ処理No.	新規時の内容	変更時の内容	変更時の内容	変更時の内容
2	情報区分コード※1	新規時の内容	変更前と同一	変更前と同一	変更前と同一
3	データ作成年月日	新規時の内容	変更時の内容	変更時の内容	変更時の内容
4	発注者コード※1	新規時の内容	変更前と同一	変更前と一	変更前と同一
5	受注者コード※1	新規時の内容	変更前と同一	変更前と同一	変更前と一
9	訂正コード※1	1	2	3	4
1007	帳票No.※1	新規時の内容	変更前と同一	変更前と同一	変更前と同一
1001 ～ 1006 1008 ～ 1199 1300 ～ 1399 1600 ～ 1699	(上記以外の)全体情報	新規時の内容	【変更しない項目】 変更前の内容 【変更する項目】 変更後の内容※2 【削除する項目】 送信してはならない	変更前の内容	【変更しない項目】 送信してはならない 【変更する項目】 変更後の内容※2 【削除する項目】 データ・タグのみ送信 ※3

1201 ～ 1299 1400 ～ 1499 1500 ～ 1599	明細情報	新規時の内容	【変更しない項目】 変更前の内容 【変更する項目】 変更後の明細データ 【削除する項目】 送信してはならない	変更前の内容	【変更しない項目】 送信してはならない 【変更する項目】 変更後の明細データ 【削除する項目】 明細コードのみ送信
---	------	--------	---	--------	--

※1 変更・取消の処理を行うためのキー項目

※2 全体情報におけるマルチ項目（タグNo. が1200未満で、かつ「第3章 第2節 2.4 データ項目定義およびマトリックス」の列“マルチ”に何らかの記述がある項目）は、変更したセグメント（反復単位）だけでなく全てのセグメントを送信する。

※3 データ長は0バイトとする。

6 金額の符号

金額の符号を次のように規定する。

6.1 支払（請求）金額の符号

発注者・受注者間のメッセージ交換において、発注者が受注者に対し支払う金額（受注者が発注者に対し請求する金額）を正（プラス）の符号とする。

したがって、受注者が発注者に対し支払う金額（返却する金額）は負（マイナス）の符号となる。

6.2 値引き金額の符号

発注者・受注者間のメッセージ交換において、受注者の値引きを示す金額は帳票金額調整額（契約金額調整額）において負（マイナス）の符号とする。

6.3 控除・相殺金額の符号

発注者・受注者間のメッセージ交換において、発注者が受注者に対し、控除・相殺による支払金額の減額を示す金額は一括控除・相殺金額などにおいて負（マイナス）の符号とする。

7 工事コード

発注者の社内システムにおいて、原価管理処理上の仕分けをするためのキー項目として、[1006] 工事コードを用いる。ただし、注文番号（[1007] 帳票No.、または [1009] 参照帳票No.）をキーコードとして利用している企業は、工事コードによらず、注文番号で原価管理処理を行う。

8 中間業者を介した商取引におけるコードの設定

商社など中間業者を介した商取引においては、使用材料のメーカー指定や運送業者・商社の指定をすることができる。

これらの発注者・受注者以外の企業コードなどの設定については下記の表に示した規則に従う。

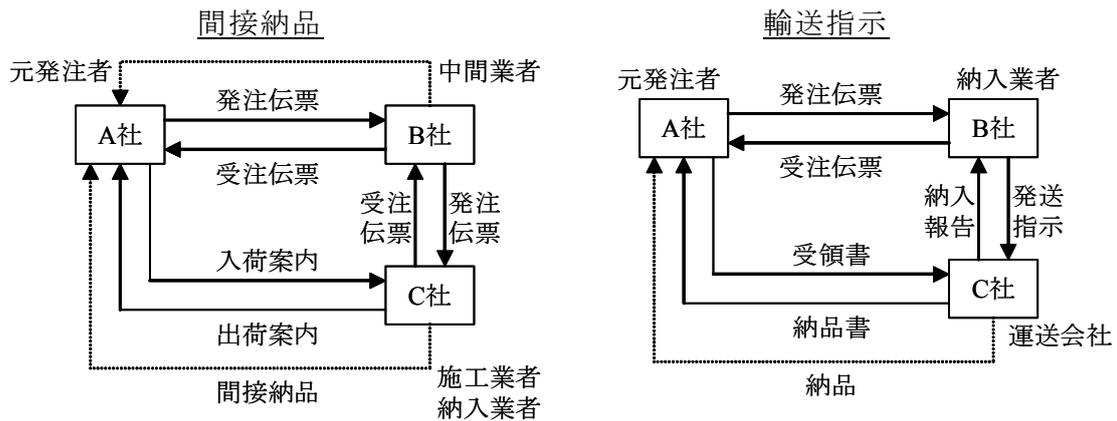


図3.3.8-1 中間業者を介した商取引の例

表3.3.8-2 中間業者を介した商取引におけるコードの設定方法

タグNo.	項目名	①A社→B社	②B社→A社	③B社→C社	④C社→B社
1007	帳票No. (注文番号)	Aが採番した 注文番号	Aが採番した 注文番号	Bが採番した 注文番号	Bが採番した 注文番号
1087	元発注者注文No.	——	——	Aが採番した 注文番号	Aが採番した 注文番号
1023	受注者コード2 (発注者採番)	Aが採番した Bのコード	Aが採番した Bのコード	Bが採番した Cのコード	Bが採番した Cのコード
1034	発注者コード2 (受注者採番)	Bが採番した Aのコード	Bが採番した Aのコード	Cが採番した Bのコード	Cが採番した Bのコード
1137	別途受渡し場所コード	Aが採番した 場所コード	Aが採番した 場所コード	Aが採番した 場所コード	Aが採番した 場所コード
1050	施工者・納入者コード 2	Aが採番した Cのコード	Aが採番した Cのコード	Aが採番した Cのコード	Aが採番した Cのコード
1075	運送者コード2	Aが採番した Cのコード (C=運送者)	Aが採番した Cのコード (C=運送者)	Aが採番した Cのコード (C=運送者)	Aが採番した Cのコード (C=運送者)
1247	明細別使用メーカーコード	Aが採番した Cのコード	Aが採番した Cのコード	Aが採番した Cのコード	Aが採番した Cのコード
1249	明細別使用商社コード	Aが採番した Cのコード	Aが採番した Cのコード	Aが採番した Cのコード	Aが採番した Cのコード

9 CADデータの伝送

9.1 CADデータの伝送パターン

CADデータを含むメッセージの送信に際しては、メッセージの中のCADデータの処理に必要な封筒情報の有無により、以下のパターンでの伝送が可能であり、いずれのパターンで伝送してもよい。

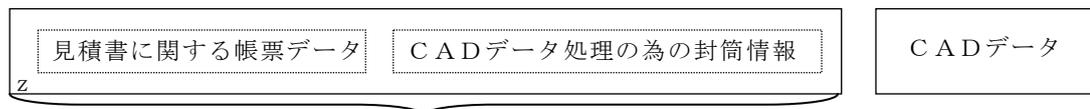
パターン1 メッセージとCADデータを一緒に伝送するケース

メッセージ内には帳票データに関するデータ項目とCADデータの処理に必要な封筒情報のデータ項目があり、必要に応じ、次のように使い分ける。

(1) 帳票データとそれに関連するCADデータを同時に伝送する場合。

この場合、情報区分コードは、各帳票情報の情報区分コードを使用する。（例えば、購買見積回答情報では「0302」）

①CADデータ処理の為の封筒情報も伝送する場合。



購買見積回答メッセージ（情報区分コードは「0302」）

②CADデータ処理の為の封筒情報に関するデータ項目は省略してもよい。



購買見積回答メッセージ（情報区分コードは「0302」）

図3.3.9-1 帳票データとCADデータを一緒に伝送するケース

(2) 帳票データを伴わず、封筒情報だけを付けてCADデータを伝送する場合。

この場合、情報区分コードは「CADデータ情報」の「5101」を使用する



CADデータ封筒メッセージ（情報区分コードは「5101」）

図3.3.9-2 封筒情報とCADデータを伝送するケース

パターン2 CADデータのみを送送するケース

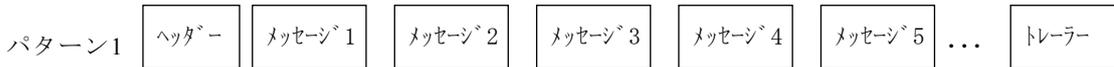
データ項目（メッセージ）を含まないCADデータのみメッセージグループを作成し、伝送を行う。この場合メッセージグループ・ヘッダーの情報区分コードには「メッセージなしデータ情報」の「9301」をセットする。単純にCADデータだけを伝送したい場合は、この方法で簡単に送ることができる。



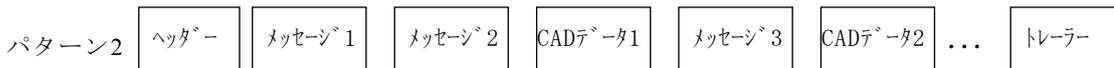
図3.3.9-3 CADデータのみを送送するケース

CIIシンタックスルール1.51以上では、「設計画像データ」（CI-NETのCADデータと同義）が定義されている。設計画像データはメッセージと同等の位置づけを持っており、メッセージグループはメッセージと設計データで構成される。メッセージと設計データを任意にメッセージグループに含めることができ、メッセージグループは以下の3種が存在可能となった。

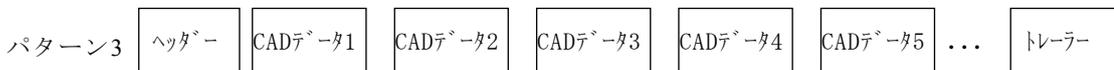
①メッセージだけのメッセージグループ（設計画像データを送らない従来のメッセージグループ）



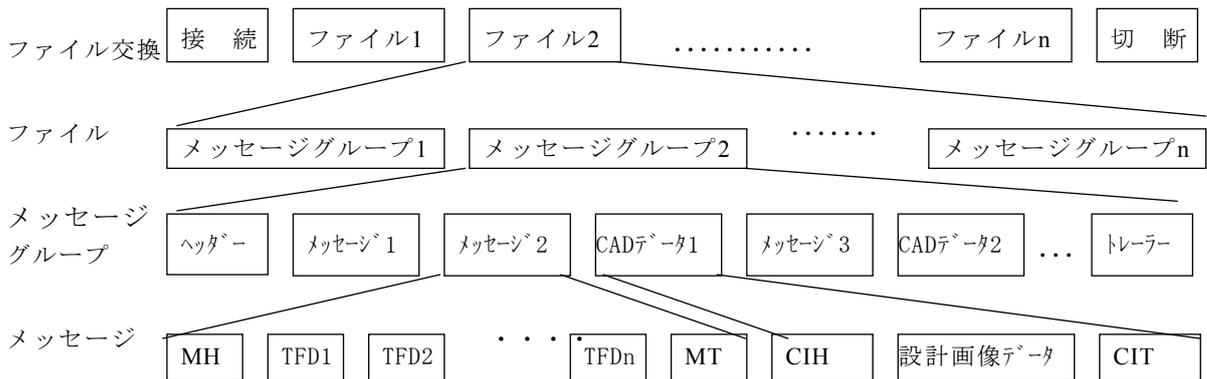
②メッセージと設計画像データの混在したメッセージグループ



③設計画像データだけのメッセージグループ



※CADデータのみを送送する場合には、「メッセージなしデータ情報」として、情報区分「9301」をメッセージ・ヘッダーにセットする。



- MH : メッセージ・ヘッダー（メッセージの始まりを示す）
- TFD : Transfer Form Data（TFD 1つにデータ項目1つが対応する）
- MT : メッセージ・トレーラー（メッセージの終わりを示す）
- CIH : 設計画像データ・ヘッダー（設計画像データの始まりを示す）
- CIT : 設計画像データ・トレーラー（設計画像データの終わりを示す）

（CIIシンタックスルールより抜粋修正）

図3.3.9-4 CIIシンタックスルールVer.2.1の交換の階層

9.2 帳票データのメッセージとCADデータのマッチング

CADデータが付随していない見積依頼情報等の帳票データのメッセージと、CADデータ情報（封筒情報付きのCADデータ）が別々に伝送された場合、帳票データのメッセージの側からは [1144] 参照CADデータ帳票No.に記載されたCADデータ情報の帳票番号により、CADデータ情報の側からは [1009] 参照帳票No.に記載された帳票データのメッセージの帳票番号により、帳票データのメッセージとCADデータを対応させる（マッチングさせる）ことができる。

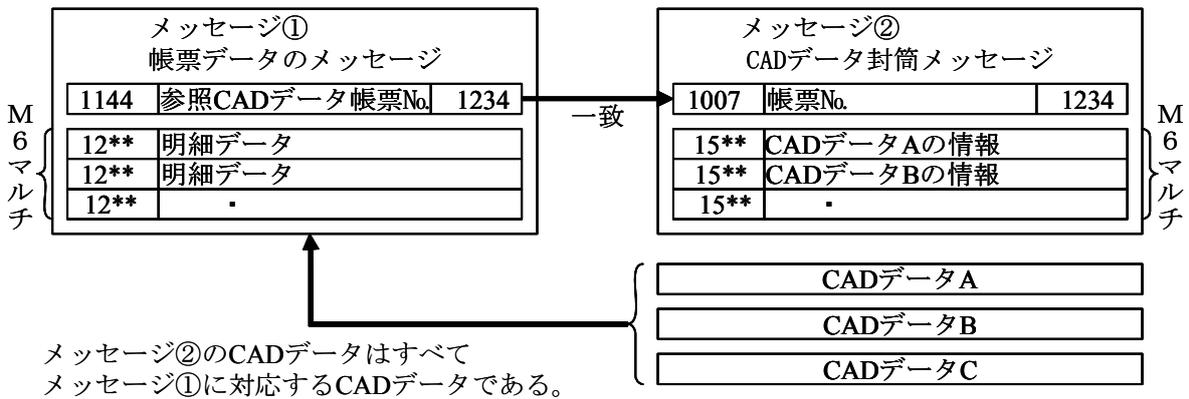


図3.3.9-5 帳票データのメッセージ側からのマッチング

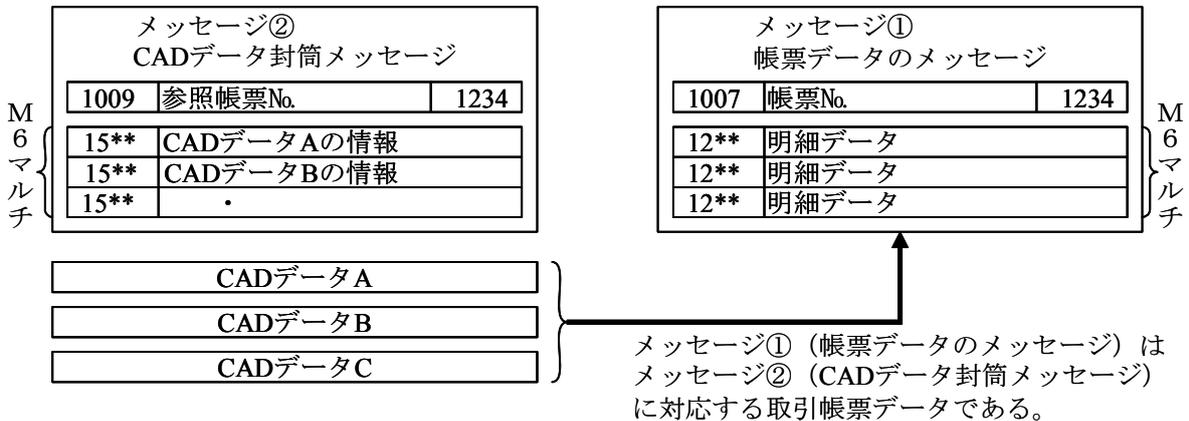


図3.3.9-6 CADデータ情報側からのマッチング

